

平成 30 年度

白石町当初予算説明資料

主要事項内容説明書

目 次

各課の主要事項説明

《 一般会計予算 主要事項説明 》

【総務課】

がばいよかとこ発信事業	1
情報化推進費	2
佐賀県知事選挙費	【新】.....	3
佐賀県議会議員選挙費	【新】.....	4

【企画財政課】

地域づくり推進費(コミュニティタクシー運行事業)	5
地域づくり協議会設置支援事業	【新】.....	6
婚活サポート事業費	7
空き家バンク事業	8

【住民課】

国民健康保険事業費	9
後期高齢者医療事業費	10

【保健福祉課】

子どもの貧困対策費	【新】.....	11
児童手当	12
町立保育園公設民営費	13
学童保育事業費	14
地域子育て支援事業費	15
不妊治療支援事業費	16
子どもの医療事業費	17
予防接種事業費	18
成人検診事業費	19

【長寿社会課】

障害者自立支援給付費	20
障害児通所支援給付費	21
重度心身障害者医療給付費	22
敬老の日記念事業費	23
介護保険事業費	24
生きがい活動支援通所(デイサービス)事業	25
介護予防普及啓発事業費	26
一般介護予防事業評価事業	【新】.....	27
生活支援体制整備事業費	28

【生活環境課】

不法投棄防止対策事業	29
指定ごみ袋等作成業務	30
一般廃棄物収集運搬業務	31
ごみ処理センター負担金	32
し尿処理業務	33

【水道課】

水道事業特別会計への補助金	34
---------------	-------	----

【下水道課】

浄化槽整備推進事業費	35
公共下水道等接続促進事業費	36

【農業振興課】

しろいし農業塾	37
トレーニングファーム整備推進事業費	【新】.....	38

さが園芸農業者育成対策事業費	・ ・ ・ ・	39
玉葱生産安定対策事業	・ ・ ・ ・	40
土づくり推進事業費補助金	・ ・ ・ ・	41
農業経営法人化支援事業	・ ・ ・ ・	42
産地パワーアップ事業	・ ・ ・ ・	43
さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業費	・ ・ ・ ・	44
佐賀県集落営農組織法人化推進事業費	・ ・ ・ ・	45
集落営農法人経営安定化支援事業	・ ・ ・ ・	46
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産クラスター事業)	・ ・ ・ ・	47

【産業創生課】

ふるさと応援事業費	・ ・ ・ ・	48
地域おこし協力隊推進事業(道の駅関連)	・ ・ ・ ・	49
道の駅施設整備事業	・ ・ ・ ・	50
新規農産物開発研究費	・ ・ ・ ・	51
6次産品新規開発事業費	【新】・ ・ ・ ・	52
6次産業化ネットワーク交付金事業	【新】・ ・ ・ ・	53
商工団体振興事業補助金	・ ・ ・ ・	54
観光費	・ ・ ・ ・	55

【農村整備課】

多面的機能支払交付金農地維持支払事業	・ ・ ・ ・	56
多面的機能支払交付金資源向上支払(共同活動)事業	・ ・ ・ ・	57
多面的機能支払交付金資源向上支払(長寿命化)事業	・ ・ ・ ・	58
基幹水利施設ストックマネジメント事業費	・ ・ ・ ・	59
地域農業水利施設ストックマネジメント事業	・ ・ ・ ・	60
農業基盤整備促進事業	・ ・ ・ ・	61
白石基盤整備促進事業	・ ・ ・ ・	62
基幹水利施設管理事業費	・ ・ ・ ・	63
基幹水利施設管理事業佐賀西部白石地区	・ ・ ・ ・	64
排水機場管理事業費	・ ・ ・ ・	65
ため池等整備事業費	・ ・ ・ ・	66
漁業環境保全事業費	・ ・ ・ ・	67
漁業経営構造改善事業費	・ ・ ・ ・	68
漁港整備事業費	・ ・ ・ ・	69

【建設課】

住民協働・道路等環境整備事業費	・ ・ ・ ・	70
社会資本整備総合交付金事業 道路改築・修繕事業	・ ・ ・ ・	71
道路新設改良費	・ ・ ・ ・	72
社会資本整備総合交付金事業 通学路整備事業	・ ・ ・ ・	73
社会資本整備総合交付金事業 橋りょう長寿命化事業	・ ・ ・ ・	74
公営住宅ストック総合改善事業	・ ・ ・ ・	75

【議会事務局】

議場整備費(議場放送システム設備更新費)	【新】・ ・ ・ ・	76
----------------------	------------	----

【学校教育課】

外国青年語学指導助手設置費	・ ・ ・ ・	77
スクールカウンセラー配置事業	・ ・ ・ ・	78
適応教室事業	・ ・ ・ ・	79
学校教育支援員(スクールアシスタント)配置事業	・ ・ ・ ・	80
学校教育課費(小学校情報教育)	・ ・ ・ ・	81
小学校施設整備費	・ ・ ・ ・	82
中学校施設整備費	・ ・ ・ ・	83

【生涯学習課】

人権・同和教育費	・ ・ ・ ・	84
中央公民館費	・ ・ ・ ・	85
文化活動推進・文化財保護費	・ ・ ・ ・	86
青少年育成費	・ ・ ・ ・	87
スポーツ事業費	・ ・ ・ ・	88
ロードレース大会費	・ ・ ・ ・	89

■平成30年度起債充当事業一覧	・ ・ ・ ・	90
-----------------	---------	----

■平成30年度ふるさと寄附金充当事業一覧	・ ・ ・ ・	91
----------------------	---------	----

■平成30年度地方消費税交付金(社会保障財源化分)が 充てられる社会保障4経費及びその他社会保障施策に 要する経費	・ ・ ・ ・	92
---	---------	----

《 特別会計予算 主要事項説明 》

【住民課】

国民健康保険特別会計	・ ・ ・ ・	93～96
後期高齢者医療特別会計	・ ・ ・ ・	97

【下水道課】

農業集落排水特別会計	・ ・ ・ ・	98
特定環境保全公共下水道特別会計	・ ・ ・ ・	99・100

【水道課】

水道事業会計	・ ・ ・ ・	101・102
--------	---------	---------

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	2	項	1	目	9	細事業名	がばいよかとか発信事業				所属	総務課 企画財政課
目 名 称	広報広聴費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	5,776					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	62・63	
	前年度当初	1,512	前年度最終	1,512				5,000	776	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		
1 目的	「白石町まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の施策の一つである本事業により、町への交流人口、観光及び移住・定住の増加のため、白石町を全国、特に福岡都市圏をターゲットにPR活動を行っていく。											
2 事業内容	平成31年3月オープン予定の「道の駅しろいし」のオープンを控え、平成29年度から引き続き実施する福岡都市圏へのPRに加え、北部九州を中心に県内外へ、様々なメディアを通じたPRを行う。(道の駅ワーキンググループと庁内組織の白石町人口・将来問題プロジェクト会議町のPR部会(総務課広報情報係、企画財政課白石創生推進係、産業創生課6次産業推進係、同課商工観光係及び取りまとめの政策推進係の5係で構成)の枠組みで連携しながら取り組む。)											
	①町職員等による県内外へのPR活動:旅費、PRグッズ、ポスター、リーフレット等の作成 ②福岡都市圏へのPR:フリーペーパーへの広告掲載、福岡市内イベントへのブース出展会場借上料 ③各種メディアでのPR:県内新聞、県内ケーブルテレビ等への広告、FMラジオ放送、LINE@											
3 予算額												
9 旅費	・職員旅費					80 千円						80 千円
11 需用費	・町PRグッズ作成					524 千円						1,724 千円
	・ポスター、リーフレット作成					1,200 千円						
12 役務費	・福岡市内配布のフリーペーパー広告					648 千円						1,728 千円
	・県内の新聞やケーブルテレビ等への事前PR広告					1,080 千円						
13 委託料	・道の駅PR映像作成					324 千円						1,782 千円
	・FMラジオ放送委託					1,458 千円						
14 使用料及び賃借料	・福岡市内でのイベントへのブース出展					432 千円						462 千円
	・白石町版「LINE@」使用料					30 千円						
4 事業の効果	県外・町外に向け白石町の魅力を発信することで、町の知名度を上げ各資源を通じたファンの確保や交流人口等の増加を目指すことで、町民にとっても白石町の魅力を再認識する機会になる。											

区分		平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	2	項	1	目	10	細事業名	情報化推進費			所属	総務課 広報情報係	
目 名 称		情報化推進費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		5,257				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	63・64	
		前年度当初	2,790	前年度最終	2,790					5,257	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進			
1	目的	急速に進展する高度情報化社会に的確な対応し、豊かで住みよい地域社会を実現するためにICT(情報通信技術)を効果的に活用していくことにより、情報化の推進を図る。										
2	事業内容	県内におけるICT技術の推進に伴う情報化への取組を行いつつ、平成30年度は町内施設(町内3公民館等)におけるWi-Fi機器の整備を行う。										
3	予算額											
	<u>09 旅費</u>									106千円		
	・ 地方自治情報化推進フェア等への参加旅費									106,000円		
	<u>11 需用費</u>									80千円		
	・ 消耗品費(事務用消耗品費)									20,000円		
	・ 消耗品費(トナー代)									60,000円		
	<u>13 委託料</u>									951千円		
	・ Wi-Fiアクセスポイント機器設定委託料									951,000円		
	<u>14 使用料及び賃借料</u>									312千円		
	・ 町内3公民館施設Wi-Fiアクセスポイント使用料									312,000円		
	<u>15 工事請負費</u>									864千円		
	・ 町内公民館施設Wi-Fiアクセスポイント配線工事費									864,000円		
	<u>19 負担金、補助金及び交付金</u>									2,944千円		
	・ 佐賀県高度情報化推進協議会負担金									26,000円		
	・ 佐賀県公共ネットワーク整備事業負担金									888,000円		
	・ 中間サーバ・プラットフォーム利用負担金(社会保障・税番号制度) ※区分10万人以下市町									2,030,000円		
4	事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複雑化するICT技術を的確に収集・把握し、町の情報化政策を推進することができる。 ・ 町内3公民館施設及び役場庁舎でのWi-Fi機器の整備に伴い、災害発生時の避難所内での情報収集の迅速化、住民サービスの向上を図ることができる。 										

単位:千円

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計						
款	2	項	4	目	14	細事業名	佐賀県知事選挙費			所属	総務課 総務係
目名称	佐賀県知事選挙費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	11,005					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	74・75
	前年度当初	0			前年度最終	0		11,005		0	新規

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】	基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進
-------------------------------	---------------	----------------------------	---------------	-------------

1 目的

平成31年1月10日任期満了に伴う佐賀県知事選挙の執行経費として必要な予算を計上し、公職選挙法に基づき町選挙管理委員会が選挙に関する事務を執行するため。

2 事業内容

(1)選挙期日	・未定(任期満了日前30日以内)
(2)告示日	・未定(選挙期日前少なくとも17日前)

3 予算額

節	金額	説 明	
1. 報酬	891	投票管理者(期日前投票所)	89
		投票管理者(選挙当日投票所)	164
		投票立会人(期日前投票所)	304
		投票立会人(選挙当日投票所)	279
		開票管理者	11
		開票立会人	44
3. 職員手当等	6,478	時間外勤務手当等(期日前投票、選挙事務等)	6,466
		管理職特別勤務手当	12
7. 賃金	224	選挙事務日々雇用職員賃金	224
9. 旅費	24	選管委員出席費用弁償	24
11. 需用費	1,102	消耗品費(投票事務用品・ポスター掲示場)	822
		燃料費(投票所用灯油代)	24
		食糧費(投票管理者・立会人弁当代等)	93
		印刷製本費(入場券等)	163
12. 役務費	1,282	通信運搬費(入場券等郵便料金等)	742
		手数料(枚数計算機等点検手数料)	540
13. 委託料	734	ポスター掲示場設置、管理委託料	506
		選挙公報配布委託料	228
14. 使用料及び賃借料	270	会場借上料(投票所、開票所)	96
		その他借上料(コピー・ファックスレンタル料等)	174
合 計	11,005		

4 事業の効果 佐賀県知事選挙事務を適切に執行する。

単位：千円

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計						
款	2	項	4	目	15	細事業名	佐賀県議会議員選挙費			所属	総務課 総務係
目 名 称	佐賀県議会議員選挙費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	2,422					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	75
	前年度当初	0			前年度最終	0		2,422		0	新規

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】	基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進
-------------------------------	---------------	----------------------------	---------------	-------------

1 目的

平成31年4月29日任期満了に伴う佐賀県議会議員選挙の執行経費として必要な予算を計上し、公職選挙法等に基づき町選挙管理委員会が行う選挙に関する事務を執行するため。

2 事業内容

(1)選挙期日	・未定(任期満了日前30日以内)
(2)告示日	・未定(選挙期日前少なくとも9日前)

3 予算額

節	金額	説 明	
3. 職員手当等	1,038	時間外勤務手当等(選挙事務)	1,038
7. 賃金	96	選挙事務日々雇用職員賃金	96
9. 旅費	8	選管委員出席費用弁償	8
11. 需用費	672	消耗品費(投開票事務用品・ポスター掲示場)	672
12. 役務費	357	通信運搬費(切手代)	30
		手数料(枚数計算機等点検手数料)	327
13. 委託料	225	ポスター掲示場設置、管理委託料	225
14. 使用料及び賃借料	26	その他借上料(コピー・ファックスレンタル料等)	26
合 計	2,422		

4 事業の効果 佐賀県議会議員選挙事務を適切に執行する。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	2	項	1	目	8	細事業名	地域づくり推進費<<コミュニティタクシー運行事業>>				所属	企画財政課 白石創生推進係
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	17,644					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	59・61	
	前年度当初	16,644	前年度最終	17,194			16,000		1,644	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実			

1 目的

交通弱者などの地域生活の向上や町の活性化のためには、身近な移動手段の確保と輸送体制(他公共交通機関への関係)の確立が必要である。
このため、利用者のニーズや利用実態など、地域の実情を踏まえた生活交通を実施する。

2 事業内容

道路輸送法の規定に基づき、地域公共交通会議において、地域における需要に応じた町民の生活に必要な公共交通の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を決定し、コミュニティタクシーの運行事業を行う。

・白石町地域公共交通会議の開催(コミュニティタクシーの運行事業の実施に必要な事項を協議する会議の開催)

・白石町コミュニティタクシー運行事業

- ◆定時定路線型(いこカー) 牛間田横手線・福富線
- ◆デマンド型(予約制いこカー) 町内全域を4エリアに分けて運行

3 予算額

節	予算額	内容説明及び積算基礎(円)
8. 報償費	130	地域公共交通会議委員報償費 5,400円×12人×2回=129,600円
11. 需用費	314	消耗品費 14,000円 コミュニティタクシー停留所修理費 100,000円 コミュニティタクシー(いこカー)(予約制いこカー)時刻表印刷費 200,000円
19. 負担金補助 及び交付金	17,200	コミュニティタクシー運行費補助金 ・定時定路線型(いこカー) 9,500,000円 ・デマンド型(予約制いこカー) 7,700,000円

4 事業の効果

・交通弱者などの身近な移動手段の確保、及び輸送体制の確立

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	2	項	1	目	8	細事業名	地域づくり協議会設置支援事業			所属	企画財政課 白石創生推進係
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					
予 算 額	3,610					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	0			前年度最終	0			3,000	610	新規

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】	基本計画 第 1 節	参加と協働の促進
-------------------------------	---------------	----------------------------	---------------	----------

1 目的

急激な人口減少や高齢化に伴い、地域では様々な課題が出てきている中、これらを把握し対応する「新しい地域の体制づくり」が必要となっている。このため、これまでの行政主導ではなく、地域住民が主体となって課題解決に取り組むためのノウハウの習得や人材確保の支援を行うとともに、地域住民の積極的な参加の促進により、住民の声を行政に反映できる仕組みを構築する。

2 事業内容

- ・【仮称】協働による地域づくり検討委員会の開催 … 協働による地域づくりを進めるための仕組みづくり等について検討し、町へ提言
- ・地域づくりに関するアンケート調査の実施 … 一般(2000人を無作為抽出)、各地域役員・団体等(150人を役職等を指定して抽出)を対象として実施
- ・研修会の実施 … 主に各地域の役員と、職員を対象に実施

3 予算額

節	予算額	内容説明及び積算基礎(円)
8. 報償費	1,054	【仮称】協働による地域づくり検討委員会報償費 5,400円×18人×8回=777,600円 研修会講師謝金 275,400円
9. 旅費	120	研修会講師旅費 70,000円 先進地視察(職員) 1,000円×10人×1回=10,000円 " (地区代表) 1,000円×(5人×8地区)×1回=40,000円
11. 需用費	100	消耗品費 50,000円 印刷製本費 50,000円
13. 委託料	2,336	ファシリテーション業務委託料 108,000円 アンケート調査業務委託料 2,228,000円

4 事業の効果

- ・町民と行政の協働体制の確立
- ・地域の誰もが活躍できる社会の実現

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	2	項	1	目	8	細事業名	婚活サポート事業				所属	企画財政課 白石創生推進係
目 名 称	地域づくり推進費 (人づくり推進費)					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	1,364					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	58~60	
	前年度当初	1,407	前年度最終	1,407					1,364	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

婚活サポーターを設置し、結婚希望者のサポートを行うことにより、未婚化、晩婚化に歯止めをかけ、少子化対策及び定住促進に寄与する。

※ 第1期婚活サポーター 17名 平成26.7.1~平成28.3.31

※ 第2期婚活サポーター 23人 平成28.4.1~平成30.3.31

2 事業内容

- ・婚活サポーターを設置し、結婚に関する相談及び結婚までの息の長い支援等を行う。
- ・結婚を望む独身者に対し、結婚に向けてのセミナーを開催することにより、結婚をサポートする。

3 予算額

節	予算額	内容説明及び積算基礎(円)
8. 報償費	842	婚活セミナー講師謝金 30,000円×2回=60,000円 婚活サポーター謝礼 2,000円×12月×23名=552,000円 引き合わせ実費弁償分 10,000円×23名=230,000円
11. 需用費	250	消耗品費 100,000円 印刷製本費 150,000円
12. 役務費	222	広告料 10,000円×1回+50,000円×1回=60,000円 イベント手数料 150,000円 傷害保険料 500円×23名=11,500円
14. 使用料	50	会場借上料 50,000円

4 事業の効果

- ・未婚化、晩婚化に歯止めをかけ、少子化対策及び定住促進に寄与する。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	2	項	1	目	8	細事業名	空き家バンク事業			所属	企画財政課 白石創生推進係
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					
予 算 額	2,537					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	1,803	前年度最終	2,192				2,000	537	59・61・62	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

近年、空き家の問題が社会的な課題として認識されるなか、町内の空き家物件情報を空き家バンクサイトを通じて町内外に情報発信し、利用希望者と空き家提供者をマッチング・成約させることで、空き家の有効活用と移住・定住の推進、及び、地域の活性化を図る。

2 事業内容

- ・空き家バンク物件について、宅地建物取引業者と検討会開催
- ・移住定住相談者向け説明会等への参加
- ・空き家バンクサイトの運営管理

3 予算額

節	予算額	内容説明及び積算基礎(円)
8. 報償費	173	空き家バンク物件検討会報償費 5,400円×4人×8回=172,800円
9. 旅費	164	職員旅費(福岡) 6,000円×2人×2回= 24,000円 職員旅費(東京) 70,000円×2人×1回=140,000円
11. 需用費	80	消耗品費 30,000円 印刷製本費 50,000円
12. 役務費	120	システム更新等手数料 120,000円
19. 負担金補助 及び交付金	2,000	「空き家バンク物件」流通促進奨励金 400,000円×2件= 800,000円 移住・定住支援「空き家バンク物件」改修補助金 600,000円×2件=1,200,000円

4 事業の効果

- ・本町への移住・定住推進、及び、地域の活性化
- ・町内に現存する空き家の有効活用と、特定空家となることの防止

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計						単位:千円		
款	3	項	1	目	1	細事業名	国民健康保険事業費					所属	住民課 保険係
目 名 称	社会福祉総務費					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	170,694					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	80		
	前年度当初	403,931	前年度最終	428,256		27,640	73,499			69,555	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】					基本計画 第 4 節	社会保障の充実		

1 目的

国民健康保険事業費については、保険基盤安定繰出金、事務費等繰出金、出産育児一時金繰出金、財政安定化支援事業繰出金を繰り出し、国保財政を支援する。

2 事業内容

①保険基盤安定繰出金(保険税軽減分)【法定繰出】

市町村は、政令の定めるところにより、低所得者に対する保険料(税)軽減相当額を一般会計から国保特別会計に繰り出さなければならないとされている(法第72条の3第1項)。なお、都道府県は、政令の定めるところにより、その繰入金の3/4に相当する額を負担することとなっている。

②保険基盤安定繰出金(保険者支援分)【法定繰出】

保険税軽減の対象となった一般被保険者の数に応じて平均保険税の一定割合を公費で補填することにより、低所得者を多く抱える市町村を支援し、中間所得者層を中心に保険税負担を軽減する保険者支援制度が創設され、市町村は、政令の定めるところにより、支援額を一般会計から国保特別会計に繰り出さなければならないとされている(法附則第24条第1項)。なお、国、都道府県は、政令の定めるところにより、それぞれの繰入金の1/2、1/4を負担することとなっている。(法附則第24条第2項、第3項)

③事務費等繰出金【法定繰出】

国保事業を執行するために必要な一般管理費、連合会負担金、運営協議会費を町が事務費等繰出金として支援している。

④出産育児一時金繰出金【法定繰出】

被保険者が出産したときに支払われる出産育児一時金に対しても補助金額の2/3の支援金を繰り出している。

⑤財政安定化支援事業繰出金【法定繰出】

被保険者の応能保険料(税)負担能力が特に不足していること、病院の病床数が特に多いこと、被保険者の年齢構成が高齢者に偏っていることの三つの事由を想定して地方財政措置が講じられている。

3 予算額

①保険基盤安定繰出金(保険税軽減分)	79,573千円	②保険基盤安定繰出金(保険者支援分)	55,280千円	【法定繰出】①～⑤の計	170,694千円
③事務費繰出金	11,041千円	④出産育児一時金繰出金	9,800千円		
⑤財政安定化支援事業繰出金	15,000千円				

4 事業の効果

国民健康保険特別会計の財政が健全に運営される。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計				単位:千円		
款	3	項	1	目	3	細事業名	後期高齢者医療事業費			所属	住民課 保険係
目名称	老人福祉費					財 源 内 訳					
予 算 額	494,816					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	495,569	前年度最終	498,081			88,172			406,644	88・89
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 4 節	社会保障の充実	

1 目的 後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律により、国民の共同連帯の理念に基づき高齢者の適切な医療の給付等を行い、国民保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。

2 事業内容 町は、広域連合の経費負担、一定以上所得者分を除いた医療給付費の12分の1の定率負担、保険基盤安定制度の負担等が義務付けられている。

3 予算額	項 目	事業費	説 明		
	19.負担金	355,958	市町定率負担(一般会計から広域連合特別会計へ納付・高確法第98条) 療養給付見込額 4,347,273千円 - 特定費用(3割負担分) 70,434千円 - その他収入 5,344千円 = 負担対象額 4,271,495千円 負担対象額 4,271,495千円 × 定率負担 1/12 = 355,958千円		
	23.後期高齢者医療特別会計繰出金	138,858	徴収経費等事務費	特別会計の一般管理費40千円+徴収費778千円=818千円 その内徴収費に充当できる督促手数料分(30千円)を控除して計上 788千円	788
広域連合共通経費(一般会計分)			広域連合運営経費等(職員人件費、議会等) 均等割(10%) 961千円 + 人口割(45%) 2,473千円 + 高齢者人口割(45%) 3,155千円 = 6,589千円 (佐賀県広域連合合計192,216千円の約3.43%)	6,589	
広域連合共通経費(特別会計分)			運営経費(電算システム運営費、レセプト点検等) 均等割(10%) 2,030千円 + 人口割(45%) 5,224千円 + 高齢者人口割(45%) 6,664千円 = 13,918千円 (佐賀県広域連合合計412,403千円の約3.37%)	13,918	
保険基盤安定負担金			低所得者軽減額 109,817千円 + 被扶養者軽減額 7,746千円 = 117,563千円 (負担金対象額) 町負担(1/4) 29,391 県負担(3/4) 88,172	117,563	
	計	494,816	県負担分は一般会計で歳入後、町負担分と合わせて後期特別会計へ繰出し、広域連合へ納付		

4 事業の効果 医療制度の円滑な運営に寄与する。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	3	項	2	目	1	細事業名	子どもの貧困対策費				所属	保健福祉課 福祉係
目 名 称	児童福祉総務費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	2,539					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	91・92	
	前年度当初	0	前年度最終	0	0	1,904				635	新規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節	子育て支援の充実			

1 目的

日本の将来を担う子供たちは国の一番の宝である。貧困は、子供たちの生活や成長に様々な影響を及ぼすが、その責任は子供たちにはない。子供の将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することがないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る。

2 事業内容

貧困の状況にある子供等の実態把握と支援ニーズの調査を行い、今後の関係機関の連携体制整備、有効な支援の検討を行う。

- ・小学生、中学生の保護者及び児童生徒を対象に、実態調査を行う。(保護者約2,000人、児童生徒[小4～中3]約1,300人)
- ・子どもの貧困対策検討委員会を立ち上げ、実態調査の結果から関係機関の連携体制整備、有効な支援の検討を行う。

◎内閣府の国庫補助事業「子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業」地域子供の未来応援交付金を活用：実態調査に係る費用については3/4補助

3 予算額

	予 算	説 明
08.報償費	119	子どもの貧困対策検討委員報償 5,400円/2回 × 11人 = 118,800円
11.需用費(消耗品費)	20	事務用品 等 20,000円
13.委託料	2,400	子どもの貧困実態調査委託料 (調査票作成印刷、調査票の入力集計整理、調査結果分析報告書作成)

4 事業の効果

生まれ育った環境に左右されず、児童の健やかな成長に資することができる。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	3	項	2	目	2	細事業名	児童手当			所属	保健福祉課 福祉係
目 名 称	児童措置費					財 源 内 訳					
予 算 額	362,250					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	374,850	前年度最終	351,764		250,250	56,000			56,000	92
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節	子育て支援の充実		

1 目的

子どもを養育している者に児童手当を支給することにより、次代の社会を担う子どもの成長及び発達に資することを目的とする。

2 事業内容

支給対象:0歳から中学校修了までの子ども

支給月額:3歳未満15,000円、3歳以上小学校修了前(第1子・第2子)10,000円、3歳以上小学校修了前(第3子以降)15,000円、中学生10,000円

※ただし、児童を養育している者の所得が所得制限限度額以上の場合、特例給付として月額一律5,000円を支給する。

【交付金算定率】

支給対象児童		月額	国	県	町
3歳未満	被用者	15,000円	37/45	4/45	4/45
	非被用者	15,000円	4/6	1/6	1/6
3歳以上 小学校修了前	第1子・第2子	10,000円	4/6	1/6	1/6
	第3子以降	15,000円	4/6	1/6	1/6
中学生		10,000円	4/6	1/6	1/6
所得制限以上世帯		5,000円	4/6	1/6	1/6

【定時支給】

6月	2月~5月分
10月	6月~9月分
2月	10月~1月分

3 予算額

支給対象児童		延べ人数	支給金額	国	県	町
3歳未満	被用者	3,750人	56,250,000円	46,250,000円	5,000,000円	5,000,000円
	非被用者	1,400人	21,000,000円	14,000,000円	3,500,000円	3,500,000円
3歳以上 小学校修了前	第1子・第2子	15,300人	153,000,000円	102,000,000円	25,500,000円	25,500,000円
	第3子以降	4,200人	63,000,000円	42,000,000円	10,500,000円	10,500,000円
中学生		6,600人	66,000,000円	44,000,000円	11,000,000円	11,000,000円
所得制限以上世帯		600人	3,000,000円	2,000,000円	500,000円	500,000円
合 計		31,850人	362,250,000円	250,250,000円	56,000,000円	56,000,000円

(月平均対象児童数) 2,654人

4 事業の効果

児童手当を支給することにより、保護者の経済的負担軽減に寄与し、児童の健やかな成長に資することができる。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計							単位:千円	
款	3	項	2	目	4	細事業名	町立保育園公設民営費				所属	保健福祉課 こども未来係
目 名 称	児童福祉施設費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	445,626					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	94・95	
	前年度当初	545,723	前年度最終	593,323				177,700	267,926	継 続		

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 1 節	子育て支援の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	----------

1 目的 新たな保育ニーズへの柔軟な対応が可能となる民営化を推進する。

2 事業内容

保育園名	定員	指定期間(5年間)	年齢区分 (人)												合計(入所予定1ヶ月合計人数)	運営費(公定価格)(円)
			0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児			
			標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間		
六角保育園	110	H26.4~H31.3	2	0	8	2	13	4	17	1	14	3	22	3	89	89,800,000
有明みのり保育園	50	H26.4~H31.3	0	1	7	1	3	1	8	2	7	0	9	2	41	53,800,000
福田保育園	50	H27.4~H32.3	0	0	10	1	8	2	13	0	8	1	12	1	56	82,400,000
福富保育園	190	H27.4~H32.3	6	0	20	3	25	1	32	2	36	5	31	0	161	138,100,000
有明わかば保育園	50	H27.4~H32.3	1	0	8	1	9	0	5	3	11	0	10	0	48	71,800,000

3 予算額

(単位:千円)

節	区分	予算額	内 訳					
			国費	県費	保育料	受託分保育料	その他	一般財源
13.委託料 (運営費委託料)	六角保育園	89,800			17,000	1,400	3,100	68,300
	有明みのり保育園	53,800			6,000	1,400	6,600	39,800
	福田保育園	82,400			11,000	2,200	5,800	63,400
	福富保育園	138,100			28,500	1,900	2,200	105,500
	有明わかば保育園	71,800			9,000	200	1,400	61,200
	小計	435,900			71,500	7,100	19,100	338,200
19.負担金、補助及び交付金 (延長保育、障害児保育)	六角保育園	1,797						1,797
	有明みのり保育園	1,797						1,797
	福田保育園	1,797						1,797
	福富保育園	1,797						1,797
	有明わかば保育園	2,538						2,538
	小計	9,726						9,726
	合計	445,626			71,500	7,100	19,100	347,926

13節:委託料
公定価格により算定
公設民営化保育園の負担割合
一般財源 10/10 (国庫、県費の分は交付税措置)

19節:負担金、補助及び交付金
※延長保育:30分加算 300,000円、1時間加算 1,342,000円
300,000円×4園×2(開所前後)
1,342,000円×1園
※障害児保育:重度66,490円、軽度33,240円
66,490円×12ヶ月×1人×5園
33,240円×12ヶ月×1人×5園

【財源内訳】
その他:保育料71,500、町外受託分保育料7,100、
管外受託事業負担金19,100、ふるさと基金80,000

4 事業の効果 安心・安全な保育を実施することができる。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	3	項	2	目	6	細事業名	学童保育事業費			所属	保健福祉課 こども未来係
目 名 称	子ども・子育て支援事業費					財 源 内 訳					
予 算 額	41,607					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	43,425	前年度最終	39,235		11,533	11,533		18,008	533	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 1 節	子育て支援の充実		

1 目的

保護者の就労等により、保育に欠ける小学校児童を対象に学校終了後から午後7時まで学校の余裕教室等で保育することにより児童の健全育成を図る。

2 事業内容

- ・平日は、放課後から19時まで実施。
- ・長期休暇時は、各クラブで7時40分～19時まで実施。
- ・土曜日は、1箇所(六角小)で7時40分～18時まで実施。

★放課後児童健全育成事業補助金 23,066,000円
国 1/3、県 1/3、町 1/3

★財源内訳
その他：保護者負担金7,008、ふるさと基金11,000

区分	負担金の額(児童一人につき)		区分	負担金の額(児童一人につき)	
継続参加	4月～翌年3月まで(月～金)の参加※	月額 2,000円	一時参加	夏季休業日(月～金)	月額 5,000円
	4月～翌年3月まで(月～土)の参加※	月額 3,000円		夏季休業日(月～土)	月額 6,000円
	8月(月～金)の参加	月額 4,000円		冬季休業日	月額 2,000円
	8月(月～土)の参加	月額 5,000円		学年末休業日及び春季休業日	月額 2,000円
	延長利用分(午後6時～午後6時30分)	月額 500円		延長利用分(午後6時～午後6時30分)	月額 500円
	延長利用分(午後6時～午後7時)	月額 1,000円		延長利用分(午後6時～午後7時)	月額 1,000円
申込時間を超過して利用した場合		30分ごと 50円	申込時間を超過して利用した場合		30分ごと 50円
減免の場合			減免率		
・ひとり親家庭の場合			1/2	※は8月を除く。	
・生活保護法による被保護世帯である場合			10/10		
・被災世帯である場合			10/10		
・その他特別な事由があると認められた場合			10/10		
・同一世帯から2人以上の児童が参加する場合の2人目児童			1/2		

3 予算額

(単位:千円)

07.賃金	09.旅費	11.需用費	12.役務費	13.委託料	15.工事請負費	18.備品購入費	19.負担金	合計
36,000	20	2,202	426	139	2,582	200	38	41,607

4 事業の効果 子ども達の健全育成を図ることができる。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	3	項	2	目	6	細事業名	地域子育て支援事業費			所属	保健福祉課 こども未来係
目 名 称	子ども・子育て支援事業費					財 源 内 訳					
予 算 額	14,286					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	15,533	前年度最終	15,856		4,761	4,761			4,764	97
											継 続

白石町総合計画 (人と大地がうろおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 1 節	子育て支援の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	----------

1 目的

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子供や子育てをめぐる環境が大きく変化するなか、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や負担感の増大といった問題が生じている。子育ての負担感等の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整え、きめ細かな子育て支援サービスを提供し子育て支援機能の充実を図る。

2 事業内容

1. 地域子育て支援拠点事業

常設のひろばを開設し、乳幼児とその保護者の相互交流を図る場を提供する。

事業形態 ひろば型、週5日(月曜日～金曜日・第2土曜日) 時間:午前9時～午後5時

※白石町社会福祉協議会が、白石町交流館1F白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」で実施する。

2. 一時預かり事業(一般型):地域子育て支援拠点、駅周辺等利便性の高い場所など、一定の利用児童が見込まれる場所で実施するもの

事業形態:週5日(月曜日～金曜日・第2土曜日)、時間:午前9時～午後5時

※白石町社会福祉協議会が、白石町交流館1F白石町地域子育て支援センター「ゆめてらす」で実施する。

3. 一時預かり事業(余裕活用型):保育所等で実施するもので、実施場所の定員の範囲内において実施するもの。

※有明ふたば保育園、有明わかば保育園にて実施する。

4. 一時預かり事業(幼稚園型)

在園児(教育標準時間の子ども)と園児以外の子どもの一時預かりも併せて実施するもの(ありあけ幼稚園で実施する。)

① ゆめてらす

H28.11～H29.10までの利用状況(延べ人数) 単位:人

年月	ひろば親	ひろば子	ひろば計	一時預かり
H28.11 ～H29.3	986	1,288	2,274	361
H29.4～ H29.10	1,201	1,544	2,745	500
計	2,187	2,832	5,019	861

② 有明ふたば保育園、有明わかば保育園(一時預かり)

H29見込み

有明ふたば保育園 150人

有明わかば保育園 80人

③ ありあけ幼稚園(一時預かり)

H29見込み 平日:1,300人 長期休業:500人

休日(土曜日):10人

予算内訳(一時預かり事業)

① 一般型(300人以上900人未満)	1,650,000円
② 余裕活用型(1人当たり2,200円)	506,000円
③ 幼稚園型	1,035,000円

3 予算額

(単位:千円)

節	事業名	予算額	財源内訳			
			国庫支出金	県費	その他	一般財源
19 負担金、補助及び交付金	地域子育て支援拠点事業	11,095	3,698	3,698		3,699
	一時預かり事業	3,191	1,063	1,063		1,065
	合計	14,286	4,761	4,761		4,764

財源内訳: 子ども・子育て支援事業

地域子育て支援拠点事業(国1/3、県1/3、町1/3)

一時預かり事業(国1/3、県1/3、町1/3)

4 事業の効果

地域子育て支援拠点事業は、子育て家庭の身近な拠り所として、異世代交流、父親の育児参加、地域コミュニティ活性化を実現できる場とする。

また、一時預かり事業は、保護者の就労形態の多様化、疾病等、育児に伴う心理的、肉体的負担の軽減が期待できる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	4	項	1	目	1	細事業名	不妊治療支援事業費			所属	保健福祉課 健康づくり係
目 名 称	保健衛生総務費					財 源 内 訳					
予 算 額	3,200					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	100
	前年度当初	3,900	前年度最終	3,900				2,500	700	継続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 3 節	保健・医療体制の充実		

1 目的

不妊に悩む夫婦に対して、医療保険が適用されず高額な費用がかかる不妊治療に要した費用の一部を助成することにより、経済的負担を軽減する。

2 事業内容

助成方法

償還払い方式

対象者

佐賀県不妊治療支援事業の対象者であり、夫婦のいずれかが町内に住民登録し、引き続き1年以上居住していること。

助成対象とする
不妊治療費

佐賀県不妊治療指定医療機関で実施された、戸籍上の夫婦間で行う健康保険が適用されない不妊治療費
(人工授精、体外受精、顕微授精、男性不妊治療)

助成額

医療機関で支払った不妊治療費から佐賀県不妊治療支援事業助成金額等を差し引いた額の1/2以内

3 予算額

節	予算	細 節	金 額(円)	備考
19.負担金補助 及び交付金	3,200	補助金	3,200,000	不妊治療支援事業補助金

ふるさと基金2,500千円充当

参考

	申請件数	出生数	
23年度	18件 13組	4	
24年度	22件 13組	4	
25年度	16件 11組	4	
26年度	13件 9組	2	
27年度	28件 17組	5	
28年度	20件 14組	4	
29年度	5件 4組		平成29年11月末現在

4 事業の効果

高額な医療費負担の助成により経済的負担の軽減が図られ、少子化対策の一助となる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計					単位:千円			
款	4	項	1	目	1	細事業名	子どもの医療事業費				所属	保健福祉課 福祉係	
目名称	保健衛生総務費					財源内訳					予算書頁		
予算額	79,799					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	99~101		
	前年度当初	69,087	前年度最終	74,463			20,281	54,000	101	5,417	継続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第1節	子育て支援の充実			

1 目的

出生から中学生までの子どもの医療費助成により、疾病の早期治療と家庭の経済的負担の軽減に努める。

2 事業内容

※出生から中学生までの子どもを対象に、保険給付の一部負担金から、医療機関及び保険者ごとに、1月当たり入院は上限1,000円、入院外は上限1回目500円・2回目500円の自己負担を控除した医療費について助成を行う。ただし、薬局は一部負担金を全額助成する。

※県外で受診した場合の医療費については、償還払いとする。

※高額医療費に該当した場合については、高額療養費該当者の代理申請を行う。

※医療費の助成については、国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金に委託。

役務費(支払審査手数料) 3,248,675円

国保連合会(35%)	14,665件 × @99.66円 =	1,461,514円	
支払基金(65%)	医科・歯科	16,341件 × @81.7円 =	1,335,060円 (60%)
	調剤	10,894件 × @41.5円 =	452,101円 (40%)
41,900件		3,248,675円	

3 予算額

節	予算額	財源内訳				内容
		県補助金	地方債	その他	一般財源	
12.役務費	3,249	905			2,344	審査手数料
20.扶助費	72,100	17,876	54,000	101	123	ひとり親、重心の児童含む
28.繰出金	4,450	1,500			2,950	H29現物給付に伴う国保財政影響分
計	79,799	20,281	54,000	101	5,417	

繰出金：未就学児の現物給付に係る国庫ペナルティ分(H29 3,075,679円 前年比1,068,622円増)
H30予算は、H29診療実績で支払予定のため前年並み3,000千円計上(H30診療分より未就学児分ペナルティは廃止)
H29小中学生診療分の国庫ペナルティのH30予算は、1,450千円を見込み計上。

4 事業の効果

出生から中学生までの子どもに対して医療費を助成することで、子どもの疾患の早期発見及び早期治療が出来るとともに、保護者の経済的負担の軽減が図られる。

医療費支払い実績(現物給付+償還払)

支払月	H28年度		H29年度(見込)	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
4月	2,246	3,056,883	1,765	2,520,567
5月	2,186	2,949,322	1,997	3,301,893
6月	1,902	2,251,645	2,992	4,790,195
7月	1,845	2,837,636	3,773	6,239,085
8月	1,851	3,062,048	3,564	5,784,433
9月	1,763	2,537,644	3,389	5,654,535
10月	1,810	2,612,749	3,245	5,572,643
11月	1,777	2,873,798	3,100	5,648,586
12月	1,964	2,477,747	3,400	6,306,000
1月	2,226	3,461,002	3,400	6,306,000
2月	2,257	3,260,639	3,400	6,306,000
3月	1,977	2,873,504	3,400	6,306,000
未熟児医療	11	173,570	30	700,000
合計	23,815	34,428,187	37,455	65,435,937

※現物給付は、診療報酬支払が2ヶ月遅れのため、H29小中学生分の支出は10ヶ月分となる。H30扶助費は、H29決算見込みに小中学生4月・5月分を加え見込む。

小中学生分H29.6~11月実績の月平均 3,286,880円
65,435,937円 + 3,286,880円 × 2ヶ月 = **72,100,000円**

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計				単位:千円		
款	4	項	1	目	2	細事業名	予防接種事業費			所属	保健福祉課 健康づくり係
目 名 称	予防費					財 源 内 訳					
予 算 額	65,249					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	101・102
	前年度当初	64,114	前年度最終	62,114					65,249	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 3 節	保健・医療体制の充実		

1 目的

感染症の発生、重症化及び蔓延を予防する。

2 事業内容

- ・ 予防接種法による定期接種の実施

四種混合、三種混合、二種混合、麻しん風しん、日本脳炎、BCG、ポリオ、ヒブ、水痘、B型肝炎、小児肺炎球菌、高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザ、子宮頸がん（子宮頸がん予防ワクチン：積極的勧奨は全国的に差し控えられている。）

実施方法 佐賀県内の実施医療機関での個別接種

対象者 乳幼児、小・中学生、高校生及び65歳以上の高齢者

- ・ 任意接種の実施

こどもインフルエンザ

実施方法 武雄杵島地区内実施医療機関での個別接種

対象者 0歳～中学3年生

助成額 1人2,000円

- ・ 予防接種健康被害調査委員会(任期2年)

組織:副町長・杵藤保健所長・県医師会推薦医師(2名)・地区医師会推薦医師(1名)・学識経験者(1名)

3 予算額

節	予算(千円)	細 節	金 額(円)	備 考
01.報酬	40	委員報酬	40,000	予防接種被害調査委員 10,000円 × 4人 = 40,000円
09.旅費	4	費用弁償	4,000	予防接種被害調査委員 1,000円 × 4人 = 4,000円
11.需用費	150	消耗品費	150,000	予防接種用事務用品等 150,000円
12.役務費	1,155	手数料	1,155,000	審査支払手数料 105円 × 延べ 11,000件 = 1,155,000円
13.委託料	63,500	その他委託料	63,500,000	予防接種委託料 63,500,000円
20.扶助費	400	扶助費	400,000	予防接種費用(償還払) 400,000円
計	65,249		65,249,000	

4 事業の効果

接種者の発病や重症化を防止するとともに、感染症の発生及び蔓延を予防することができる。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計							単位:千円		
款	4	項	1	目	2	細事業名	成人検診事業費					所属	保健福祉課 健康づくり係
目 名 称		予防費				財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額		26,325				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	101		
		前年度当初	24,903	前年度最終	20,507	692	802		4,240	20,591	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 3 節	保健・医療体制の充実				
1 目的													
がんが町民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状を踏まえ、がん検診を実施し、がんの予防及び早期発見の推進を図ることにより、がんによる死亡率を減少させるとともに、医療費の適正化を図る。													
2 事業内容													
がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(健発第0331058号平成20年3月31日厚生労働省健康局長通知)その他の法令に基づき、がん検診を実施する。													
【検診項目】													
■胃がん		40歳以上(胃部エックス線検査)		■子宮頸がん		20歳以上		検診の県内広域化に伴い、平成29年度から毎年受診可に変更					
		50歳～68歳の偶数年齢(胃内視鏡検査)		■前立腺がん		40歳以上							
■肺がん・結核		40歳以上(結核検診65歳以上)		■肝炎ウイルス検査		30歳以上75歳未満(未検査者のみ)							
■大腸がん		40歳以上		■ピロリ菌検査		30歳以上40歳未満の国保被保険者(未検査者のみ)							
■乳がん		40歳以上(隔年受診)											
■歯周疾患検診		40、50、60、70歳の者											
3 予算額													
節	予算額	細 節		内 訳									
07賃金	476千円	日々雇用職員賃金	476,000円	検診通知発送事務	6,400円 ×	3人 ×	5日 =	96,000円					
				検診受付・問診業務	5,000円 ×	4人 ×	19日 =	380,000円					
11需用費	394千円	消耗品費	137,000円	未受診者勸奨用はがき、検診用品、宛名シール、リサイクルトナー					137,000円				
		印刷製本費	256,500円	受診勸奨用窓あき封筒	10円 ×	11,000通 ×	1.08 =	118,800円					
				各戸配布用パンフレット	16円 ×	8,000通 ×	1.08 ÷	2 =	69,120円				
				乳がん精密検査依頼書、子宮がん検診受診票、歯周疾患検診票、返信用封筒					68,580円				
12役務費	1,362千円	通信運搬費	1,361,800円	当初受診勸奨通知	9,000通 ×	60円 =	540,000円						
				未受診者勸奨通知	9,600通 ×	62円 =	595,200円						
				歯周疾患検診受診勸奨通知	1,300通 ×	82円 =	106,600円						
				料金後納・受取人払い郵便	10,000円 ×	12月 =	120,000円						
	62千円	手数料	61,320円	審査支払手数料 (子宮頸がん480人+胃内視鏡104人) × 105円					61,320円				
13委託料	23,965千円	その他委託料	23,965,000円	集団・個別検診料					23,965,000円				
14使用料及び賃借料	66千円	その他使用料	66,000円	検診施設使用料(ふれあい郷)	22,000円 ×	6日 ÷	2 =	66,000円					
				歳入財源	新たながん検診総合支援事業国庫補助金 国庫:1/2								
					佐賀県健康増進事業費補助金の内、健康診査費に係る分 県費:2/3								
4 事業の効果													
各種がんの早期発見・早期治療により、がんによる死亡率を減少させ、医療費の適正化を図ることができる。													

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	3	項	1	目	2	細事業名	障害者自立支援給付費			所属	長寿社会課 障がい福祉係	
目 名 称		障害者福祉費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		568,435				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	81~83	
		前年度当初	552,063	前年度最終	552,063	283,150	141,575			143,710	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章		健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節		地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実	

1 目的

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、必要な障害福祉サービスを提供する。

2 事業内容

障害者がサービス提供事業所と契約し、支給決定サービス量に応じた支援を受ける。

- 訪問系サービス（居宅介護、同行援護、行動援護など）
- 居住系サービス（施設入所支援、グループホーム）
- 精神障害者デイケア のびのび会（事業は健康づくり係）

- 日中活動系サービス（療養介護、生活介護、短期入所、就労移行支援、就労継続支援等）
- 計画相談支援

3 予算額

11 需用費	消耗品費	精神障害者デイケア実習材料費			104,000 円	104 千円
13 委託料	その他委託料	支援費給付事務委託料(自立支援給付費)	82,000 円 ×	12 月 =	984,000 円	984 千円
14 使用料及び賃借料	その他借上料	支援費ソフトリース料(地方自治法に基づく長期継続契約)	902,400 円 ×	1.08 =	974,592 円	975 千円
18 備品購入費	キャビネット(自立支援給付台帳収納用)		35,640 円 ×	2.00 =	71,280 円	72 千円
20 扶助費	介護給付費・訓練等給付費・相談支援給付費				566,300,000 円	566,300 千円
						(国庫1/2・県費 1/4)

当初予算額 568,435 千円

4 事業の効果

障害者に必要な障害福祉サービスを提供することにより、障害者及びその家族の地域生活を支援することができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	3	項	1	目	2	細事業名	障害児通所支援給付費			所属	長寿社会課 障がい福祉係
目 名 称	障害者福祉費					財 源 内 訳					
予 算 額	65,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	83
	前年度当初	49,286	前年度最終	52,300		32,500	16,250		11,000	5,250	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実		

1 目的

- ・ 児童発達支援 児童発達支援センター等に通わせ、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の習得、集団生活への適応訓練その他の便宜を供与することを目的とする。
- ・ 医療型児童発達支援 上肢、下肢または体幹の機能の障害のある児童につき、医療型児童発達支援センター等に通わせ、児童発達支援及び治療を行うことを目的とする。
- ・ 放課後等デイサービス 就学している障害児につき、授業の終了後または休業日に児童発達支援センター等に通わせ、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与することを目的とする。
- ・ 保育所等訪問支援 保育所その他の児童が集団生活を営む施設等に通う障害児につき、当該施設を訪問し、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援その他の便宜を供与することを目的とする。

2 事業内容

障害児(18歳未満)が施設・事業者と契約し、支給決定のサービス量に応じ自己負担をし、施設や事業所に通所しながら必要な支援を受ける。

- 障害児通所支援
- ・ 障害児相談支援
 - ・ 児童発達支援
 - ・ 医療型児童発達支援
 - ・ 放課後等デイサービス
 - ・ 保育所等訪問支援

3 予算額

20扶助費

	延利用者見込み数	見込額
・ 児童発達支援	336 人	15,300,000 円
・ 医療型児童発達支援	0 人	0 円
・ 放課後等デイサービス	444 人	45,732,000 円
・ 保育所等訪問支援	24 人	240,000 円
・ 障害児相談支援	204 人	3,672,000 円
・ 高額障害児通所給付費	2 人	56,000 円
H30年度所要見込額		65,000,000 円

(国庫1/2・県費 1/4)

当初予算額 65,000 千円

※ 医療型児童発達支援は、県内に該当施設がないため計上していない。

4 事業の効果

障害児に必要な支援と保護により福祉の向上を図ることができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円																																																					
款	3	項	1	目	2	細事業名	重度心身障害者医療給付費			所属	長寿社会課 障がい福祉係																																																	
目 名 称	障害者福祉費					財 源 内 訳					予算書頁																																																	
予 算 額	55,474					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	80・83																																																	
	前年度当初	55,066	前年度最終	55,066			26,954			28,520	継 続																																																	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実																																																			
<p>1 目的 重度の身体障害又は知的障害を有する者について、医療費の一部を助成することにより、これらの者の保健の向上及び福祉の増進を図る。</p> <p>2 事業内容 【白石町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例】 【白石町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例施行規則】</p> <p>○対象者 白石町に住所を有する者で次の各号のいずれかに該当する者 ただし、生活保護法による医療費扶助を受けている者を除く。 (1)重度身体障害者 身体障害者程度等級表の1級又は2級に該当する者 (2)重度知的障害者 知的障害の程度が知的指数35以下の者 (3)重複障害者 身体障害者程度等級表の3級に該当し、かつ知的障害の程度が知的指数50以下の者</p> <p>○内容 (1)申請により助成のための受給資格登録を行い受給資格証を交付する。 (2)1月500円の自己負担額及び高額療養費等を差し引いた額を助成する。 (3)入院時の食事療養費は自己負担とする。</p> <p>○助成の制限 前年の所得(県の交付要綱により特別児童扶養手当等に関する法律第20条及び21条に規定する額)により、助成の制限あり。</p> <p>3 予算額</p> <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td>7 賃金</td> <td>日々雇用職員</td> <td>6,400円</td> <td>×</td> <td>240日</td> <td>=</td> <td>1,536,000円</td> <td>1,536 千円</td> </tr> <tr> <td>11 需用費</td> <td>消耗品費(ラベル用紙、スティックのり他)</td> <td>30,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>当初予算額 30 千円</td> </tr> <tr> <td>20 扶助費</td> <td>重度心身障害者医療費助成事業費</td> <td>補助率 : 県費 1/2</td> <td></td> <td>(過去3年間平均)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4,185,000 円 × 12月 =</td> <td></td> <td>50,220,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>高額医療改正増加見込</td> <td></td> <td>3,688,000 円</td> <td>53,908 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="7"> ※平成29年8月診療分より医療保険の自己負担限度額が上がり、また平成30年8月に更に改正があるため増加が見込まれる。 ※平成29年4月より子ども医療費の現物給付化に伴い、今まで未申請だったものも給付となるため増加が見込まれる。 </td> <td>計</td> <td>55,474 千円</td> </tr> <p>4 事業の効果 重度障害者の保健の向上及び福祉の増進に寄与できる。</p> </table>												7 賃金	日々雇用職員	6,400円	×	240日	=	1,536,000円	1,536 千円	11 需用費	消耗品費(ラベル用紙、スティックのり他)	30,000円					当初予算額 30 千円	20 扶助費	重度心身障害者医療費助成事業費	補助率 : 県費 1/2		(過去3年間平均)								4,185,000 円 × 12月 =		50,220,000 円						高額医療改正増加見込		3,688,000 円	53,908 千円	※平成29年8月診療分より医療保険の自己負担限度額が上がり、また平成30年8月に更に改正があるため増加が見込まれる。 ※平成29年4月より子ども医療費の現物給付化に伴い、今まで未申請だったものも給付となるため増加が見込まれる。							計	55,474 千円
7 賃金	日々雇用職員	6,400円	×	240日	=	1,536,000円	1,536 千円																																																					
11 需用費	消耗品費(ラベル用紙、スティックのり他)	30,000円					当初予算額 30 千円																																																					
20 扶助費	重度心身障害者医療費助成事業費	補助率 : 県費 1/2		(過去3年間平均)																																																								
				4,185,000 円 × 12月 =		50,220,000 円																																																						
				高額医療改正増加見込		3,688,000 円	53,908 千円																																																					
※平成29年8月診療分より医療保険の自己負担限度額が上がり、また平成30年8月に更に改正があるため増加が見込まれる。 ※平成29年4月より子ども医療費の現物給付化に伴い、今まで未申請だったものも給付となるため増加が見込まれる。							計	55,474 千円																																																				

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	3	項	1	目	3	細事業名	敬老の日記念事業費			所属	長寿社会課 高齢者係
目 名 称	老人福祉費					財 源 内 訳					
予 算 額	21,657					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	21,105	前年度最終	20,305			15,000		6,657	85・86・89	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実	

1 目的

長年にわたり、社会に貢献された高齢者に対し、敬意を表し、長寿を祝福する。

2 事業内容

- ・地域で行われる、高齢者の長寿を祝う行事にかかる経費の一部を助成する。
- ・長寿祝金、敬老記念品を贈呈する。

	敬老記念品				長寿祝金				
対象者	喜寿(77歳)、米寿(88歳)、白寿(99歳)及び男女の最高齢者				満80歳、85歳、90歳、95歳及び100歳以上の者				
敬老記念品額 及び 長寿祝金額	喜寿 3,000円	米寿 3,000円	白寿 3,000円	最高齢 5,000円	80才 10,000円	85才 15,000円	90才 20,000円	95才 30,000円	100才以上 50,000円
支給日及び方法	9月16日から9月末(商品券、郵送)				9月末(現金、口座振込)				

3 予算額

(単位:円)

08.報償費			11.需用費		12.役務費		19.補助金		20.扶助費		
敬老記念品			消耗品費		通信運搬費		地域敬老事業助成金		長寿祝金		
喜寿	3,000円 × 290人	870,000	生花	3,240	簡易書留	205,020	1,200円 × 4,750人	5,700,000	80才	10,000円 × 265人	2,650,000
米寿	3,000円 × 190人	570,000	事務用品	20,000	口座確認	65,846			85才	15,000円 × 266人	3,990,000
白寿	3,000円 × 29人	87,000	額縁	44,280	振込案内	65,846			90才	20,000円 × 174人	3,480,000
最高齢	5,000円 × 2人	10,000	封筒	41,256	受取人払い	53,466			95才	30,000円 × 55人	1,650,000
									100歳以上	50,000円 × 43人	2,150,000
		1,537,000		108,776		390,178		5,700,000			13,920,000

4 事業の効果

地域の敬老意識の高揚につながり、明るく豊かな長寿社会を築くことができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	3	項	1	目	3	細事業名	介護保険事業費			所属	長寿社会課 高齢者係
目 名 称	老人福祉費					財 源 内 訳					
予 算 額	445,722					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	88
	前年度当初	444,980	前年度最終	439,245					445,722	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実	

1 目的

加齢に伴って生ずる認知や疾病等により介護が必要になった人に対して、その人がもつ能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように、必要な介護サービスの提供を行う。

2 事業内容

杵藤地区市町村圏組合が保険者となり、介護保険事業を実施し、運営する。

構成市町は、介護給付及び予防給付等に要する費用の一部を負担する。(保険料50%、国25%、県・町12.5%)

◆高齢者数・要介護者数の状況(平成30年1月末日)

各年度末

総人口	23,624 人	要介護・要支援者数	1,632 人
40-64歳	7,546 人		
65-74歳	3,305 人	要支援1	192 人
75歳以上	4,432 人	要支援2	205 人
高齢化率	32.75 %	要介護1	383 人
		要介護2	291 人
		要介護3	206 人
		要介護4	200 人
		要介護5	155 人

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
高齢者数	7,236人	7,331人	7,434人	7,521人	7,647人	7,856人
高齢化率	28.26%	28.97%	29.76%	30.58%	31.57%	32.25%
認定者数	1,590人	1,672人	1,711人	1,728人	1,722人	1,725人

◆介護保険サービス

在宅サービス	通所介護(デイサービス)、通所リハ(デイケア)、短期入所生活(ショートステイ) 訪問介護(ホームヘルプ)、訪問入浴介護、訪問リハ、訪問介護、居宅療養管理指導 福祉用具貸与、特定福祉具販売、住宅改修費支給
施設サービス	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設
地域密着型サービス	小規模多機能居宅介護、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)ほか

3 予算額

介護保険負担金	
介護保険費負担金	445,722 千円

4 事業の効果

保険者に対して介護保険法に基づく必要額を支出し、介護保険事業の安定的運営を図ることができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	3	項	1	目	3	細事業名	生きがい活動支援通所(デイサービス)事業		所属	長寿社会課 高齢者係	
目 名 称	老人福祉費					財 源 内 訳					
予 算 額	13,317					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	86
	前年度当初	16,836	前年度最終	16,491					13,317	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実	

1 目的

家に閉じこもりがちなおおむね65歳以上の者に対して、日常動作訓練、趣味活動、生きがい活動等の各種サービスを提供し、社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上等を図る。

2 事業内容

- 【委託先】 白石町社会福祉協議会
【対象者】 介護認定審査会において非該当と認定された者及びそれに準ずる者で町長が特に必要と認めるもの
【実施施設】 白石町交流館
【事業内容】 生活指導、日常動作訓練、健康チェック、昼食、養護、送迎

【利用実績】

	年度末						
	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
登録者数	174人	185人	210人	155人	141人	141人	111人
延べ参加者数	6,413人	5,542人	5,539人	5,366人	5,301人	5,356人	4,961人

※H29年11月現在

登録者 115 人
延べ年間参加者見込数 3,970人

※H30年度は週4日実施、週1日は一般介護予防事業実施

3 予算額

13.委託料

生きがい活動支援通所事業委託料 69,000 円 × 193 日 = 13,317,000 円 (3,000円×1日×23人=69,000円)

4 事業の効果

社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上等を図り、自立した生活を継続することができる。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	3	項	1	目	3	細事業名	介護予防普及啓発事業費			所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財源内訳					
予算額	18,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	84~87
	前年度当初	19,694	前年度最終	11,732				18,000	0	継続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第2章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第2節	高齢者・障がい者福祉の充実
-------------------------------	-------------	---------------------------	-------------	---------------

- 1 目的
介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域を目指し、健康教育、健康相談等の取り組みを通じて介護予防に関する知識の普及・啓発を行う。
- 2 事業内容
- 65歳以上の高齢者を対象に、運動機能向上を中心に要介護状態等となることの予防や要介護状態等の軽減、悪化防止を図り高齢者が主体的に健康増進の意識を持ち続けるよう取り組む。
 - 健康体操教室(モデルサロン) 週1回実施 5ヶ所
 - 健康アップ教室 15回実施×2コース
 - しゃきっと教室(運動機能向上事業 12回実施×3ヶ所×4クール)
 - 介護保険申請希望者等への理学療法士によるアセスメント訪問事業
 - 元気が出る学校(運動、認知症予防等個別プランに基づく内容で送迎を行い、買い物支援も含む。4か月間実施し、卒業後は自費通所型介護予防事業や介護予防クラブ等へつなぐ)
 - 介護予防 水中運動教室 ①毎週1回×年間(35回)・・・春、夏、冬休みを除く
 - 介護予防音楽療育委託料 サロン15カ所
 - 口腔機能向上プログラム(歯科医師会委託事業)
 - 出前講座
 - 老人クラブ会員等の一般高齢者を対象に健康づくり、介護予防に関する知識の普及啓発を行う。
 - 老人クラブに委託して、会員の健康づくり介護予防の活動を展開してもらう。
 - 白石町介護予防体操を使用し普及を行う。

3 予算額

歳出 18,000 千円

区分	内容	金額
7 賃金	各種教室及びサロン評価事業従事	480 千円
8 報償費	教室、出前講座、専門職訪問等での講師謝金	3,394 千円
11 需用費	教室等の消耗品費、燃料費等	279 千円
12 役務費	通知用郵送費	25 千円
13 委託料	介護予防教室委託料(水中運動、健康アップ、運動指導)11,626 千円 介護予防事業送迎等委託料 343千円 ケーブルテレビ放送費委託料 1ヶ年 432 千円 老人クラブ健康づくり事業委託料 300千円 地域サロンモデル事業委託料 655千円	13,356 千円
14使用料及び賃借料	冷暖房費、ふれあい郷施設使用料	466 千円

◎財源内訳
介護予防事業委託金 18,000 千円
一般財源 0 千円

4 事業の効果

高齢者に対して介護予防の実践と知識の普及をはかることで、元気で自立した生活を続けられる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計			単位: 千円				
款	3	項	1	目	3	細事業名	一般介護予防事業評価事業			所属	長寿社会課 高齢者係	
目 名 称	老人福祉費					財 源 内 訳						
予 算 額	1,810					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁	
	前年度当初	0			前年度最終	0			1,810	0	85・86	
白石町総合計画 (人と大地がうらおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	高齢者・障がい者福祉の充実		

1 目的

介護予防の実施状況の把握等を通じその検証を行うことにより、高齢者が要介護状態になることの予防に資する対応を効果的に行うため実施する。

2 事業内容

- ・新規介護認定者発生状況や要支援介護度悪化状況分析を行う。
- ・年度当初の介護認定者の状況が1年後、介護度として継続改善率の調査を行う。
- ・上記の分析・調査を行うことで、課題を明確にしサービス事業所等への研修会を開催する。
- ・現状把握を行い、課題分析を実施し、介護予防・日常生活支援総合事業の介護予防・生活支援サービス事業及び一般介護予防事業がそれぞれ、循環的に機能する介護予防の仕組みを作る。

3 予算額 1,810 千円

11 需用費	45 千円	消耗品費(用紙代等)
12 役務費	10 千円	通信運搬費
13 委託費	1,755 千円	一般介護予防事業評価事業委託料

◎財源内訳	
包括的支援事業委託金	1,810 千円
一般財源	0 千円

4 事業の効果

分析・調査の結果、適切な介護予防事業を行うことで、事業対象者及び新規要支援者が利用できるサービスを構築することで、一般介護予防事業の充実を図る。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	3	項	1	目	3	細事業名	生活支援体制整備事業費			所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財 源 内 訳					
予 算 額	16,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	9,000	前年度最終	8,000				16,000	0	85・86	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 2 節	高齢者・障がい者福祉の充実	

1 目的

平成27年度の介護保険制度改正に伴い、杵藤介護保険事務所管内は平成29年4月から新しい介護予防・日常生活総合事業に移行した。1人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、認知症高齢者等さまざまな高齢者が生きがいをもちながら生活継続するための生活支援・介護予防の基盤整備に向けた取り組み。生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置等により、担い手やサービスの開発を行い、高齢者の社会参加及び生活支援・介護予防の充実を推進する。

2 事業内容

第1層協議体研修会 6回

(1)生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置

多様な主体による多様な取組のコーディネート機能を担い、一体的な活動を推進。コーディネート機能は、資源開発・ネットワーク構築を中心に充実。

第1層(市町村区域)、第2層(日常生活圏域である白石、北明、六角、須古、有明東、有明西、有明南、福富の8圏域)でのネットワーク構築や資源開発

(不足するサービスや担い手の創出・養成、活動する場の確保)

(2)協議体の設置 →多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進

資源開発	ネットワーク構築
○地域に不足するサービスの創出	○関係者間の情報共有
○サービスの担い手の創出	○サービス提供主体間の連携の体制づくり
○元気な高齢者などが担い手として活動する場の確保	

3 予算額

16,000 千円

08 報償費

240 千円

第1層協議体研修会謝金

2,000円×20人×6回=240,000

11 需用費

100 千円

消耗品費(用紙代等)

100,000円

13 委託料

7,660 千円

生活支援体制整備事業委託料

7,660,000円

(第1層生活支援コーディネーター人件費等)

8,000 千円

生活支援体制整備事業委託料

1,000,000円×8圏域=8,000,000円

(第2層協議体設置に係る経費等)

◎財源内訳

新しい包括的支援事業委託金

16,000 千円

一般財源

0 千円

4 事業の効果

高齢者の生活支援を支えるため、多様な事業主体による重層的な生活支援・介護予防サービス提供体制の構築が計られる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計				単位:千円			
款	4	項	2	目	1	細事業名	不法投棄防止対策事業			所属	生活環境課 廃棄物対策係	
目 名 称	清掃総務費					財 源 内 訳						
予 算 額	2,067					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	104	
	前年度当初	362	前年度最終	362			1,250			817	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 5 章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】				基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり		

1 目的

環境保全推進委員会(監視員会)や不法投棄防止対策協議会を設置し、廃棄物の不法投棄等の不適正処理防止活動を推進することにより、廃棄物の適正処理に対する町民意識の啓発を図り、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

河川敷・海岸堤防等に不法投棄が発生し、環境保全上問題がある場合に、不法投棄防止の啓発看板の設置や原因者が特定できない場合の処分を行なう。

2 事業内容

平成30年度から、不法投棄防止対策協議会を立ち上げ、県からの補助金を活用し以下の事業を実施する。

- ・不法投棄防止対策事業(監視員による地域監視活動の実施、不法投棄防止看板の設置、パトロール及び広報誌や行政放送による指導啓発)
- ・不法投棄物の回収、撤去、処分業務

3 予算額

8.	委員報償費	不法投棄防止対策協議会委員報償費	5,400 円 × 5 人 × 1 回 =	27,000円	1,527
報償費	推進員報償費	推進員(監視員)報償費	5,000 円 × 25 人 × 12 月 =	1,500,000円	
11.	消耗品費	監視員マグネットシール 看板等設置用品(木杭・針金等) 回収作業用具(手袋・長靴等)	725円 × 20枚 × 1.08 =	15,660円 20,000円 10,000円	46
12.	手数料	家電リサイクル対象品処理手数料 家電リサイクル対象品運搬費 タイヤ、農業用ビニール等処理	4,644 円 × 10 台 = 1,080 円 × 10 台 =	46,440円 10,800円 60,000円	134
役務費	傷害保険料	推進員傷害保険料	420 円 × 27 人 =	11,340円	
	損害保険料	不法投棄監視カメラ損害保険料	1,840 円 × 2 台 =	3,680円	
13.	業務委託	不法投棄物撤去委託料		200,000円	200
18.	備品購入費	不法投棄監視カメラ	80,000 円 × 2 台 =	160,000円	160
計					2,067

※保険料については、監視員が途中交代される場合を想定し27人分

財源内訳	県費	佐賀県不法投棄防止対策等支援事業費補助金	1,250
------	----	----------------------	-------

4 事業の効果

不法投棄の防止とともに、不法投棄が発見された場合、その現場は、周辺環境が再発を招く要因となっている事例が多いため、対策を実施することで環境が保全できる。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	4	項	2	目	2	細事業名	指定ごみ袋等作成業務			所属	生活環境課 廃棄物対策係
目 名 称	塵芥処理費					財 源 内 訳					
予 算 額	16,272					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	17,051	前年度最終	16,060				150	16,122	104	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 5 章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり			

1 目的

町内のごみ収集・処分費用に対する受益者負担としてそれぞれに指定のごみ袋を購入してごみを排出する。そのためのごみ袋を作成することを目的とする。

2 事業内容

町指定のごみ袋及び粗大ごみシールとごみ袋納入告知書を作成する。

3 予算額

節	細節	品 名	作製数量	単価(円)	金額(円)
11.需用費	消耗品費	もえるごみ(特大袋)	270,000 枚 ×	18	= 4,860,000円
		もえるごみ(大袋)	540,000 枚 ×	15	= 8,100,000円
		もえるごみ(小袋)	63,000 枚 ×	12	= 756,000円
		もえないごみ袋	48,000 枚 ×	17	= 816,000円
		カン専用袋	30,000 枚 ×	13	= 390,000円
		ビン専用袋(大袋)	20,000 枚 ×	17	= 340,000円
		ペットボトル専用袋	40,000 枚 ×	15	= 600,000円
		粗大ごみシール	9,000 枚 ×	10	= 90,000円
		ボランティア用袋	20,000 枚 ×	16	= 320,000円
					16,272

財源内訳	その他	指定ごみ袋有料広告掲載料	150
------	-----	--------------	-----

4 事業の効果

指定ごみ袋を利用することにより、ごみの出し方や分別の仕方などの啓発につながる。
また、ごみの収集・処分の費用を一部負担することで排出者として適正な処理及びコストの意識も認識できる。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	4	項	2	目	2	細事業名	一般廃棄物収集運搬業務			所属	生活環境課 廃棄物対策係
目 名 称	塵芥処理費					財 源 内 訳					
予 算 額	97,913					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	105
	前年度当初	95,657	前年度最終	95,657				38,929	58,984	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 5 章	自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			基本計画 第 2 節	環境にやさしいまちづくり			

1 目的

市町村の責務である一般廃棄物の適正処理を行うため、さが西部クリーンセンターで処理する「可燃・不燃・粗大ごみ」の収集運搬を行う。
収集運搬の効率性を図るため町内を6ブロックに分割し、安定かつ安全にごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルールの周知に努めながら衛生的な生活環境の向上を図る。

2 事業内容

町内のごみステーションに排出される「可燃・不燃・粗大ごみ」を収集し、さが西部クリーンセンターへ運搬する業務を委託する。

3 予算額

	収集ブロック	収集地区	積算基礎		
13委託料	A1ブロック	主に白石地区	61,600,000 円 × 1.08 =	66,528,000 円	97,913
	Bブロック	六角・須古地区			
	Cブロック	有明西地区			
	Dブロック	有明東・南地区			
	A2ブロック	主に北明地区	12,120,000 円 × 1.08 =	13,089,600 円	
Eブロック	福富地域	16,940,000 円 × 1.08 =	18,295,200 円		

財源内訳	その他		
		ごみ処理手数料	37,900
		許可申請手数料	23
		遠距離搬入補助金	1,006
		計	38,929

4 事業の効果

安定かつ効率的なごみの収集・運搬に努め、環境美化、ごみ出しのルールの周知に努めながら衛生的な生活環境の向上を図れる。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	4	項	2	目	2	細事業名	ごみ処理センター負担金			所属	生活環境課 廃棄物対策係
目 名 称	塵芥処理費					財 源 内 訳					
予 算 額	139,933					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	105
	前年度当初	105,579	前年度最終	94,832						139,933	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】				基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進		

1 目的

住民から排出された一般廃棄物を広域のごみ処理施設で適正処理する。

2 事業内容

白石町内から排出される一般廃棄物のうち、資源ごみを除く可燃・不燃・粗大ごみをさが西部クリーンセンターで適正処理する。
稼働を終了した杵藤クリーンセンターは、今後、施設解体や跡地利用等について検討すると共に、水質検査を継続して実施する。

3 予算額

19.負担金補助及び交付金 (杵藤地区広域市町村圏組合)	ごみ処理センター費負担金	7,289,000 円	7,289
19.負担金補助及び交付金 (佐賀県西部広域環境組合)	管理運営負担金 (ごみ搬入量の割合による)	68,524,000 円	
	施設整備負担金 (均等割10%、人口割90%)	64,120,000 円	132,644
計			139,933

4 事業の効果

一般廃棄物の処理施設を広域で運営することにより、計画的かつ適正に処理することができ、併せて環境負荷の低減が図られる。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	4	項	2	目	3	細事業名	し尿処理業務			所属	生活環境課 廃棄物対策係
目 名 称	し尿処理費					財 源 内 訳					
予 算 額	133,726					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	105,863	前年度最終	105,863				13,000	27	120,699	105
											継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】	基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進
-------------------------------	---------------	----------------------------	---------------	-------------

1 目的

白石町内から排出されるし尿・浄化槽汚泥を広域で処理することにより、計画的な処理を行い公衆衛生の保全を図る。

2 事業内容

し尿・浄化槽汚泥の収集・運搬を許可業者により実施、杵東地区環境センターで処理する。
施設が老朽化しているため、次期施設建設に取り組み、供用開始は平成35年4月を予定している。

3 予算額

19.負担金補助及び交付金	処理場維持管理負担金(平等割15%、投入量割85%)	104,993,000 円	133,726
	汚泥再生処理センター建設費負担金(平等割10%、人口割90%)	28,733,000 円	
財源内訳その他	許可申請手数料を充当		27

4 事業の効果

広域で処理することにより計画的な処理を行うことができ、公衆衛生の保全が図られる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計				単位:千円			
款	4	項	3	目	1	細事業名	水道事業特別会計への補助金			所属	水道課 庶務係	
目 名 称	上水道費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	65,726					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	106	
	前年度当初	63,304	前年度最終	81,664					65,726		継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

町上水道事業会計の円滑な事業運営に資するため、必要な給水量確保や施設整備に係る経費等について、一般会計からの適切な繰出しによる補助を行う。

2 事業内容

○上水道高料金対策補助金 (自然条件等により建設改良費が割高のため資本費が高額となり、高水準の料金設定をせざるを得ない上水道事業について、料金格差の縮小に資するための補助)

○統合簡水償還補助金 (統合簡水に係る統合前の建設改良事業のために発行された企業債の元利償還金の一部に対する補助)

3 予算額

19.上水道高料金対策補助金										
19 統合簡水償還補助金	元金	35,492,503	÷	2	=	17,746,252円				
	利子	9,297,549	÷	2	=	4,648,775円	小計	22,396千円	合計	65,726千円

4 事業の効果

町上水道事業会計の円滑な運営及び経営健全化に資することにより、上水道の安定した供給体制を維持することができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	4	項	4	目	1	細事業名	浄化槽整備推進事業費			所属	下水道課 下水管理係	
目 名 称	下水道費					財 源 内 訳						
予 算 額	43,226					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁	
	前年度当初	43,226	前年度最終	37,821		8,579	8,579			26,068	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

公共用水域の水質汚濁の原因として、炊事、洗濯、入浴などの日常生活に伴って排出される生活排水が大きな問題となっている。水質汚濁を防止するために、家庭内において設置される浄化槽の経費の一部を助成し、生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与する。

2 事業内容

浄化槽設置事業により、50人槽以下の浄化槽を60基の整備を行う。

(単位:基、千円)

区 分	基数	国基準単価	町上乗せ単価	補助単価額	補助金額
5人槽	10	332	268	600	6,000
6人～7人槽	47	414	306	720	33,840
8人～10人槽	1	548	372	920	920
11～20人槽	1	939	0	939	939
21～30人槽	1	1,472	0	1,472	1,472
31～50人槽	0	2,037	0	2,037	0
計	60				43,171

(単位:千円)

左の財源内訳			
国	県	町	計
8,579	8,579	26,013	43,171

整備状況(H30.3予定)

	対象数	設置数	整備率
整備世帯	3,731	1,536	41.2%

3 予算額

節	区 分	項 目	事業費	摘 要
19	負担金補助及び交付金	浄化槽普及促進協議会会費	20	佐賀県浄化槽普及促進協議会
		浄化槽普及促進協議会負担金	35	前年度汚水処理施設整備交付金(国庫)×4/1,000 8,579千円×4/1,000=34,316円
		浄化槽設置整備事業補助金	43,171	
		計	43,226	

4 事業の効果

浄化槽設置事業を実施することにより、公共用水域の水質保全が保たれる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計				単位:千円		
款	4	項	4	目	1	細事業名	公共下水道接続促進事業費			所属	下水道課 下水管理係
目 名 称	下水道費					財 源 内 訳					
予 算 額	3,850					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	108
	前年度当初	5,400	前年度最終	3,078					3,850	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実	

1 目的

下水道の接続を行う受益者の排水設備工事費の一部を助成することにより、接続率の向上を図り、生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。

2 事業内容

助成条件

○住宅からの生活排水を下水道に流入させるための排水管などの排水設備工事を対象

補助対象: 住宅(新築・再接続を除く)

対象工事: 白石町下水道排水設備指定工事店による施工の工事

助成額

○工事費の10% 上限額 供用開始後1年目10万円、2年目7.5万円、3年目5万円

年度別補助金(H29.12.1現在:件、千円)

	1年目	2年目	3年目	合計	金額
H25	34	21	0	55	2,987
H26	129	8	5	142	6,666
H27	94	38	15	147	8,370
H28	19	22	14	55	2,899
H29(見込)	38	7	15	60	3,240
H30(見込)	40	10	20	70	3,850

3 予算額

19 負担金補助及び交付金 下水道接続促進事業費補助金 平均額55千円×70件=3,850千円

4 事業の効果

下水道等の目的が早期に達成でき、設置した施設の遊休化が避けられ、維持管理を含む経営の安定が図られる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	02	項	01	目	08	細事業名	しろいし農業塾			所属	農業振興課 振興係	
目 名 称		地域づくり推進費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		14,177				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	61	
		前年度当初	12,781	前年度最終	12,781				12,500	1,677	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節		農林水産業の振興	

1 目的

白石町の主要産業である農業の維持や農地の保全等の観点から新規就農者など担い手の確保は大きな課題である。白石町で就農及び移住してもらうために希望者を募集し、白石地区農業振興協議会で受け入れ、農業研修生として農業全般に従事し、農業の担い手としての自立を目指す。又地域との関わりを持ち定住促進へと繋げるため、平成26年度補正事業から継続して取組む。

2 事業内容

県外の地域から生活の拠点を移した者を農業研修生として農業団体等で受け入れ、農業研修生として支援を受けながら農業関係の研修に取り組み、農業による自立と地域への定着を図る。また、研修生の就農を支援するため、行政・JAなど関係団体が連携して取り組み、研修等に必要な経費の助成と指導・助言を行う。

- ・ 研修生(6人以内):20歳以上40歳未満の心身ともに健康で、白石町に住民票を異動出来る人、指導員(2人):町内在住で研修生への指導・助言等が出来る人
29年度体制:研修生2人、指導員2人 30年度:研修生3人、指導員2人 第3期生募集内容、研修生6人以内
- ・ 研修後は白石町で農業経営をし、白石町における地域農業の担い手として農業を営む志のある人

3 予算額

19節 しろいし農業塾事業補助金 14,177千円

区 分	内 容	金 額	区 分	内 容	金 額
共済費	健康保険・厚生年金・雇用保険・ 労災保険等	1,900,560円	役務費	研修生募集広告料	1,877,400円
賃 金	研修生・指導員賃金	5,586,384円		リース車任意保険	
報償費	受入れ農家謝礼	720,000円		傷害(損害)保険	
旅 費	研修生募集活動旅費、研修旅費	512,000円	委託料	口座振込手数料	24,250円
需用費	事務用品等、名刺印刷	505,160円		健康診断	
	研修用燃料代、小農具費		使用料及 び賃借料	研修生住居・車両借上げ料	3,050,592円
募集チラシ、ポスター印刷	事務所、会場借上げ料				
募集PR用品	実習田借上げ料	農機具リース料			

4 事業の効果

農業の担い手及び定住者の確保により、白石町農業の後継者不足の解消と定住人口の増加につながる。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	06	項	01	目	02	細事業名	トレーニングファーム整備推進事業費			所属	農業振興課 振興係	
目 名 称		農業総務費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		111,855				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	113・114	
		前年度当初	0		前年度最終	0			110,851		1,004	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興			

1 目的

農家が夢を持って農業に取り組み、所得向上や産地の維持・発展が図られるよう、農業者へのスキルアップ支援を実施するために、地域が主体となった担い手育成システムのモデル的な整備を図る。最終的に農地・住宅確保等の支援を行い、定住に結び付けることができる。

2 事業内容

新規就農希望者を全国から募集し、トレーニングファームで栽培や経営ノウハウを習得し、地域(町、JA、生産部会等)が一体となり技術習得から就農(農地・施設の確保等)までをしっかりサポートする。

事業主体：白石地区トレーニングファーム運営協議会(JAさが白石地区、白石町、普及センター等で構成)

施設規模：研修用ハウス100×50m 10棟 管理棟(研修室、作業場、資材倉庫等) 1棟 品目：施設いちご(高設栽培)

要件(案)：研修終了後、白石町内に定住。45才未満。300万円程度の自己資金を所有。 受入れ人数：2人(夫婦・親族)×3組 研修期間：2年間

3 予算額

19節 負担金補助及び交付金

○白石地区トレーニングファーム運営協議会負担金 3,013千円 補助率：国1/4、県1/4、その他(町、JA)1/2 単位：円

区 分	内 訳	金 額	財源内訳				備 考
			国	県	町	JA	
準備事業	先進地事例調査	250,000	70,000	70,000	70,000	70,000	
	会議、通信費他	30,000					
研修生募集活動事業	ポスター、チラシ、パンフレット	150,000	176,000	177,000	176,000	176,500	
	就農相談会参加	310,000					
	研修生体験実習経費	245,500					
指導者設置事業	専任講師	1,600,000	0	800,000	400,000	400,000	国庫対象外、県1/2
備品導入事業	研修用資材	1,432,000	358,000	358,000	358,000	358,000	
合 計		4,017,500	604,000	1,405,000	1,004,000	1,004,500	

○トレーニングファーム施設整備事業費補助金 108,842千円 補助率：県10/10 単位：円

区 分	内 訳	金 額	補助対象事業費(税抜)	財源内訳		備 考
				県	JA	
研修用ハウス建設	100×50m 10棟	77,643,360	71,892,000	71,892,000	5,751,360	
管理研修棟建設	管理研修棟 1棟	39,906,000	36,950,000	36,950,000	2,956,000	
合 計		117,549,360	108,842,000	108,842,000	8,707,360	

4 事業の効果

農業の担い手及び定住者の確保により、白石町農業の後継者不足の解消と定住人口の増加につながる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	06	項	01	目	03	細事業名	さが園芸農業者育成対策事業費			所属	農業振興課 振興係
目名称	農業振興費					財源内訳					
予算額	103,389					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	115
	前年度当初	95,303	前年度最終	95,303		85,603			17,786	継続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第3章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第1節	農林水産業の振興		

1 目的

近年の園芸農業を取り巻く情勢は、高齢化の進行による農業従事者数の減少、生産物価格の低迷、更には燃油を始めとした生産資材価格の高騰など厳しさを増している。このような中、本町の園芸農業が持続的に発展していくためには、収益性の高い園芸農業に向けた取り組みを強化していく必要がある。このため、革新的技術の導入による収量・品質の向上や省エネ・省力化技術の普及などを進めるとともに、新規就農者等を育成することにより、儲かる園芸農業を確立する。

2 事業内容

○実施期間 平成26年度～30年度(5年間)

○実施主体 2戸以上の農業者が組織する団体、新規就農者等

○補助率 原則 県1/3以内、町1/10以上

※新規就農者等の取組や革新的技術の導入の取組(県1/2以内、町1/10以上)脱石油・省石油対応ハウス、猛暑対応ハウス等の取組(県4/10以内、町1/10以上)

3 予算額

19節 負担金補助及び交付金 103,389千円

単位:千円

区分	事業内容	品目名	受益戸数 (戸)	受益面積 (a)	事業量	総事業費	財源内訳			備考
							県補助金	町費	事業主体	
施設園芸	いちご高設栽培	いちご	4	55.0	5,505 m ²	59,804	29,899	5,983	23,922	
	みかん根域栽培	みかん	1	20.0	2,000 m ²	7,088	3,543	709	2,836	
	パイプハウス	アスパラ、こねぎ	3	46.6	4,666 m ²	55,966	24,208	5,161	26,597	
	環境制御型耐候性ハウス	トマト	1	21.4	2,143 m ²	48,714	12,000	2,400	34,314	
	防除機	アスパラ	1	18.0	1,800 m ²	1,001	333	101	567	
露地園芸	乗用管理機	たまねぎ	1	600.0	1台	5,341	2,670	535	2,136	
	収穫機	たまねぎ	5	800.0	3台	4,414	1,708	441	2,265	
	調整機	たまねぎ	4	530.0	2台	3,612	1,203	362	2,047	
	定植機	たまねぎ	1	600.0	1台	4,673	2,336	468	1,869	
	収穫機	れんこん	5	760.0	5台	13,750	6,873	1,376	5,501	
	定植機	キャベツ	19	500.0	2台	2,493	830	250	1,413	
合計(事業主体数 22)		-	45	3,951.0	-	206,856	85,603	17,786	103,467	
							予算額	103,389		

4 事業の効果

本町の農業生産所得は、園芸作物に大きく左右されることから、本事業を推進することにより、しろいし農業の発展に寄与することができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	06	項	01	目	03	細事業名	玉葱生産安定対策事業			所属	農業振興課 振興係
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	4,177					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	3,417	前年度最終	6,467			1,799			2,378	114~116
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

玉葱べと病の総合的な防除対策を早急に確立し、地域と関係機関が一体となって、被害の軽減対策に取り組む。

2 事業内容

◇野菜病虫害防除推進協議会の開催

白石町、JAさが白石地区、JAさが白石地区玉葱部会、町内野菜取扱業者、杵藤農林事務所、農業試験研究センター白石分場、杵島農業改良普及センターが構成員となり、玉葱の病虫害防除対策について、関係機関の連絡調整、研究及び協議を行う。(事務局:町農業振興課)

◇経営継続のための借入資金の利子補給補助の実施

◇越年罹病株の抜き取りの徹底及び処分、排水対策、土づくり用機械の導入補助

3 予算額

- ・ 11節 需用費 事務用消耗品 30千円
- ・ 12節 役務費 利子補給事業事務手数料 138千円
玉葱べと病対策借入資金利子補給事業事務手数料 137,274円
- ・ 19節 負担金補助及び交付金 4,009千円
 - ①玉葱べと病対策借入資金利子補給補助金 88千円
融資申し込み約300,000千円の最低利息0.1%を助成。 87,405円
 - ②白石町野菜病虫害防除推進協議会負担金 228千円
会議費用弁償、チラシ印刷、防除対策パンフ印刷、研修会開催など 228,000円
 - ③タマネギべと病緊急対策事業費補助金 3,446千円
越年罹病株焼却処分費補助 補助率:県1/2以内 町1/2以上
 - ④タマネギべと病緊急対策整備事業費補助金 247千円
排水対策、土づくり用機械補助金 補助率:県1/2以内 町1/10以上

単位:円

	項目	単価	数量	金額	県費	町費
③	クリーンセンター処分料金	10 /kg	156,470	1,564,700	724,000	840,700
	運搬委託費	50,500 /日	22	1,111,000	514,000	597,000
	袋作成費用	15.4 /円	50,000	770,000	356,000	414,000
	合計			3,445,700	1,594,000	1,851,700

単位:円

	項目	主体数	事業量	総事業費	県費	町費	実施主体
④	サブソイラ	1	1台	410,400	205,000	42,000	163,400
					247,000		

4 事業の効果

玉葱の主力産地である責任と白石ブランドの信頼確立に向けて、30年産玉葱の作付において生産意欲の向上、安定生産を実現し、所得の安定を図る。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	06	項	01	目	03	細事業名	土づくり推進事業費補助金			所属	農業振興課 振興係
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	1,577					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	114・116
	前年度当初	1,577	前年度最終	1,577					1,577	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

白石町の野菜農家と畜産農家が連携し、堆肥等を活用した土づくりを推進し、持続的な生産基盤の強化による農家経営の発展を図り、地力の低下による農産物の病害防止等に寄与する。

2 事業内容

①土づくり推進事業費補助金

○事業要件

町内に住所を有する者が、JA堆肥センター又は町内に牛舎のある畜産農家から年間を通じて4トン以上の牛糞堆肥を購入した場合に補助を行う。

○補助金の額

買い入れた数量に対し、購入価格の1/4以内の補助率とする。ただし、1t当たり、1,000円を上限とする。

②地域資源環境型土作り推進協議会

白石町、JAさが白石地区、JAさが白石地区の生産部会、研究会、杵藤農林事務所、農業試験研究センター白石分場、杵島農業改良普及センターが構成員となり、堆肥の供給体制・仲介するシステムの構築の検討、需要量の把握、散布方法の検討などを連携して実施する。

3 予算額

19節 負担金補助及び交付金 1,577千円

○土づくり推進事業費補助金

1,500t × 1,000円 = 1,500,000円

○地域資源環境型土作り推進協議会負担金 77,000円

堆肥購入過去実績

年度	購入件数	購入価格	購入量	補助金額
19	88 件	3,194,006 円	1,134 t	797,938 円
20	105 件	3,743,558 円	1,467 t	933,573 円
21	64 件	2,056,411 円	717 t	514,065 円
22	48 件	1,230,900 円	416 t	307,690 円
23	67 件	2,155,850 円	831 t	538,942 円
24	69 件	2,333,480 円	957 t	583,355 円
25	81 件	2,455,415 円	1,005 t	613,835 円
26	72 件	2,664,039 円	1,062 t	665,993 円
27	63 件	1,997,206 円	784 t	499,302 円
28	69 件	2,467,152 円	962 t	603,383 円

4 事業の効果

良質な土づくりを行うことは、農産物生産の根幹でもあり、現在、消費者が求める安全で安心な農産物生産拡大も見込める。また、堆肥の野積み防止へもつながることから、環境保全を図ることができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計			単位:千円			
款	6	項	1	目	3	細事業名	農業経営法人化支援事業 (旧農業経営力向上支援事業)			所属	農業振興課 農政係
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	3,200					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	116
	前年度当初	2,800	前年度最終	400			3,200			0	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節 農林水産業の振興		

1 目的

平成19年度において白石町では70の集落営農組織が結成され、徐々に法人化へ移行しているものの、未だ30の組織が法人化されておらず、現時点で任意組織のままである。このような集落営農組織や個別経営体などの地域農業の担い手が安定的に経営発展していけるように農業経営の法人化を促し、農地の集積を図りながら地域農業の維持発展を図る。

(事業名について、H29年度まで「農業経営力向上支援事業」であったが、平成30年度から「農業経営法人化支援事業」となった。)

2 事業内容

○農業経営の法人化の支援

集落営農組織や複数の個別経営体の法人化に必要な、定款作成、認証代、印紙税、登録免許税等の経費について補助を行う。

・補助率:定額 1組織40万円

・平成32年度をめどに、現在の集落営農組織をすべて法人化し、経営所得安定対策等推進事業を推進していく。

・H30年度から追加要件として※農業経営相談所(仮称)へ経営診断などの相談をした組織が対象となる。

※農業経営相談所(仮称)
構成員:農地中間管理機構、農業会議、JA中央会、6次産業化サポートセンター等

3 予算額

法人化支援交付金

区 分	予 算 額	説 明
19節 負担金補助及び交付金	3,200	定額400千円×8組織
合 計	3,200	

4 事業の効果

地域農業の担い手である集落営農組織や複数個別経営体が法人化を行うことにより、農地の集積が行いやすくなり、経営管理やコスト削減など、安定的な経営発展を行うことができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	06	項	01	目	03	細事業名	産地パワーアップ事業			所属	農業振興課 振興係
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	1,847					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	115
	前年度当初	0	前年度最終	11,331		1,691			156	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

「総合的なTPP関連政策大綱」に即し、農業の国際競争力強化を図るために地域の営農戦略として「産地パワーアップ計画」を策定し、産地の収益力強化などを図る。

2 事業内容

「産地パワーアップ計画」実現のために必要な機械のリースや導入、施設の整備などに対し補助を行う。
 農業機械のうち「たまねぎ」に関するもの 補助率 国:1/2以内 県:1/20以内 町:1/20以内 (たまねぎべと病緊急特別対策整備事業上乗せ補助)
 農業機械 補助率 国:1/2以内
 施設等 補助率 国:1/2以内

3 予算額

19節 負担金補助及び交付金 産地パワーアップ事業費補助金 1,847千円

単位:円

事業内容	事業 主体数	事業量	総事業費	財源内訳				備 考
				国補助金	県補助金	町費	事業主体	
もみ殻暗渠施工機	2	2台	1,868,400	864,000	85,000	87,000	832,400	
サブソイラ	1	1台	675,000	312,000	31,000	32,000	300,000	
粗耕起作業機	1	1台	785,376	363,000	36,000	37,000	349,376	
合 計	4	-	3,328,776	1,539,000	152,000	156,000	1,481,776	
予算額				1,691,000		156,000		
				1,847,000				

4 事業の効果

産地の収益力を強化することで、農家所得の向上と経営の安定を図る。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	5	細事業名	さかの米・麦・大豆競争力強化対策事業費			所属	農業振興課 農政係
目 名 称	米政策対策費					財 源 内 訳					
予 算 額	3,230					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	117
	前年度当初	6,248	前年度最終	9,391		2,484			746	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

集落営農法人や認定農業者などの担い手に対し、革新技術の導入を支援し、売れる米・麦・大豆づくりを一層進めることにより、水田農業の担い手の経営安定と産地競争力の強化を図る。

2 事業内容

水田農業の担い手が取り組む省力化、低コスト化のための新技術の導入や米・麦・大豆の高品質・安定生産に必要な機械・施設等の整備に対する助成を行う。

(補助率)

県:1/3以内、町1/10以上 上限補助額の設定有り

3 予算額

19節 負担金、補助及び交付金

地区	事業実施主体名	事業内容	台数	能力等	事 業 費 内 訳					実施主体
					事業費	標準事業費 (限度額)	補 助 金		合計(予算額)	
							県費	町費		
有明干拓地区	認定農業者1名	トラクターカルチ	1台	2連式	740	772	246	74	320	420
北有明地区	農事組合法人1団体	大豆コンバイン	1台	2条刈	8,470	6,714	2,238	672	2,910	5,560
合 計					9,210	7,486	2,484	746	3,230	5,980

4 事業の効果

水田農業の担い手の経営安定と産地競争力の強化を図ることができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	5	細事業名	佐賀県集落営農組織法人化推進事業費			所属	農業振興課 農政係
目 名 称	米政策対策費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	17,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	117
	前年度当初	16,800	前年度最終	16,800		17,500			0	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

農業従事者の高齢化や後継者不足による担い手の減少が進む中、本町水田農業の重要な担い手である集落営農組織の法人化を加速的に推進し、法人化後の経営安定に向けた支援を行う。

2 事業内容

- ・平成32年度をめどに、現在の集落営農組織をすべて法人化し、経営所得安定対策等推進事業を推進していく。
- ・集落営農法人の設立初期に要する経費への補助
- ①一般タイプ:補助率1/2以内(1法人当たり上限 70万円)
- ②交換分合タイプ:補助率2/3以内(おおむね2ha以上の交換分合を行った場合、1法人当たり上限100万円)
- ※1 複数の組織が統合した法人の場合は、「統合前組織数×上限額」で算出し、①、②いずれも最大700万円。
- ※2 機械等を購入する場合は、上記の1/2まで。

3 予算額

○平成30年度の対象は、平成29年度及び平成30年度前半に法人へ移行した団体
19節 負担金、補助及び交付金

地区名	法人数	構成集落営農数	上限補助金額(予算額)
白石地区	1	5組織	17,500
須古地区	2	2組織	
南明地区	1	17組織	
錦江地区	1	6組織	
竜王地区	1	1組織	
有明干拓	1	1組織	
合 計	7	32組織	

※法人化した場合は、構成員と法人の間で利用権設定が必要とされており、その場合に農地中間管理機構を利用することが平成29年度から追加要件となった。

4 事業の効果

法人化後の経営安定化に向けた支援を行うことにより、経営の複合化、6次産業化、オペレーターの確保、農地の受け皿機能の強化など、集落営農組織では叶わなかった経営発展に寄与する。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	5	細事業名	集落営農法人経営安定化支援事業			所属	農業振興課 農政係
目 名 称	米政策対策費					財 源 内 訳					
予 算 額	2,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	117
	前年度当初	2,300	前年度最終	800					2,500	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

集落営農組織が継続して発展するためには、法人化と経営の安定化が必要であり、農業生産法人設立初期の経営管理の安定化に取り組むための経費を支援し、もって地域農業の活性化を図る。

2 事業内容

農業生産法人(農事組合法人又は会社法人)の経営が不安定な設立直後における経営体制を安定確立するための助成

- ・ 初期の税務申告に係る税務相談、申告書類作成に対する助成
- ・ 農業経営の維持・発展を図るための研修会(視察研修を含む。)、座談会等の実施に対する助成

対象組織:平成26年度から平成30年度までに法人化する集落営農組織

助成期間:設立後3年間

3 予算額

平成30年度 集落営農法人経営安定支援交付金(定額)

- ・ 1年目:300,000円 2年目:200,000円 3年目:100,000円

※交付金は、経過年数に応じて減額

- ・ 法人経営安定に要する費用の一部を支援

事務経理費(決算報告書作成、簿記記帳、申告手続等を税理士委託)

研修活動費(先進地視察、座談会・学習会開催に要する経費)

H30年度 累計法人数(予測)
12 法人

19節 負担金、補助及び交付金

摘 要	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額	件数	交付額
1年目(30万円)	1件	300	1件	300	2件	600	1件	300	7件	2,100
2年目(20万円)		0	1件	200	1件	200	2件	400	1件	200
3年目(10万円)		0		0	1件	100	1件	100	2件	200
合 計	1件	300	2件	500	4件	900	4件	800	10件	2,500

4 事業の効果

集落営農組織の経営発展・経営体質の強化が図られ、地域の持続的な担い手の確保につながる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	06	項	01	目	06	細事業名	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (畜産クラスター事業)		所属	農業振興課 振興係	
目 名 称	畜産業費					財 源 内 訳					
予 算 額	19,791					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	118
	前年度当初	0			前年度最終	0		16,963		2,828	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

白石地域内の肉用牛生産農家は減少傾向にある中で、一貫経営農家1戸が80頭の増頭計画があり、更に繁殖基盤を強化することが、今後、世界に誇る「佐賀牛」の繁殖基地としての地位を確立することに繋がることから、消費者が求める高品質で、安全・安心な畜産物の生産拡大により、佐賀産畜産物の銘柄を確立する。

2 事業内容

- 繁殖部門の規模拡大を行うために、80頭規模の繁殖牛舎の整備及び飼養管理技術の改善に努め、「佐賀牛」の出荷率を高める事業費に対して助成する。
- 事業主体 白石地域畜産クラスター協議会(構成員:JAさが白石畜産事業所、白石町、杵藤農林、杵島FC、畜産農家(中心的経営体)13戸)
- 補助率 国1/2以内 県 1/10以内 町 1/10以上

3 予算額

19節 負担金補助及び交付金 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金 19,791千円

【白石地域畜産クラスター協議会】

単位:円

機械・施設	事業量	総事業費	財源内訳			
			国庫	県費	町費	実施主体
牛舎新設	199.28㎡	16,852,000	14,136,000	2,827,000	2,828,000	8,482,526
既存牛舎改修	336㎡	1,078,800				
スタンション	16枚	1,883,600				
ほ乳ロボット	1台	2,500,000				
間仕切り枠	3式	4,356,000				
施工管理費		1,603,126				
任意組合A 合計		28,273,526	14,136,000	2,827,000	2,828,000	8,482,526
		予算額	19,791,000			

4 事業の効果

繁殖部門の規模拡大を行うために、80頭規模の繁殖牛舎の整備の経費の一部を補助することにより、安全・安心な畜産物の生産拡大を図り、「佐賀牛」ブランドの確立に資することができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	2	項	1	目	8	細事業名	ふるさと応援事業費			所属	産業創生課 商工観光係
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	599,551					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	58~60・62
	前年度当初	339,604	前年度最終	595,420				350,750	248,801	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第 2 節	健全な行財政運営の推進		

1 目的

平成20年度からスタートした「ふるさと納税制度」によるふるさと寄附金を積み立て、翌年度以降の事業費に充てる。また、ふるさと寄附金を周知するための広報を重点的に行い、寄附者に対して白石町の特産品・6次産品を贈呈することにより、全国から継続的な応援者を集めることができ、併せて特産品と6次産品のPR促進も期待できる。

2 事業内容

- ・ふるさと寄附金元金積立金
- ・ふるさと寄附金PR用パンフレット
- ・ふるさと寄附金に対する謝礼品の配送委託
- ・民間サイト(ふるさとチョイス等)を利用した受付、事務システム
- ・在京会、ふるさと会、特産品フェアに出向いてのPR

3 予算額

(単位:千円)

7	賃金	1,536	日々雇用賃金
8	報償費	540	PR用粗品
9	旅費	450	普通旅費
11	需用費	1,399	消耗品費・封筒印刷費
12	役務費	32,462	通信運搬費・広告料・カード決済手数料
13	委託料	211,098	謝礼品配送委託料・パンフレット作成サイト編集委託料
14	使用料及び賃借料	1,316	ふるさと納税システム使用料
25	積立金	350,750	ふるさと寄附金元金積立金・利子積立金

4 事業の効果

ふるさと寄附金により重要施策の財源積立金が確保できる。
特産品のPR事業とコラボすることにより、全国に白石町をPRすることができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	02	項	01	目	08	細事業名	地域おこし協力隊推進事業(道の駅関連)		所属	産業創生課 6次産業推進係	
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					
予 算 額	7,617					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁 58~60
	前年度当初	9,098	前年度最終	9,200					7,617	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出		

1 目的 人口減少や高齢化の進行が著しい本町において、地域外の人材を活用し、地域の活性化を促進するとともに、その人材の定住及び定着を図るため、地域おこし協力隊推進要綱(平成21年3月31日付け総行応第38号総務次官通知)の規定に基づき、白石町地域おこし協力隊員を設置し、観光素材の掘起しや地場産品の開発、基幹産業である農林水産業従事者の高齢化など、各分野において特有の課題解決を図る。

2 事業内容 都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住し生活の拠点を移した者を、地方公共団体が地域おこし協力隊員として委嘱し、隊員が一定期間地域協力をしながら地域への定住・定着を図る制度。
「道の駅しろいし」設置計画に伴い、その運営組織の設立と新たな地場産品の開発を行うため、外部人材を活用し地域活性化に繋げる。
・地域おこし協力隊設置
地域の活性化を図るため、地域の課題解決に向けて、地域住民、行政などが連携した取組を進められるよう地域のサポート、コーディネーター役として地域おこし協力隊を配置する。
・外部アドバイザー招聘業務
本町における地域力を向上させるための効果的な方策について助言、指導を受け地域の更なる活性化に繋げる。

3 予算額

区 分	内容説明	予算額
1 報酬	地域おこし協力隊員報酬	2,316
4 共済費	地域おこし協力隊員共済費	348
9 旅費	普通旅費	120
11 需用費	消耗品費	30
	燃料費	66
12 役務費	インターネット回線使用料	77
13 委託料	外部アドバイザー委託料	3,707
14 使用料及び賃借料	協力隊員車両賃借料	299
	協力隊員住居賃借料	654
合計		7,617

4 事業の効果 都市地域の移住希望者に白石町のPRを行うとともに、地域外の人材を活用することで、地域の魅力を再発見することを目指す。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	2	項	1	目	8	細事業名	道の駅施設整備事業			所属	産業創生課 <small>6次産業推進係・道の駅整備係</small>	
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳						
予 算 額	1,073,441					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁	
	前年度当初	370,828	前年度最終	291,048			145,720	876,000	40,000	11,721	59~61	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出		

1 目的 長距離ドライブや、女性・高齢者のドライバーが増加するなか、交通の円滑な流れを支えるため、一般道路にも安心して利用できる休憩施設の整備が求められている。また、有明海沿岸道路の開通により、これまで以上に町内へ流入する車の量が増大することが見込まれる。この状況を町のPRの機会の増大と捉え積極的に展開する必要がある、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供や地域振興を町民が一丸となって取り組める施設として「道の駅しろいし」を整備する。

2 事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅登録 基本設計・実施設計 運営組織支援 	<ul style="list-style-type: none"> 用地取得 建設工事 運営組織支援 	<ul style="list-style-type: none"> 建設工事 運営組織支援 道の駅供用開始

3 予算額	区 分	内容説明	予算額	備 考
	9 旅 費	普通旅費	70	
	11 需 用 費	消耗品費	190	
	12 役 務 費	建築確認申請手数料及びネット回線使用料	500	
	13 委 託 料	建築工事監理業務委託	11,000	継続費設定分
		建築工事意図伝達業務委託	1,400	継続費設定分
		建築工事監督員支援業務委託	2,500	継続費設定分
		情報発信施設関連機器設置業務委託料	15,000	
	15 工事請負費	建築工事費	910,000	継続費設定分
		町道拡幅工事費	14,000	
		造成工事費	98,000	
		集落排水接続工事費	15,500	
	18 備品購入費	防災用トイレ	1,000	
	19 負担金補助及び交付金	農集排、上水道加入金及び工事負担金	1,250	
		運営組織支援補助金	3,031	
	合 計		1,073,441	(うち継続費設定分 924,900)

4 事業の効果 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供や地域振興を町民が一丸となって取り組み町のPRに寄与する。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	06	項	01	目	03	細事業名	新規農産物開発研究費			所属	産業創生課 6次産業推進係	
目 名 称		農業振興費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		2,339				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	116	
		前年度当初	2,630	前年度最終	2,630				2,000	339	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出			

- 1 目的 平成28年度より白岩地区をモデル地区として新たな果樹等の試験栽培を行ってきた。30年度も引き続き白岩地区果樹試験組合に管理を委託し、売れる果樹、手間のかからない加工向けの果樹の開発を目指す。
また、29年度からは平野部での試験栽培にも取り組んでおり、佐賀農業高校とも連携し、新規農産物の開発を開始している。30年度も引き続き研究を進めてもらい「まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも掲げている儲かる農産物の開発を目指す。
- 2 事業内容 (果樹試験栽培)
・果樹の試験栽培および管理を28年度より5カ年行う。
・試験栽培、管理を白岩地区果樹試験組合で実施してもらうため、組合に対し補助金を交付する。
・事業年度H28～H32
・H30年度 1,439千円 H31年度 1,240千円 H32年度 640千円
(平野部での試験栽培)
・平野部での野菜の試験栽培を29年度より2カ年行う。
・H30年度 900千円
- 3 予算額 19.新規農産物開発研究費補助金 1,439千円(白岩地区果樹試験組合)
【補助内訳】
(1)原材料代(肥料、農薬代、燃料代等) 120千円
(2)借地料、借上げ料代(試験圃場賃借料等) 159千円
(3)作業委託料(肥培管理、防除等) 360千円
(4)資材費(雨よけハウス) 800千円
19.新規農産物開発研究費補助金 900千円(平野部一般野菜:うち佐賀農業高校 500千円)
- 4 事業の効果 新規農産物を開発することにより、農業所得の向上、遊休農地解消が期待でき、取組んでいただく地域の活性化が図れる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	06	項	01	目	03	細事業名	6次産品新規開発事業費			所属	産業創生課 6次産業推進係
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	3,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	115
	前年度当初	0	前年度最終	0				2,000	1,000	新規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節	新たな地域活力の創出		

1 目的 平成26年度より、6次産業の開発に取り組んできており、平成29年度までに約50品目の6次産品が開発されている。平成30年度には道の駅しろいしのオープンも控えている中で、更なる加工や販売も併せた6次産業化を推進し、農家等の所得の向上や地域の活性化を図るため、6次産業化に取り組む事業者に対し、必要な経費の一部を助成するとともに、町内の6次産品のPRを行う。

2 事業内容 6次産品新規開発事業費補助金
趣旨 白石町内の農林水産物を活かして、6次産業化(加工、販売まで)する事業者を支援し、産業力の向上と地域活性化を目的とする。
対象事業者 町内に在住する農林漁業者(個人、グループ、農業生産法人)及び、中小企業者と農林漁業者との連携で、本町の農林水産物を活用し6次産業化を行う者とする。
補助金限度額 1事業あたりの補助金は10万円～100万円を限度とし、補助対象経費の2分の1以内
補助対象経費 ①開発費 ②ブラッシュアップ費 ③施設改修費

3 予算額

区 分	内容説明	予算額
19. 負担金補助及び交付金	6次産品新規開発事業費補助金	3,000
合計		3,000

4 事業の効果 地域の資源を活用した農林漁業者等による新事業等の創出や地域の農林水産物の利用促進に関すること等を総合的に推進することで、農林漁業等の振興を図るとともに、地域の活性化を図ることができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	06	項	01	目	03	細事業名	6次産業化ネットワーク交付金事業				所属	産業創生課 6次産業推進係
目 名 称		農業振興費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	27,414				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	115		
	前年度当初		0 前年度最終		0		27,414	0		新 規		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 4 節		新たな地域活力の創出	
1 目的	平成29年度に国の総合化事業計画の認定を受けられ、その計画の中で、自社直営牧場において育てた肥育牛を利用した加工・販売事業を6次産業化ネットワーク交付金事業を活用して整備し、6次製品の販路拡大、地域雇用の創出と所得拡大及び地域農業の活性化を目指す。											
2 事業内容	<input type="radio"/> 事業主体 有限会社A <input type="radio"/> 整備内容 食肉加工施設兼精肉店兼ハンバーガーカフェ/バーベキューレストラン及びそれに付随する調理器具、備品											
3 予算額	<input type="radio"/> 総事業費 59,215千円 <input type="radio"/> 交付率 1/2以内(交付金上限100,000千円) <input type="radio"/> 19.交付金 27,414千円											
4 事業の効果	新たな商品を販売することにより、雇用の拡大、地域ブランドの確立が図られ、所得の向上、地域の活性化につなげることができる。											

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計				単位:千円		
款	7	項	1	目	1	細事業名	商工団体振興事業補助金			所属	産業創生課 商工観光係
目 名 称	商工振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	23,711					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	133
	前年度当初	25,169	前年度最終	25,169					23,711	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 2 節	商工業の振興	

1 目的

商工会が担う指導・助言・情報提供等の機能の充実及び商工会を核とした会員の協同体制による新たな事業の展開に向け、商工会の安定的な運営を支援することで、商工業者の環境整備に努め商工業の振興を図る。

2 事業内容

●補助金交付先 白石町商工会

●事業内容

1. 商工団体振興事業補助金

- ◆ 経営改善普及事業指導事業 補助率2分1以内
- ◆ 管理事業等 補助率2分1以内
- ◆ 地域総合振興事業等 補助率4分3以内

2. 歴史探訪本PR事業補助金(印刷費のみ) 補助率5分4以内 ……商工会で制作した歴史探訪本を町内全世帯及び学校等町内施設へ配布するための印刷費に対する補助

3. 「たべてさーく」改訂事業補助金 補助率2分1以内 ……平成25年度商工会で制作したグルメマップ「食べてさ〜く」が好評であったため、来年度一部改訂を行い増刷するための費用について補助

3 予算額

節	事業名	補助対象事業名	補助対象経費	補助率	補助額
19.補助金	商工団体振興事業	経営改善普及事業指導事業費	26,920	1/2以内	10,585
		管理費	7,670	1/2以内	3,016
		地域総合振興事業費	15,744	3/4以内	9,286
	歴史探訪本PR事業	歴史探訪本PR事業補助金(印刷費のみ対象)	621	4/5以内	496
	「たべてさーく」改訂事業	「たべてさーく」改訂事業補助金	778	1/2以内	328
計					23,711

4 事業の効果

商工業の振興及び商店街の地域活性化の推進に寄与する。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円					
款	7	項	1	目	2	細事業名	観光費			所属	産業創生課 商工観光係
目 名 称	観光費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	4,406					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	133・134
	前年度当初	2,859	前年度最終	3,747					3,000	1,406	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 3 節	観光の振興			

1 目的

平成27年度策定した「白石町観光振興基本計画」に沿って観光推進協議会で協議を行い、町内に有する観光、歴史的資産等を活用し、町民にはその観光、歴史的資産の価値を再認識するとともに、観光客の誘客体制を整備し、増加を促すことで町産業の振興と活性化を図る。

2 事業内容

- 観光関係一般事務費
- 関係機関の充実……県物産振興協会、県観光連盟
- 観光誘客施策の実施
- 観光推進協議会及びワーキングチームの運営

3 予算額

09.旅費	協議会委員、職員視察旅費等	175
11.需用費(消耗品)	事務用品	9
14.賃借料	町PR看板設置敷地(4ヶ所分)土地賃借料	90
15.工事請負費	観光地誘導サイン作製設置	1,070
19.負担金補助及び交付金	県物産振興協会負担金	3,062
	県観光連盟負担金	
	泊・食佐賀旅キャンペーン事業負担金	
	白石町観光事業補助金(白石町観光推進協議会)	
計		4,406

★白石町観光事業補助金

観光推進協議会及びワーキングチームで観光推進に係る施策について協議を行い事業を行うための補助を行う。

(内訳)

観光推進協議会委員報償	216千円
観光推進協議会ワーキングチーム委員報償	843千円
モニターツアー実施	600千円
印刷製本費(観光パンフレット印刷)	1,000千円

4 事業の効果

「白石町観光振興基本計画」に沿って整備を進めていくことで観光情報を発信することができ、観光客増加が期待できる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金 農地維持支払事業		所属	農村整備課 農村整備係	
目 名 称	農地費					財 源 内 訳	予算書頁				
予 算 額	153,347					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	121
	前年度当初	153,323	前年度最終	153,296			114,935			38,412	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的 農業農村は、国土保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を有しているが、近年、農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている農業農村がもつ多面的機能の発揮に障害が生じている。このため、農業者等による組織が取り組む、水路の泥上げや農道の砂利補充等の地域資源の基礎的保全活動を支援する。

2 事業内容 農業者のみ又は地域住民を含む組織が取り組む、地域資源の基礎的保全活動(草刈り、水路の泥上げ)や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化など多面的機能を支える共同活動を支援。【負担割合 国50%、県25%、町25%】

◆対象農用地面積及び交付単価等

地目	対象農用地面積	交付単価	地区数	備考(対象農用地面積の内訳)	
田	4,972.61ha	3,000円/10a	67地区	H29までの継続面積	4,972.24ha
				H30からの面積増(予定)	0.37ha
畑	203.42ha	2,000円/10a		H29までの継続面積	203.42ha
				H30からの面積増(予定)	0.00ha

●補助金の流れ「国→県→町→活動組織」

○返還金の流れ「町→県→国」

町から県へ(国及び県補助金分)を返還。活動組織(事業主体)には当該年度分の補助金から返還額を相殺して交付。

3 予算額

◆対象農用地に係る交付金の算定

(単位:円)

地目	対象農用地面積	交付単価	交付金総額	財源内訳		
				国補助金(1/2)	県補助金(1/4)	町補助金(1/4)
田	4,972.61ha	3,000円/10a	149,178,300	74,589,150	37,294,575	37,294,575
畑	203.42ha	2,000円/10a	4,068,400	2,034,200	1,017,100	1,017,100
計	5,176.03ha	—	153,246,700	76,623,350	38,311,675	38,311,675

19.負担金補助及び交付金 153,247千円

23.償還金利子及び割引料 100千円

※対象農用地の農振除外等に伴い、その面積相当分について過年度交付分の補助金の返還を行う必要がある。

4 事業の効果 農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金 資源向上支払(共同活動)事業	所属	農村整備課 農村整備係		
目 名 称	農地費					財 源 内 訳	予算書頁				
予 算 額	92,723					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	121
	前年度当初	92,571	前年度最終	92,550			69,492		23,231	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

農業農村は、国土保全・水源涵養・景観形成等の多面的機能を有しているが、近年、農村地域の高齢化・人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつある。このため、地域住民を含む組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等、農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する。また、白石町多面的機能広域推進検討会を設立し、今後の組織合併(広域化)推進、組織の運営の指導等を強化していく。(なお、平成31年度からは広域組織を支援指導する白石町多面的機能広域推進協議会へと移行予定)

2 事業内容

地域住民を含む組織が取組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等、農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援。【負担割合 国50%、県25%、町25%】

◆対象農用地面積及び交付単価等

地目	対象農用地面積	交付単価	地区数	備考(対象農用地面積の内訳)
田	4,972.61ha	1,800円/10a (75%単価)	66地区	H29までの継続面積 4,972.24ha
				H30からの面積増(予定) 0.37ha
畑	131.09ha	1,080円/10a (75%単価)		H29までの継続面積 131.09ha
				H30からの面積増(予定) 0.00ha

※旧農地・水保全管理支払を含む5年以上継続地区及び資源向上支払(長寿命化)を取組む場合は75%単価を適用。

3 予算額

◆対象農用地に係る交付金の算定

(単位:円)

地目	対象農用地面積	交付単価	交付金総額	財源内訳		
				国補助金(1/2)	県補助金(1/4)	町補助金(1/4)
田	4,972.61ha	1,800円/10a	89,506,980	44,753,490	22,376,745	22,376,745
畑	131.09ha	1,080円/10a	1,415,772	707,886	353,943	353,943
計	5,103.70ha	—	90,922,752	45,461,376	22,730,688	22,730,688

19.負担金補助及び交付金 ・白石町多面的機能広域推進検討会負担金 200千円

・資源向上支払(共同活動)事業補助金 90,923千円

23.償還金利子及び割引料 100千円

※対象農用地の農振除外等に伴い、その面積相当分について過年度交付分の補助金の返還を行う必要がある。

4 事業の効果

農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られる。

●補助金の流れ「国→県→町→活動組織」

○返還金の流れ「町→県→国」

町から県へ(国及び県補助金分)を返還。活動組織(事業主体)には当該年度分の補助金から返還額を相殺して交付。

◆町推進事務費(定額補助)

単位:千円)

内容	予算額
【07.賃金】日々雇用職員賃金 (@6,400円*20日*6ヶ月(4~5月、12~3月))	768
【09.旅費】多面的研修会等	200
【11.需用費】 001 消耗品費	482
【12.役務費】切手代	50
町推進事務費 計	1,500

【財源内訳】(県費)推進交付金1,300千円、町費200千円

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金 資源向上支払(長寿命化)事業	所属	農村整備課 農村整備係		
目 名 称	農地費					財 源 内 訳	予算書頁				
予 算 額	193,714					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	121
	前年度当初	193,574	前年度最終	174,656			145,210		48,504	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的 農業農村は、国土保全・水源涵養・景観形成等の多面的機能を有しているが、近年、農村地域の高齢化・人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に障害が生じつつある。このため地域住民を含む組織が取組む、水路・農道等の施設の長寿命化のための活動を支援する。

2 事業内容 老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道、ため池などの施設の長寿命化のための補修・更新等を支援。【負担割合 国50%、県25%、町25%】
また、白石町多面的機能広域推進検討会を設立し、今後の組織合併(広域化)推進、組織の運営の指導等を強化していく。

◆対象農用地面積及び交付単価等

地目	対象農用地面積	交付単価	地区数	備考 (対象農用地面積の内訳)		備考 (採択年度別地区数)			
田	4,345.04ha	4,400円/10a	51地区	H29までの継続面積	4,344.67ha	平成23年度	16地区	平成26年度	3地区
				H30からの面積増(予定)	0.37ha	平成24年度	6地区	平成27年度～	-
畑	121.61ha	2,000円/10a		H29までの継続面積	121.61ha	平成25年度	26地区		
				H30からの面積増(予定)	0.00ha				

※H29以降の新規取組地区や変更承認対象地区については、広域組織又は直営施工を行わない組織については5/6単価を適用され、交付額の上限が2,000千円/1集落となる。

3 予算額

◆対象農用地に係る交付金の算定

(単位:円)

地目	対象農用地面積	交付単価	交付金総額	財源内訳		
				国補助金(1/2)	県補助金(1/4)	町補助金(1/4)
田	4,345.04ha	4,400円/10a	191,181,760	95,590,880	47,795,440	47,795,440
畑	121.61ha	2,000円/10a	2,432,200	1,216,100	608,050	608,050
計	4,466.65ha	—	193,613,960	96,806,980	48,403,490	48,403,490

●補助金の流れ「国→県→町→活動組織」

○返還金の流れ「町→県→国」
町から県へ(国及び県補助金分)を返還。活動組織(事業主体)には当該年度分の補助金から返還額を相殺して交付。

19.負担金補助及び交付金 193,614千円

23.償還金利息及び割引料 100千円

※対象農用地の農振除外等に伴い、その面積相当分について過年度交付分の補助金の返還を行う必要がある。

4 事業の効果 農業者のみならず地域住民等の多様な主体が参画する活動組織が形成され、また、農地、農道、農業用水等の保全管理が充実することによって、地域の環境保全の向上が図られる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	6	項	1	目	7	細事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業費			所属	農村整備課 農村管理係	
目 名 称		農地費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		14,600				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	120	
		前年度当初	24,000	前年度最終	24,000					14,600	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

国で造成された農業水利施設は、ダムなどの基幹的な施設と一体になって用排水を構成し、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。

これらの施設は、標準的な耐用年数を経過してゆくものが、今後急速に増加する見込みであり、既存の施設の有効活用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全するためストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じる。

2 事業内容

町内の用排水の基幹的な役割を果たしている基幹水利施設の機能を効率的に保全維持するため、実施計画書に基づき順次整備する。

実施計画書に基づく工事の事業主体は県であり、町は事業費の一部を負担する。

○福富地区

八平第1排水機場：ポンプ補器設備・電気設備更新(ポンプ)、部品の交換等

八平第2排水機場：H30年度(なし)H31年度建築物補修等

六府方排水機場：H30年度(なし)H31年度建築物補修等

3 予算額

19 負担金

福富地区 73,000,000 円 × 20 % = 14,600,000 円
(負担割合 国 50% 県 30% 町20%)

4 事業の効果

計画的な整備、補修を行うことによりライフサイクルコストの低減や施設の長寿命化が見込める。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	6	項	1	目	7	細事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業			所属	農村整備課 農村管理係	
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	46,105					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	119・120	
	前年度当初	44,054	前年度最終	39,354			29,400		4,500	12,205	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

団体営事業等で造成された農業水利施設は、ダムなどの基幹的な施設と一体になって用排水を構成し、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。
これらの施設は、標準的な耐用年数を経過してゆくものが、今後急速に増加する見込みであり、既存の施設の有効活用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全していくことが求められていることから、コストの最小化や財政負担の平準化を図るストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じる。

2 事業内容

町内の用排水の基幹的な役割を果たしている地沈水路の制水門の機能を効率的に保全維持するため、計画的に整備する。

制水門整備 15箇所

(補助対象事業費の負担割合)

国 55% 県 15% 町 20% 地元 10%(土地改良区)

3 予算額

11 需用費(消耗品費・燃料費) 55 千円
 15 工事請負費 45,000 千円(補助: 42,000千円 単独: 3,000千円)
 19 負担補助及び交付金 1,050 千円
 【内訳】
 地域ストックマネジメント事業事務費賦課金(補助対象事業費の2.5%) 42,000 千円 × 2.5% = 1,050 千円

4 事業の効果

団体営造成施設等の劣化状況等の調査に基づき、機能を保全するために必要な対応方を定めた計画を作成し、これに基づく施設の更新や予防的な保全対策、又は事後的な保全対策を適切に組み合わせて行うことにより、白石町全体の水利施設の状況を把握し、かつ早期の対策が図れるため、施設維持にかかるコスト低減が期待できる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	7	細事業名	農業基盤整備促進事業			所属	農村整備課 農村整備係
目 名 称	農地費					財 源	内 訳			予算書頁	
予 算 額	132,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	119・120
	前年度当初	44,100	前年度最終	101,040			66,000	50,000	9,300	6,700	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的 農作業道の整備及び農業用排水路の補修により、交通面の利便性の向上と用排水機能の適切な効果発現を図り、農作物の安定的な供給の確保及び荷痛み防止による農作物の品質向上を目的とし、また、担い手への農地集積率の向上及び生産拡大、担い手の育成・確保を推進する。

2 事業内容

◎農作業道整備(未舗装農道の舗装工事) ●農道舗装事業費負担割合 国 55%・町 40%・土地改良区 5%
 施工予定路線 6路線 (L=1,846m)
 ・新開107号線(L=515m) ・新開110号線(L=299m) ・新開124号線(L=298m)
 ・新開125号線(L=297m) ・新開128号線(L=305m) ・新開129号線(L=132m)

◎用排水路補修(水路法面補修整備) ●用排水路整備事業費負担割合 国 55%・町 35%・土地改良区 10%
 ・地盤沈下対策水路47号水路(L=600m)

3 予算額

11.需用費	土地改良工事積算基準書	100千円
13.委託料		6,900千円
	・測量設計委託料(水路測量設計)	3,000千円
	・その他委託料(農道地質調査)	3,000千円
	・農地集積促進計画管理図面作成委託	900千円
15.工事請負費		125,000千円
	・農作業道舗装工事	73,000千円
	・用排水路補修工事	52,000千円

【歳入の算定】

◎基盤整備促進事業費補助金
 (補助対象事業費ベースで算定)

・農作業道舗装工事	70,000千円
・用排水路補修工事	50,000千円
120,000千円×55%=	66,000千円
◎土地改良事業分担金	
・農道(76,000千円×5%)	3,800千円
・水路(55,000千円×10%)	5,500千円
分担金計	9,300千円

4 事業の効果 農作業道の整備及び農業用排水路の補修により、交通面の利便性の向上と用排水機能の適切な効果を図り、農作物の安定的な供給を確保することにより、今後は荷痛みに弱い農作物の生産が可能となるため、担い手への農地の集積、生産拡大、所得の向上が図られる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	7	細事業名	白石基盤整備促進事業			所属	農村整備課 農村整備係
目 名 称	農地費					財	源 内			訳	予算書頁
予 算 額	81,750					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	121
	前年度当初	0	前年度最終	65,185				75,000	6,750		継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		
1 目的	<p>県営事業等により整備された小水路、暗渠排水については造成後からの経過により、本来の機能を十分に発揮できなくなっており、圃場の排水不良の一因となっている。農業の競争力を強化するためにも、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化等を推進し、地域の実情に即した農産物の需要動向に応じた営農形態を選択することができるよう、きめ細かい農地の暗渠排水等の基盤整備を実施する。</p>										
2 事業内容	<p>佐賀県基盤整備促進事業補助金交付要綱及び白石町基盤整備促進事業補助金交付要綱に基づき、事業実施主体である白石土地改良区に事業補助金を交付する。</p> <p>【小規模整備型】 補助率 対象事業費の22.5% ・圃場整備等で整備された水路等の施設補修に伴う事業負担金。 ・室島原田地区(水路補修整備) 補助対象事業費 4,000千円</p> <p>【暗渠排水型】 補助率 対象事業費の17.5% ・暗渠排水事業に伴う事業負担金。 ・白石第3地区(暗渠排水整備 A=280ha) 補助対象事業費 462,000千円</p>										
3 予算額	<p>19.負担金、補助及び交付金 81,750千円</p> <p>・小規模整備型 4,000千円 × 22.5% 900千円</p> <p>・暗渠排水型 462,000千円 × 17.5% 80,850千円</p>										
4 事業の効果	<p>農業の競争力を強化し、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化等を推進し、地域の実情に即した農産物の需要動向に応じた営農形態を選択することができる。</p>										

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	9	細事業名	基幹水利施設管理事業			所属	農村整備課 農村管理係
目 名 称	水利施設管理事業					財 源 内 訳					
予 算 額	34,979					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	32,968	前年度最終	32,968			12,794			22,185	122~125
											継 続

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	基本計画 第 1 節	農林水産業の振興
-------------------------------	--	--	---------------	----------------------	---------------	----------

1 目的

国営筑後川下流白石土地改良事業によって造成された有明排水機場及び有明水路の良好な維持管理を行い、排水施設の機能保持と地域排水の安定化により、受益地内の湛水被害を解消し、農業生産性の増大と農業経営の安定を図ることを目的とする。

2 事業内容 補助率 国 30% 県30% 町 40%

(1) 管理対象施設 : 排水機場(有明1号・2号・3号) 3箇所(排水量 32.3m³/S)、 有明水路 延長13km。

(2) 管理事業内容

排水機場	基本点検及び重要点検 電気保安点検及び排水機場操作補助委託等
有明水路	有明水路整備工事(除草) ゲート操作補助委託

3 予算額

11 需用費	消耗品・燃料費・光熱水費・修繕料	8,457 千円
12 役務費	傷害保険料・手数料・自動車保険料	109 千円
13 委託料	排水機場点検業務委託・排水機場操作補助委託 電気保安点検委託・地下タンク漏洩点検委託 有明水路ゲート操作補助委託・浄化槽管理委託 有明水路除草業務委託	11,795 千円 318 千円 361 千円 13,576 千円
14 使用料及び賃借料	機械借上料	334 千円
27 公課費	自動車重量税	29 千円

4 事業の効果

適正な管理を行うことで、施設の安定的な稼働が見込める。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	9	細事業名	基幹水利施設管理事業 佐賀西部白石地区			所属	農村整備課 農村管理係
目 名 称	水利施設管理事業費					財 源 内 訳					
予 算 額	21,295					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	21,770	前年度最終	16,700			6,516		1,012	13,767	122~124
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

国営筑後川土地改良事業により造成された基幹水利施設である白石平野揚水機場、佐賀西部導水路白石線、山脚導水路、白石導水路(調圧水槽含む)の管理に関し、地域農業の農業用水等の需要に的確に対応するとともに、施設のもつ公共・公益的機能を十分に発揮させるため、施設の適正管理に資するものです。

この施設について、4市町(武雄市・大町町・江北町・白石町)が国から管理委託を受け、白石町が代表町となり基幹水利施設管理事業を行うもの。

2 事業内容

補助率 国 30% / 県 30% / 4市町 40%(武雄市・大町町・江北町・白石町)

管理費負担割合	
武雄市	0.59%
大町町	0.25%
江北町	4.99%
白石町	94.17%
合 計	100.00%

(1) 管理対象施設

揚水機場 1箇所(用水量 2.94×2=5.88m³/S)

佐賀西部導水路白石線 8.7km / 白石導水路 3.3km / 山脚導水路 6.7km / 合計 18.7km(調圧水槽含む)

(2) 管理事業内容

揚水機場 揚水機場保守点検
揚水機場操作・管理点検委託等

導水路 操作・管理点検委託等

3 予算額

11 需用費	消耗品・燃料費・光熱水費・修繕料	10,731 千円
12 役務費	通信費、手数料、保険料	1,453 千円
13 委託料	保守点検整備委託料 (揚水機場等点検整備委託・水管理システム保守点検委託・電気設備保安管理委託)	8,400 千円
	日常管理委託料	690 千円
14 賃借料	JR軌道敷賃借料	21 千円

4 事業の効果

適正な点検と管理を行うことで、施設の安定的な稼働が見込める。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	9	細事業名	排水機場管理事業費			所属	農村整備課 農村管理係
目 名 称	水利施設管理事業					財 源 内 訳					
予 算 額	41,476					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	122~124
	前年度当初	37,904	前年度最終	37,904				1	41,475	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

地盤沈下対策事業、有明海岸保全事業、湛水防除事業等で造成された排水機場(9箇所)等の点検整備を良好に行ない、その効用を適正に発揮させることを目的とする。

2 事業内容

排水機場の適正な維持管理 9排水機場(排水量:47.6m³/S) 2排水ポンプ(排水量:1.35m³/S)

- ・ 新明排水機場
- ・ 北部排水機場・南部排水機場
- ・ 八平排水機場(第1・第2)
- ・ 龍神排水機場
- ・ 六府方排水機場・佐留志排水機場
- ・ 廻里江排水機場
- ・ (大搦ゲートポンプ・八平南部ポンプ)

3 予算額

07 賃 金	排水機場管理嘱託職員賃金	1,920 千円
11 需 用 費	消耗品・燃料費・光熱水費・修繕料	18,138 千円
12 役 務 費	通信運搬費・手数料・傷害保険料	182 千円
13 委 託 料	排水機場点検整備業務委託料・排水機場操作委託料	17,982 千円
	電気保安点検委託・地下タンク漏洩点検委託・ごみ処理委託	3,254 千円

4 事業の効果

安定的に稼働ができ、湛水被害の軽減が期待できる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	6	項	1	目	11	細事業名	ため池等整備事業費			所属	農村整備課 農村整備係
目 名 称	ため池等整備事業費					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	26,235					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	125
	前年度当初	33,500	前年度最終	24,110			10,000		6,412	9,823	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

堤体より漏水が確認されている坂田ため池及び坊ヶ谷ため池について、県営事業により堤体の改修工事を行う。
また、近年の豪雨や大規模地震等により多くのため池が被災し大きな被害が生じていることを踏まえて、平成25年度に佐賀県においてため池の一斉点検を実施された。この一斉点検の結果、下流に人家や公共施設等があり、施設が決壊した場合に影響を与える恐れがあるため池について、ため池ハザードマップの作成を行う。

2 事業内容

事業名	ため池名	実施主体	事業内容
農村地域防災減災事業(ため池整備事業) ※負担割合 国55%、県30%、町15%	坂田ため池	佐賀県	堤体工(L=69.0m)、取水施設工(一式)
	坊ヶ谷ため池	佐賀県	堤体工(L=29.0m)、取水施設工(一式)
農村地域防災減災事業(調査計画事業) ※負担割合 国100%	竜王ため池	白石町	ハザードマップ作成
	深浦上ため池		
	深浦中ため池		
	深浦下ため池		
	坊ヶ谷ため池		

3 予算額

事業名	事業費	財 源 内 訳				備 考
		国 費	県 費	町 費	そ の 他	
11.需用費	85			85		
13.委託料 ハザードマップ作成業務委託料 (深浦他ため池地区)	10,100	10,000	0	100	0	補助対象事業費 10,000千円
19.負担金、補助金	農村地域防災減災事業(ため池整備事業) (坂田ため池) 県営事業負担金	9,600		4,800	4,800	補助対象事業費 64,000千円*15%
	農村地域防災減災事業(ため池整備事業) (坊ヶ谷ため池) 県営事業負担金	6,450		4,838	1,612	補助対象事業費 43,000千円*15%

4 事業の効果

堤体から漏水しているため池を改修やハザードマップ作成を行うことにより、農業用水の確保、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保に寄与することができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円					
款	6	項	3	目	1	細事業名	漁業環境保全事業費			所属	農村整備課 水産林務係	
目 名 称	水産振興費					財 源 内 訳						
予 算 額	28,334					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	129	
	前年度当初	24,370	前年度最終	20,545			21,000		3,500	3,834	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

- ・ 漁業生産等に伴って多量に発生する「漁業用生産資材廃棄物」の適正処理を推進し、環境保全を図ると共に、廃棄物のリサイクルによる資源の有効活用に寄与する。
- ・ 漁場の海底耕耘、清掃等の整備開発を行い、漁場としての機能を回復させることにより、対象漁貝類生産の回復増大を図り、漁業者の安定した経営と所得の向上を図る。

2 事業内容

□効用の低下している漁場の生産力の回復や水産資源の生息場の環境改善

- ・ 海底耕耘
- ・ 堆積物の除去

□漁業用生産資材(廃プラスチック・ビニール等)の収集・廃棄処分費補助

- ・ 種付け用袋(落下傘・カキ殻付き)
- ・ 活性処理容器
- ・ 冷凍袋

◆沿岸漁場整備事業事業計画

単位:千円

区 分	全体計画		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	数 量	事業費	数 量	事業費	数 量	事業費	数 量	事業費
海底耕耘工	1,503.8ha	67,032	433.8ha	18,857	441.1ha	20,175	628.9ha	28,000
産業廃棄物処理工	10m ³		3m ³		1m ³		6m ³	

■歳入

国庫	28,000千円 × 50.0%	14,000千円
県費	28,000千円 × 25.0%	7,000千円
漁協	28,000千円 × 12.5%	3,500千円

3 予算額

11. 需用費: 消耗品費50千円、燃料費14千円 64千円

13. 委託料: 沿岸漁場整備事業底質改善業務等委託 28,000千円

【総事業費】67,032千円

うち平成30年度事業費: 28,000千円

【事業実施期間】平成28年度～平成30年度(3ヶ年)

【負担区分】国50%・県25%・町12.5%・漁協12.5%

【委託先】佐賀県有明海漁業協同組合

19. 負担金補助及び交付金: 270千円

漁業用生産資材廃棄物適正処理事業費補助金

水産業の振興及び漁場環境の保全を図るため漁業用生産資材廃棄物処理費として、町内の海苔漁業者が所属する漁業協同組合に対し、補助金を交付する。

※1m³当たり1,800円を限度として予算の範囲内で補助する。

◆漁業用生産資材廃棄物適正処理事業費補助金

単位: m³, 千円

区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	数量	補助金	数量	補助金	数量	補助金
落下傘	60.0	108	82.5	148	100.0	180
廃プラスチック類	36.5	65	40.0	72	50.0	90
計	96.5	173	122.5	220	150.0	270

※平成29年度は見込み

4 事業の効果

- ・ 漁業者の環境保全(有明海再生等)に対する意識改革の高揚が図られる。
- ・ 効用の低下している漁場の生産力の回復や、水産資源の生息場の環境改善効果が得られる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計				単位:千円			
款	6	項	3	目	1	細事業名	漁業経営構造改善事業費			所属	農村整備課 水産林務係	
目 名 称	水産振興費					財 源 内 訳						
予 算 額	4,070					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁	
	前年度当初	50	前年度最終	441,650			2,000			2,070	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

- ・ 本町は有明海の干満差を利用したノリ養殖業が水産業の基幹産業である。近年はコンビニエンス用のニーズの増加もあり需要は増加傾向にあるものの、平成20年度に整備したノリ検査ラインでは異物混入製品の除去が不十分であり、消費者からのクレームが増大している。そのため、異物検査機を導入し、生産基盤・漁業近代化施設の整備をおこなうことにより、沿岸漁業の振興を図る。
- ・ 生産者である有明海漁協と行政では佐賀県及び白石町の三者により産地協議会を立ち上げ、海苔の管理及び生産コストの縮減を目的とした調査及び分析をおこない出荷量の増大と品質確保を図る。

2 事業内容

- 漁業経営改善事業全般
- 沿岸漁業振興特別対策事業全般
- 新有明漁港土地利用計画変更申請
- 漁業経営改善事業、広域施設整備に係る有明海沿岸4市2町事業費負担金等の調整
- 浜の活力再生プラン策定と実施調査及び分析
- 産地水産業強化の支援

3 予算額

09. 旅費： 土地利用計画協議等 20千円
19. 負担金補助及び交付金： 4,050千円
- ①沿岸漁業振興特別対策事業費補助金 4,000千円（白石町負担額:2,000千円、県負担額:2,000千円）
- 【事業内容】 X線異物検査機導入 1台
- 【総事業費】 10,562千円
- 【補助対象事業費】 6,000千円（補助対象上限額）
- 【補助率】 県費1/3 町1/3
- ②白石町産地協議会負担金 50千円

■歳入(沿岸漁業振興特別対策事業費補助金)		
県費	6,000千円 × 1/3	2,000千円

4 事業の効果

- ・ 異物混入製品の発見ができ消費者へ安全な商品をお届けられる。
- ・ 浜活プランに沿った作業効率の向上、経費の削減を目標に漁業所得の向上と品質向上が見込まれる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	6	項	3	目	3	細事業名	漁港整備事業費				所属	農村整備課 水産林務係
目 名 称	漁港整備事業費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	102,809					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	130・131	
	前年度当初	32,969	前年度最終	22,402			65,000	30,000	5,000	2,809	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				基本計画 第 1 節	農林水産業の振興		

1 目的

- ・ 安全性・機能性・快適性等の就労環境や観光漁業など総合的に配慮した『白石地域水産業の拠点』としての漁港整備をおこない、漁獲物の増大と生産効率の向上および鮮度保持・品質確保を図り、白石町の2大拠点漁港として海苔養殖業を中心とする水産業の発展に寄与していく。
- ・ 海苔養殖業の施設の集約化等に対応するため、堤防背後地に漁港施設用地を確保することにより協業化を促進し、コスト削減、就労環境の改善を図る。

2 事業内容

□水産生産基盤整備事業(住ノ江漁港整備)全般

【総事業費】1,500,000千円

【事業実施期間】2018年度～2022年度

【負担区分】国50%・県15%・町30%・漁協5%

□住ノ江漁港区域変更申請

□その他漁港整備関連全般

3 予算額

09. 旅 費： 漁港区域変更協議等 100千円
11. 需用費： 184千円
 消耗品費20千円、燃料費14千円、公用車点検整備費100千円、修繕費50千円
12. 役務費： 50千円
 公用車車検料(自賠責保険料26千円、総合検査料3千円、代行料8千円、証紙代2千円)
 通信運搬費(作業船在港情報提供11千円)
13. 委託料： 69,600千円
 住ノ江漁港測量設計業務等委託 49,000千円
 住ノ江漁港地質調査業務委託 20,500千円
 事務機器保守点検業務委託 100千円
14. 使用料及び賃借料： 450千円
 積算共同利用システム使用料
15. 工事請負費： 32,400千円
 住ノ江漁港棧橋施設整備工事等
27. 公課費： 公用車重量税 25千円

◆水産生産基盤整備事業(住ノ江漁港整備)計画 単位:千円

工 種	事 業 量	事 業 費
物揚場(棧橋式)	76 m	551,000
1号物揚棧橋	40 m	93,000
2号物揚棧橋	40 m	93,000
船揚場	848 m ²	301,000
水域施設(泊地浚渫)	26,300 m ²	76,000
1号道路	95 m	50,000
2号道路	310 m	38,000
漁港施設用地	13,400 m ²	149,000
既設構造物取壊等	1 式	149,000
総事業費		1,500,000

■歳入

国庫	100,000千円 × 50.0%	50,000千円
県費	100,000千円 × 15.0%	15,000千円
漁協	100,000千円 × 5.0%	5,000千円

4 事業の効果

- ・ 水産資源の持続的利用と、良質な水産物を安全で効率的に供給する体制の整備が図られる。
- ・ 安全で快適な漁業地域の形成、および漁業経営の向上が図られる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	8	項	1	目	1	細事業名	住民協働・道路等環境整備事業費			所属	建設課 維持管理係
目 名 称	土木総務費					財 源 内 訳					
予 算 額	6,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	137
	前年度当初	6,000	前年度最終	10,000				6,000	500	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			基本計画 第 1 節	参加と協働の促進		

1 目的 地域住民の生活環境を整備し、住みよい町づくりを推進するため、地域住民が主体となって整備する事業に対し、助成を行うことで、地域住民の和と絆を構築し、よりよい町づくりに資することを目的とする。

- 2 事業内容
- ① 住民協働環境整備資材等支給事業
住民が主体となって行う地区内の環境整備事業に対し、必要な資材費等の費用を助成する。
○事業対象 町道等 ○住民作業型 一部業務委託可 ○補助限度額 500,000円
 - ② 道路等環境整備事業
各地区が主体となって施工する地域内の環境整備事業に対し、事業費の80%を限度として補助を行う。
○事業対象 法定外道路・水路等 ○工事発注型 ○補助限度額 1,200,000円

※その他事業(多面的機能支払交付金など)による整備可能路線は対象外

平成29年度実績			
①住民協働	16件	支出見込額	8,000,000円
②道路等環境整備	2件	支出見込額	1,672,000円
		合計	9,672,000円
		現計予算額	10,000,000円
		過不足額	328,000

3 予算額

19 負担金補助及び交付金 6,500,000 円 002補助金

- ①住民協働環境整備資材等支給事業 4,500,000円 H29に事前相談有り 4地区 200万円
新規申請 5地区 250万円 と見込む
- ②道路等環境整備事業 2,000,000円 120万円(事業費150万円)×1箇所
80万円(事業費100万円)×1箇所 と見込む

4 事業の効果 町の事業として着手しにくい地区内の里道や生活排水路などの整備を図り、生活環境の改善に資する。
町内の生活環境施設の小規模な維持管理を住民と協働で行うことにより、環境の改善と地域の活力の増進を図ることができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計						単位:千円	
款	8	項	2	目	1	細事業名	社会資本整備総合交付金事業 道路改築・修繕事業				所属	建設課 建設係
目 名 称	道路維持費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	104,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	138	
	前年度当初	136,800	前年度最終	81,100		53,298		40,000		10,702	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実		

1 目的

町道約430kmの中には既にアスファルト舗装の耐用年数が過ぎて老朽化の激しい箇所が多く見受けられる。このため、平成26年度において約200kmを対象に路面性状調査を行い、緊急性の高い路線から順次、舗装補修を実施することで、地域住民の日常生活が安心・安全で利便性の高い快適な道路環境を構築する。
また、町道秀村線においては、町中心部のアクセス道路であり歩道の設置を図ることで歩行者の安全を確保する。

2 事業内容

- ・町道秀村線(福田工区:2期) 町道北川廿治線～町道大戸片町線区間 改良・舗装工事 全長L=280m W=10.25m(継続) H31年度まで
- ・平成26年度に実施した、道路ストック総点検(路面性状調査)に基づき道路老朽化対策(舗装補修)を5ヶ年計画で順次行う。
平成30年度 工事実施延長 L= 1,480m 調査延長 L=5,420m

3 予算額

路 線 名	施工延長	幅 員	本工事費	測量試験費	用地費	補償費	事務費	計	備 考
①町道秀村線(福田工区・2期)	L=280m	W=10.25m	16,700		400	14,900		32,000	改築事業(歩道設置含む)
②～⑧町道遠江搦線 他6路線	L=1,480m	W=2.5m～6.9m	63,750	7,700	50			71,500	修繕事業(舗装補修) 工事実施 7路線 測量調査 10路線
⑨～⑩修繕工法調査路線 (町道南三・香焼線 他9路線)	L=5,420m	W=3.6m～5.5m							
需 用 費							200	200	消耗品 (現場用消耗品等)
原 材 料 費							300	300	道路補修用碎石 道路補修材等
合 計			80,450	7,700	450	14,900	500	104,000	

補助対象事業費	98,700
町 単 独 費	5,300
財源内訳	
国庫補助金	53,298
起 債	40,000
一般財源	10,702

補助率0.540

4 事業の効果

老朽化した道路の維持補修工事及び改良工事(歩道設置含む)を実施することで、道路利用者の安心・安全な通行が確保できる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	8	項	2	目	2	細事業名	道路新設改良費			所属	建設課 建設係
目 名 称	道路新設改良費					財 源 内 訳					
予 算 額	74,980					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	86,397	前年度最終	78,857				69,000		5,980	139・140
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実		

1 目的

市町村合併により旧町間や公共施設を結ぶ町道の総合的な道路ネットワークの整備が急務である。
これらの町道の改良工事を新町建設計画や合併支援道路整備計画との整合性を取りながら、年次施工することにより安全・安心な道路網の整備とゆとりある生活基盤の確保を図る。

2 事業内容

路 線 名 (全 体 計 画)		
①町道郷司給線	改良・舗装	L= 940m W=5.9m(継続) 事業年度 H 28 ~ H 30 予定
②町道弁財線	改良・舗装	L= 195m W=4.8m(継続) 事業年度 H 29 ~ H 30 予定
③町道第二東区線	改良・舗装	L= 70m W=6.5m(継続) 事業年度 H 29 ~ H 30 予定
④町道下区中央線	歩道橋設置	L= 15m W=3.0m(新規) 事業年度 H 30 ~ H 31 予定
⑤町道今泉深通線(中郷地区)	改良・舗装	L= 80m W=4.5m(新規) 事業年度 H 30 ~ H 31 予定
⑥町道干拓線	交差点一部改良	L= 20m (新規) 事業年度 H 30

3 予算額

路 線 名	施工延長	本工事費	委託費	用地費	補償費	事務費	計	備 考
①町道郷司給線	440 m	32,200	-	-	500	-	32,700	過疎債対象道路
②町道弁財線	90 m	8,350	-	-	1,000	-	9,350	過疎債対象道路
③町道第二東区線	70 m	6,000	1,966	-	850	-	8,816	過疎債対象道路
④下区中央線	15 m	-	16,000	-	-	-	16,000	過疎債対象道路
⑤町道今泉深通線(中郷地区)	80 m	-	6,500	-	-	-	6,500	過疎債対象道路
⑥町道干拓線	20 m	-	-	350	-	-	350	
消耗品費	-	-	-	-	-	69	69	事務用品及び契約用印紙代
役務費	-	-	-	-	-	16	16	返信用切手、印鑑証明書手数料、尿尿汲取料
使用料及び賃借料	-	-	-	-	-	879	879	積算システムリース料及び機械借上料等
原材料費	-	-	-	-	-	300	300	砕石及び仕切弁嵩上用枠等
合 計	—	46,550	24,466	350	2,350	1,264	74,980	

4 事業の効果

上記事業を行うことにより、地域住民の交通安全の確保及び利便性の向上が図られる。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計							単位:千円	
款	8	項	2	目	2	細事業名	社会資本整備総合交付金事業 通学路整備事業				所属	建設課 建設係
目 名 称	道路新設改良費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	113,250					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	139・140	
	前年度当初	107,640	前年度最終	105,800		64,508		44,000		4,742	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実			

1 目的

社会資本整備総合交付金事業道路新設道路改良で取り組む3路線は、小・中学校、高校の通学路であり、地域間を結ぶ主要道路ともなっている。しかし、いずれの路線も歩道の設置がなされておらず、一般車両と歩行者が交錯し危険な状況である。このため、車道の幅員を確保し歩道設置をすることにより、歩行者の安全を確保し人に優しい交通環境の整備を図る。

2 事業内容

- ①町道高町百貫線(深浦・坂田工区) 県道白石大町線～町道古賀辺田線 改良・舗装工事 全長L=1,100m W=10.00m(継続) H31年度まで
- ②町道六府方南方線(東六府方工区) 国道444線～町道海岸南北産業線 改良・舗装工事 全長L=460m W=9.25m(継続) H32年度まで

3 予算額

(1)通学路の安全対策

路 線 名	総 延 長	施工延長	本工事費	測量試験費	用地費	補償費	事務費	計	備 考
①町道高町百貫線(深浦・坂田工区)	L=1,100m	L=270m	76,500	2,000	5,100	29,000		112,600	通学路整備(交通安全対策) ・工事施工 2路線
②町道六府方南方線(東六府方工区)	L=460m	L= 65m							
旅 費							30	30	職員研修旅費
需用費							390	390	消耗品費 ・消耗品、積算基準図書等
原材料費							230	230	道路補修用砕石、道路補修材等
合 計	L=1,560m	L=335m	76,500	2,000	5,100	29,000	650	113,250	

補助対象事業費	108,600
町 単 独 費	4,650
財源内訳	
国庫補助金	64,508
起 債	44,000
一般財源	4,742

補助率0.594

4 事業の効果

整備計画路線は、主に小中学校の通学路となっており、国の補助事業を活用した道路整備(歩道設置)を行うことにより歩行者の安全性が確保できる。

単位：千円

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計								
款	8	項	2	目	4	細事業名	社会資本整備総合交付金事業 橋りょう長寿命化事業				所属	建設課 建設係
目 名 称	道路橋りょう費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	66,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	140・141	
	前年度当初	73,500	前年度最終	69,703		36,531		16,000	4,060	9,909	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 3 節	体系的な交通網の整備・充実			

1 目的

橋りょう長寿命化修繕計画策定に伴い、計画的な橋梁の維持管理を行い、将来的な財政負担の低減及び道路交通の安全性の確保を図る。

2 事業内容

平成30年度は、詳細設計を実施済の3橋について橋梁補修工事を行うとともに、健全度が悪化している2橋梁の詳細設計を実施する。

また、「道路法施行規則の一部を改正する省令」がH26年7月1日に施行され、国が定める統一的な基準により、5年に1回の頻度で、近接目視による点検が義務化されたため、点検業務を実施する。

- ・ 橋梁補修補強工事 3 橋
- ・ 橋梁補修詳細設計 2 橋
- ・ 橋梁点検業務 122 橋（近接目視）（H27～H30年度までに全ての橋梁点検を実施する） 町道架設橋梁数 695橋

3 予算額

単位：千円

橋 梁 名	橋 長	町 道 名	内 容	本工事費	測量試験費	補償費	合 計
①昭和橋	14.8 m	昭和搦産業線	【主な工事内容】 ひび割れ補修工、断面修復工 表面含浸工、橋面補修工	9,500	-	2,500	12,000
②115-1号橋	8.6 m	馬田蓑具線		9,000	-	-	9,000
③末福橋	13.3 m	福吉東西5号線		7,000	-	-	7,000
					-	-	0
					-	-	0
詳細設計業務	一式	-	2橋	-	7,000	-	7,000
橋梁点検業務	一式	-	122橋	-	31,500	-	31,500
							0
合 計	-	-	-	25,500	38,500	2,500	66,500
内補助対象事業費	-	-	-	24,000	37,500	-	61,500

4 事業の効果

定量的かつ定期的な維持補修により橋梁の長寿命化を促し、維持補修にかかる金額の平準化及び第三者被害の防止を図る。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	8	項	6	目	2	細事業名	公営住宅ストック総合改善事業			所属	建設課 建築住宅係
目 名 称	住宅管理費					財 源 内 訳					
予 算 額	51,750					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	145・146
	前年度当初	35,500	前年度最終	27,856	23,287			25,000	3,463	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

本町の町営住宅は、下区中央住宅を除いて、昭和35年から昭和61年にかけて建設され、老朽化した木造住宅や耐用年数を超過した住宅が数多くあり、適切な維持管理が必要となっている。したがって、このような老朽住宅については、国の交付金を利用して計画的な補修、改修を行い長寿命化を図る。

2 事業内容

六角橋住宅下水道接続及び宅内改修工事

建設年度：昭和54年度～昭和55年度

構造：簡易耐火構造2階建

入居戸数：21戸

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
13委託料	6,750	設計監理委託料	六角橋住宅下水道接続及び宅内改修工事設計監理委託料 6,750,000円
15工事請負費	45,000	工事請負費	六角橋住宅下水道接続及び宅内改修工事請負費 45,000,000円
合計	51,750		

4 事業の効果

居住性や安全性が低下している町営住宅の計画的な補修等を行い、町営住宅の適正な管理を図ることができる。

単位:千円

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計							
款	2	項	1	目	14	細事業名	議場整備費(議場放送システム設備更新費)			所属	議会事務局	
目 名 称	議場整備費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	18,075					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	67	
	前年度当初	0			前年度最終	0				18,075	新 規	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】				基本計画 第 1 節	参加と協働の促進		

1 目的 白石町議会の適正な運営を図るため、老朽化した放送システム更新を図り、併せてフルハイビジョンでの放送ができる機器を整備する。

2 事業内容 HDカメラ、マイク、制御パソコン等の更新を行うもの。

3 予算額 15工事請負費 議場放送システム設備更新 16,736,000円×1.08=18,074,880円
 内訳
 映像関連機器(HDカメラ等) 2,784,000円
 音響関連機器(マイク等) 7,902,000円
 制御関連機器(PC,ソフト) 3,000,000円
 レクチャー卓 450,000円
 設置工事一式(撤去含む) 2,600,000円

4 事業の効果 白石町議会の適正な運営を図る事が出来る。また、ケーブルテレビを有効に活用することで、町民の町政への参画を推進する。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	1	目	3	細事業名	外国青年語学指導助手設置費		所属	学校教育課 庶務係	
目名称	教育振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	13,219					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	13,301	前年度最終	13,472				360	12,859	155・156	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		

1 目的

英語をもっと身近に、親しみを持つことができる環境を子どもたちに与えることを目的とし、中学校を中心に町内の小学校、保育園、幼稚園で、英会話を広めるため子ども達とコミュニケーションを図りながら活動を行う。

2 事業内容

中学校における外国語授業の補助など英語の授業等に参加し、小学校へは総合的な学習の時間に年約30回(60時間)ずつ派遣し英語活動に取り組む。また、町内の保育園、幼稚園を年5回程度訪問し、ゲーム等を通して園児との交流を図る。町内のさまざまなイベントに、積極的に参加し英会話を広めながら交流を図る。各中学校1名 計3名配置

3 予算額

08.報償費	10,800千円	(300,000円 + 300,000円 + 300,000円) × 12 月 =	10,800,000円	白石中 A(直接雇用5年目)
09.旅費	56千円	研修旅費 2,000 円 × 3 人 =	6,000 円	福富中 B(直接雇用5年目)
		大会等引率	50,000 円	有明中 C(直接雇用2年目)
11.需用費	110千円	消耗品費(教材消耗品)	10,000 円	
		修繕料(宿舍等)	100,000 円	
12.役務費(手数料)	80千円	ハウスクリーニング代	60,000 円	火災保険 20,000 円
14.使用料及び賃借料	594千円	白石家賃	49,500 円 × 12 月 =	594,000 円 ※福富は町設置宿舍、有明は有中用務員宿舍
19.負担金	1,579千円	ALT社会保険料	131,535 円 × 12 ヶ月 =	1,578,420 円
		※財源内訳 その他(家賃個人負担分)	10,000 円 × 12 ヶ月 × 3 名分	

4 事業の効果

ALTによる英語指導により、児童生徒が英語を身近に感じるとともに外国文化に直に接することができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	1	目	3	細事業名	スクールカウンセラー配置事業			所属	
目名称		教育振興費				財 源 内 訳					学校教育課 学校教育係
予 算 額	3,155				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	155	
	前年度当初	3,155	前年度最終	2,655		1,051			2,104	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成				
<p>1 目的 小学校における不登校の増加に伴う教育相談事業の重要性に鑑み、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識を有するカウンセラーを配置し、小学校におけるカウンセリング機能の充実を図る。</p> <p>2 事業内容 ① 児童生徒へのカウンセリング ② カウンセリング等に関する教職員及び保護者に対する助言・指導 ・教師の教育相談に関する力量の向上(校内事例研修会、実技研修会等) ・保護者や相談機関との連携の在り方 など ③ 児童生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供 ・いじめや不登校等の基本的な認識 ・子どもの心の捉え方や対応の在り方 など ④ その他児童生徒のカウンセリング等に関し、各学校において適当と認められるもの ・保護者への講話、カウンセリング ・学校だよりや教育相談だより等の原稿執筆</p> <p>※補助率1/3以内(対象経費:謝金及び旅費に要する経費)</p> <p>3 予算額 08 報償費 2,900 千円 スクールカウンセラー謝金 5,000円 × 580H = 2,900,000円 09 旅費 255 千円 片道1,740円(白石町～唐津市)×2×73日 = 254,040円 (配置されるSCの住所により旅費が変動するため、以前の実績で最も遠い唐津市で計上)</p> <p>4 事業の効果 家庭と学校とカウンセラーと連携することで、よりよい子どもの状態が保たれる。 ※財源内訳 3,155千円×1/3=1,051千円 県補助</p> <p>※この事業は、H20年度までスクールアドバイザー配置事業(1/2県補助)として実施。H21年度からは、佐賀県スクールカウンセラー配置事業(1/3県補助)として実施。 H25年度から中学校SC配置事業(国庫1/3補助、県2/3)…県より支出 小学校佐賀県SC配置事業(県1/3補助、市町2/3)で実施…市町より支出</p>											

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	1	目	3	細事業名	適応教室事業			所属	学校教育課 庶務係
目名称	教育振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	4,006					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	4,006	前年度最終	4,006				3,000	1,006	155・156	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		

1 目的

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、自立を促しながら集団生活に適応する力を育み、学校への早期復帰や社会性を育成する援助を行うため、交流館2階に適応指導教室コンフォートスペース「あい」を開設し、指導員2名を配置し指導を行っている。

2 事業内容

場所 白石町交流館 2階 80㎡

指導員 常勤1名、非常勤2名

※白石町小中学生適応教室設置要綱

※白石町コンフォートスペース「あい」運営要項

3 予算額

07.賃金 3,662 千円 指導員(日々雇用) 6,800円 × 10日 × 12月 × 2名 = 1,632,000 円
指導員(嘱託専任) 169,100円 × 12月 × 1名 = 2,029,200 円

11.需用費 166 千円 消耗品費 事務消耗品 10,000円 × 12月 = 120,000 円
活動費 3,000円 × 12月 = 36,000 円

12.役務費 53 千円 修繕料 10,000 円
電話料 4,000円 × 12月 = 48,000 円

14.使用料及び賃借料 75 千円 クリーニング料 5,000 円
ケーブルテレビ利用料(年払い) 16,632 円
ケーブルインターネット (4,298円+540円) × 12月 = 58,056 円

18.備品購入費 50 千円 教材備品・図書購入費 50,000 円

	H26	H27	H28	H29
指導員	3人	3人	3人	3人
正式入級者	5人	6人	9人	6人
見学者	のべ135人	のべ143人	のべ116人	
保護者相談	のべ16人	のべ16人	のべ16人	
体験入級者	のべ15人	のべ9人	のべ7人	
延べ通室日数	のべ313人	のべ495人	のべ520人	

4 事業の効果

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒に対して、個別や小集団での相談、指導を行い、集団生活に適応する力を育むことができる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	2・3	目	1	細事業名	学校教育支援員(スクールアシスタント)配置事業	所属	学校教育課 庶務係		
目名称	教育振興費					財 源 内 訳			予算書頁		
予 算 額	41,100					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	157・162
	前年度当初	42,200	前年度最終	42,200				40,000	1,100	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		

1 目的

今の学校現場では、特別支援学級の生活面の対応、不登校(別室登校を含む)児童生徒への対応、障害や発達障害等による特別な支援が必要な児童生徒への対応、補充学習による学力の向上への対応など、児童生徒の個に応じた支援の充実が求められている。しかしながら限られた人員(教職員)での対応では十分な支援を行うことができていない状況にある。そこで、教員免許を有する者、教員を目指している者、児童生徒の生活面の支援に知識を有する者、学校事務に経験を有する者を配置し、児童生徒の健全な育成と円滑な学校経営に資することを目的とする。

2 事業内容

- ・特別支援学級の児童生徒への対応補助
- ・別室登校及び不登校児童生徒への対応補助
- ・障害等により個別対応が必要な登校児童生徒への対応
- ・授業や補充学習の指導補助
- ・各種学校行事における指導及び準備補助
- ・事務補助 など

小学校	特別支援教育対応	1,000時間	} 8校	配置時間は課業日を基本 28時間・週×35週(教育課程) 20時間(春季休業4日分) 計 1,000時間・人
	教育相談対応(不登校対策)	1,000時間		
	発達障害児等対応	1,000時間		
	事務支援対応	1,000時間		
中学校	特別支援教育対応	1,000時間	} 3校	
	教育相談対応(不登校対策)	1,000時間		
	事務支援対応	1,000時間		
	学習支援対策	400時間		

身体・知的・情緒障害、発達障害(LD・ADHD・自閉症・言語障害)の生徒
小学校78人、中学校24人 計102人(30年4月想定)
不登校者数 小学校3人、中学校12人 計15人(H29.10現在)

※不登校者は、30日以上の不登校による欠席がある児童・生徒

※勤務中の事故…非常勤公務災害対応(遠足、不登校家庭訪問の移動中、移動先含む)

3 予算額

※各学校予算へ配分(事務局分は事務局費へ計上)

7 賃金	小学校	1,000 円× 4,100 時間× 1 校=	4,100,000 円(1校)	計 4,100 千円
	小学校	1,000 円× 4,000 時間× 1 校=	4,000,000 円(1校)	計 4,000 千円
	小学校	1,000 円× 3,800 時間× 6 校=	22,800,000 円(6校)	計 22,800 千円
	中学校	1,000 円× 3,800 時間× 1 校=	3,800,000 円(3校)	計 3,800 千円
	中学校	1,000 円× 3,200 時間× 2 校=	6,400,000 円(3校)	計 6,400 千円
	事務局	1,000 円× 1,100 時間× 1 校=	1,100,000 円(年度内特別対応分 中間配分)	

参考H28	H29予算
小学校 31,700 千円	小学校 31,460 千円
中学校 11,000 千円	中学校 10,740 千円
計 42,700 千円	計 42,200 千円

4 事業の効果

児童生徒の障害に応じた支援体制の確立と事故防止対策がつながり、また、不登校・いじめなどの予兆的なサインをいち早くキャッチし、個別の教育相談を行ったり、教師間の連帯強化を図ったりするなど、児童生徒の状況に応じた適切な支援・指導が行えるようになる。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	2	目	2	細事業名	学校教育課費(小学校情報教育費)		所属	学校教育課 学校教育係	
目名称	教育振興費					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	25,417					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	160
	前年度当初	25,449	前年度最終	25,163				20,000	5,417	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		

1 目的

平成23年4月に「教育の情報化ビジョン」が取りまとめられ、国は、電子黒板や学習用電子端末などのICT機器等を活用した教育を推進している。佐賀県も例外ではなく、教育現場におけるICT機器等の整備と利活用教育に関する研修の充実を図るなどして、先進的な利活用教育の推進を目指している。こうした動きを受け、白石町でも町内小学校でタブレットPCを配置し、デジタル教科書による授業の実現を図り、ICT機器等を活用した教育を推進する。

2 事業内容

- ・パソコン教室PCのリース満了、老朽化により、新しいパソコン教室のあり方として、「移動パソコン教室構想」で小学校パソコン教室の運用を行う。(小学校分)
- ・校務用パソコン・サーバを更新する(次回更新は、H32年度～)

【参考】校務用パソコン等更新計画案

	須古	六角	白石	北明	福富	有東	有西	有南
配置済	H26	H28	H28	H28	H26	H27	H27	H28
H32	○				○			
H33						○	○	
H34		○	○	○				○

※小学校教育用パソコン更新計画については、検討中

3 予算額

11 需用費(消耗品費)	教育用パソコン(移動パソコンリース終了後)ウイルス対策ソフト 1,750円 × 134式 × 1.08	253,260 円	254 千円
13 委託料	町内小学校 移動パソコン教室パソコン運用委託	16,984,080 円	16,985 千円
14 使用料	町内小学校 移動パソコン教室パソコン等リース料 (H26.2.1～H31.1.31)	8,177,400 円	8,178 千円

4 事業の効果

- ・県内小中学校の各種教育研究会において研修や行事等を行うことで、専門知識が身に付き教職員の資質が向上してよりよい学校教育の振興につながる。
- ・すべての教室に電子黒板付きのデジタルテレビが配置されることで、児童生徒にとって分かりやすい授業が展開される。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	4	目	1	細事業名	小学校施設整備費			所属	
目名称		小学校施設整備費				財 源 内 訳			所属		
予 算 額		49,295				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
		前年度当初	50,450	前年度最終	39,650				43,000	6,295	166
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		
1 目的											
町内の小学校施設の適切な維持管理のための改修工事を実施することで、児童の安全を確保するとともに、施設環境の充実に努める。											
2 事業内容											
消耗品費						事務消耗品 45 千円					
						独自で行う修繕等に必要の消耗品代 5 千円 50 千円					
燃料費						独自で行う修繕等に必要の機材の燃料代 5 千円 5 千円					
修繕料 各学校に対応した緊急性の高いものから対応する											
各小学校						緊急を要する修繕(70万円×8校) 5,600 千円 合計					
その他						プール濾過機修繕・プール塗装補修等 500 千円 6,100 千円					
委託料											
須古小						体育館外壁等改修 設計 2,600 千円					
白石小						体育館外壁等改修 監理 1,400 千円					
福富小						高架水槽改修 設計 500 千円					
有明東小						体育館屋上改修 設計 1,600 千円 合計					
その他						緊急的に対応が必要となる工事の設計等 500 千円 6,600 千円					
機械借上料						独自で行う修繕等に必要の機械の借上料 40 千円 40 千円					
工事請負費											
白石小						体育館外壁等改修 32,500 千円					
その他						緊急的に対応が必要となる工事 4,000 千円 36,500 千円					
3 予算額											
11.消耗品費		50 千円		11.修繕費		6,100 千円		14.機械借上料		40 千円	
11.燃料費		5 千円		13.委託料		6,600 千円		15.工事請負費		36,500 千円	
4 事業の効果											
児童及び保護者並びに教育現場が安心安全な学校施設としての整備を図ることで、よりよい教育現場の整備することは必須であり、適切な維持管理により、保護者に安心を与え児童の教育充実及び安全確保が図られる。											

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計						単位:千円
款	10	項	4	目	2	細事業名	中学校施設整備費				所属
目名称		中学校施設整備費				財 源 内 訳				学校教育課 学校教育係	
予 算 額		35,370				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
		前年度当初	41,900	前年度最終	14,900				32,000	3,370	166
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		
1 目的											
町内の中学校施設の適切な維持管理のための改修工事を実施することで、生徒の安全を確保するとともに、施設環境の充実に努める。											
2 事業内容											
消耗品費	事務消耗品		20 千円								
	独自で行う修繕等に必要の消耗品代		5 千円		25 千円						
燃料費	独自で行う修繕等に必要の機材の燃料代		5 千円		5 千円						
修繕料	各学校に対応した緊急性の高いものから対応する										
各中学校	緊急を要する修繕(90万円×3校)		2,700 千円	合計							
その他	プール濾過機修繕・プール塗装補修等		500 千円		3,200 千円						
委託料	校舎屋上防水等改修 設計		1,800 千円								
福富中	技術室解体・改修 監理		1,000 千円	合計							
その他	緊急的に対応が必要となる工事の設計等		300 千円		3,100 千円						
機械借上料	独自で行う修繕等に必要の機械の借上料		40 千円		40 千円						
工事請負費	技術室解体・改修		25,000 千円	合計							
福富中	緊急的に対応が必要となる工事		4,000 千円		29,000 千円						
その他											
3 予算額											
11.消耗品費	25 千円	13.委託料	3,100 千円								
11.燃料費	5 千円	14.機械借上料	40 千円								
11.修繕費	3,200 千円	15.工事請負費	29,000 千円								
4 事業の効果											
生徒及び保護者並びに教育現場が安心安全な学校施設としての整備を図ることで、よりよい教育現場の整備することは必須であり、適切な維持管理により、保護者に安心を与え、生徒の教育充実及び安全確保が図られる。											

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	05	目	01	細事業名	人権・同和教育費		所属	生涯学習課 生涯学習係	
目 名 称	社会教育総務費					財 源 内 訳					
予 算 額	530					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	555	前年度最終	555					530	継続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			基本計画 第 5 節	人権の尊重と男女共同参画の推進		

1 目的

人権・同和問題(高齢者・女性・子ども・障害者・同和地区)に関する正しい理解と認識を深め、いつまでも・どこでも差別のないあたたかなふれあいの町づくりを目指す。
また、学校と地域及び行政との連携で「人権フェスティバル」を開催し、人権教育の浸透を図る。

2 事業内容

- ①「人権フェスティバル」の開催(講演会・町内から標語・作文の募集表彰)
- ② 町内地域への人権教育の啓発事業
- ③ 佐賀県人権・同和教育研究協議会主催事業への参加

3 予算額

8 報償費	530 千円	341 千円	① 人権・同和教育研修会講師謝金 8,000円×14回=112,000円
			② 人権フェスティバル講演会講師 100,000円
			③ 選考委員謝礼 1,000円×5人=5,000円
			④ 人権フェスティバル実行委員謝礼 1,000円×20人×2回=40,000円 1,000円×32人=32,000円
			⑤ 入賞者記念品 1,000円×52個=52,000円
9 旅 費	10 千円		職員研修旅費 10,000円
11 需用費	77 千円		① 人権フェスタ消耗品 40,000円
			② 人権・同和教育研修会消耗品 15,000円
			③ 佐賀県人権・同和教育研究大会全体会 800円×8人(市町関係者参加要請人員)= 6,400円
			④ 佐賀県人権・同和教育研究大会分科会 1,500円×8人(市町関係者参加要請人員)=12,000円
			⑤ その他研修会参加資料代 500円×2人×3回=3,000円
19 負担金補助 及び交付金	102 千円		佐賀県人権・同和教育研究協議会負担金 101,086円

4 事業の効果

学校と保護者及び町老連など組織へ人権教育の浸透と、学社連携により人権・同和教育を推進しあたたかなふれあいの町づくりを目指す。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	05	目	02	細事業名	中央公民館費			所属	生涯学習課 生涯学習係
目 名 称	公民館費					財 源 内 訳					
予 算 額	14,204					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	169・170
	前年度当初	13,469	前年度最終	13,549					14,204	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実		

1 目的

佐賀県公民館連合会、杵島郡公民館連合会の活動をとおり、公民館の連絡を密にし、公民館運営についての調査研究を行い、相提携して公民館活動の充実振興を図る。また、住民に最も身近な活動拠点である自治公民館活動を充実させる。また、自治公民館長を委嘱し、地域公民館事業の推進と活動支援を行う。

2 事業内容

公民館運営審議会委員委嘱
佐賀県公民館連合会、杵島郡公民館連合会の活動への参画
自治公民館長委嘱と自治公民館長会の開催/年間5回(全体会議1回、校区ごと4回)
自治公民館活動交付金の交付
自治公民館施設整備補助金(補助対象経費の4分の1助成)

3 予算額 14,204 千円

1 報 酬	8,599 千円	自治公民館長報酬	均等割:51,000円×109館=5,559,000円 戸数割:400円×7,600世帯=3,040,000円
9 旅 費	545 千円	自治公民館長費用弁償	年間5回(1,000円×109人×5回=545,000円)
11 需用費	247 千円	事務用品	95,000円 年間事業計画表(スポーツ・3公民館行事含む)印刷 18円×7,800枚×1.08=151,632円
18 備品購入費	70 千円	パンフレットスタンド	70,000円
19 負担金補助 及び交付金	4,743 千円	佐賀県公民館連合会負担金	18,400円
		杵島郡公民館連合会負担金	24,000円
		自治公民館整備補助金	1,370,000円
		自治公民館活動交付金	3,330,000円
			均等割:18,000円×109館=1,962,000円 世帯割:180円×7,600世帯=1,368,000円

(単位:円)

公民館名	見積金額	補助金額	種 別
上甘治	553,716	130,000	増改築
揚田	1,360,800	340,000	増改築
神辺	692,518	120,000	広報設備
小島	403,920	100,000	公園
川津	286,740	70,000	広報設備
遠ノ江棚	695,520	170,000	増改築
東区	714,420	170,000	増改築
六府方	1,110,132	270,000	増改築
合 計	5,817,766	1,370,000	

4 事業の効果

各種事業の企画実施、公民館活動の充実振興が図られる。
住民の方々の身近な施設としての自治公民館の役割は大きく、住民の盛り上がりの中で地域の教育力の回復とともに、各単位公民館での活発な活動が行える。
自治公民館(長)の事業実施について、財政的支援を行い地域の盛り上がりを手助けする。

区分	平成30年度 当初		会計	一般会計		単位:千円						
款	10	項	05	目	03	細事業名	文化活動推進・文化財保護費			所属	生涯学習課 生涯学習係	
目 名 称	文化活動推進・文化財保護費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	5,281					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	171・172	
	前年度当初	5,292	前年度最終	5,292			20		3,840	1,421	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 3 節	地域文化の伝承と新たな魅力の創造				
1 目的	<p>優れた人材への助成と日本三大歌垣の一つ杵島山の歌垣に因む三十一文字コンテストを開催することにより、地域文化の育成と芸術文化の向上を図る。 伝承芸能・文化財の保護・啓発・活用をととして、白石町への歴史への認識を深め、郷土に対する愛着心と誇りを醸成する。</p>											
2 事業内容	<p>文化活動推進費:九州・全国及び世界的団体が主催する競技大会若しくは研究大会または表彰式典への出場者に対し、大会規模に応じて一人当たりの激励費を交付する。 「歌垣の里・白石 三十一文字コンテスト」を開催し、日本三大歌垣の一つ杵島山の歌垣を全国にPRする。幕末明治期に活躍した郷土の偉人を顕彰し、郷土愛を醸成する。 文化財保護:開発行為と埋蔵文化財保護との調整を図る。指定文化財の維持管理・公開を委託する。各種文化財の調査・啓発の推進及び活用を図る。重要文化財の指定化。 伝承芸能の保存・伝承に必要な不可欠な用具の購入及び修理に要する経費に対して助成金を交付する。 浮立の笛経験者が初心者等へ指導助言できるように篠笛講習会を開催する。</p>											
3 予算額	5,281 千円											
1 報酬	60 千円	文化財保護審議会委員報酬		6,000円×5人×2回=60,000円								
8 報償費	369 千円	篠笛指導者講習会講師謝金		20,000円×6回=120,000円								
		明治維新150年記念事業文化講演会講師謝金		30,000円								
		三十一文字コンテスト選者謝金		20,000円×3人=60,000円								
		三十一文字コンテスト入賞記念品(特産物)		3,000円×23個=69,000円								
		三十一文字コンテスト入賞記念品(図書カード)		3,000円×30枚=90,000円								
9 旅費	40 千円	文化財保護審議会委員費用弁償		1,000円×5人×2回=10,000円								
		篠笛指導者講習会講師旅費		5,000円×6回=30,000円								
11 需用費	160 千円	事務消耗品費		60,000円								
		三十一文字コンテスト入賞歌集印刷費		100,000円								
12 役務費	100 千円	三十一文字コンテスト募集要項等送料		100,000円								
13 委託料	408 千円	指定文化財維持管理委託料(11団体2個人)		215,000円								
		埋蔵文化財確認調査等作業委託料		864円×4人×7時間×3日=72,576円								
		三十一文字コンテスト掲示板1基製作設置委託料		120,000円								
14 使用料及び賃借料	244 千円	埋蔵文化財確認調査用掘削機借上げ料		6,952円×7時間×5日=243,320円								
19 負担金、補助金及び交付金	3,900 千円	伝承芸能保存育成助成金		150,000円								
		文化振興財団自主事業補助金		3,600,000円								
		文化振興激励費		150,000円								
4 事業の効果	<p>地域文化の向上と活性化を期待し、ふるさと白石町の歴史に関する興味関心を醸成し、郷土に対する誇りを愛着心を増進させる。</p>											

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	05	目	04	細事業名	青少年育成費			所属	生涯学習課 生涯学習係
目 名 称	青少年育成費					財 源 内 訳					
予 算 額	3,310					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	172
	前年度当初	3,600	前年度最終	2,800			300		2,310	700	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成		

1 目的

青少年の健全育成を積極的に推進するために、地域の人たちや関係団体との協力のもと、文化活動、野外活動、自然活動を行う。
大自然の中で、たくましさと自主性を学び、友情を育み、自然体験をととして子ども達の資質を高め、白石町の青少年リーダー育成をめざす。

2 事業内容

- 放課後子ども教室推進事業 国1/3、県1/3、市町1/3 補助対象経費450千円×2/3=300千円
 - おおどぼう倶楽部・・・町内小学校4～6年生の希望者に、野外活動を中心とした年間7回程度の体験学習活動を行う。
 - ジュニア合唱教室・・・小学生の希望者を対象に、毎月第2第4土曜日、合唱の指導を行う。
- 青少年育成町民会議・・・理事会、総会、研修会等の開催。学校・PTA・老人会・地域の見守り隊への協力、非行防止活動のための防犯パトロールの実施、自主性と異学年間の交流を目的にした通学合宿の実施。青少年育成活動を行なう団体への助成。花いっぱい運動を主体とした環境美化活動。

参加負担金

内 容	金額
おおどぼう	18,000円×45人
合 計	810,000

3 予算額

3,310 千円

- 8 報償費 542 千円 おおどぼう：特別講師謝金 10,000円/回×6人=60,000円 指導員謝金 720円/hr×4時間×のべ65人=187,200円
Jr合唱：講師謝金 3,000円×3人×30回=270,000円 特別講師謝金12,000円×2回=24,000円
- 9 旅 費 1,657 千円 長崎県大島村民泊費等 小人6,480円×45人×2日=583,200円 大人9,800円×8人×2日=156,800円
引率者日当 1,000円×8人×3日=24,000円 小人体験2種8,000円×45人=360,000円 大人3,500円×8人=28,000円
フェリー代 小人300円×45人×2回=27,000円 大人590円×7人×2回=8,260円 自動車航送料(1台)5,750円 島内移動他13,000円
安心院民泊費 7,700円×45人=346,500円 スタッフ・運転者 9,800円×8人=78,400円 引率者日当 1,000円×6人×2日=12,000円
JR 小人180円×45人=8,100円 大人370円×15人=5,550円
- 11 需用費 382 千円 活動教材・食材費 おおどぼう倶楽部：年間7回活動312,000円 ジュニア合唱教室：30回(毎月2回 出演他)70,000円
- 12 役務費 103 千円 保険料 おおどぼう小人800円×45名=36,000円 大人1,850円×15名=27,750円 Jr合唱小人・大人800円×30名=24,000円
通信用切手代 82円×45人×4回=14,760円
- 14 使用料及び賃借料 26 千円 北山少年自然の家施設使用料他12,000円 ふれあい郷遊喜館施設及び備品使用料14,000円
- 19 負担金補助及び交付金 600 千円 青少年育成町民会議補助金 600,000円

4 事業の効果

青少年育成事業をととし、地元の人たちの指導・協力・サポートによって、白石町の子ども達がたくましく元気に育ち、安全で明るい地域づくりができる。子どもたちの生きる力を育み、地域教育力の向上が図られる。また、集団での自然体験を行うことにより、自然の美しさ・厳しさを体感し、自立を促し、社会の一員としての責任感を知り、白石町の子どもとしての様々な能力を養う。

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円																																							
款	10	項	6	目	1	細事業名	スポーツ事業費				所属																																			
目 名 称	保健体育総務費					財 源 内 訳				生涯学習課 生涯スポーツ係																																				
予 算 額	987					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁																																			
	前年度当初	1,039	前年度最終	1,039						987	176・177																																			
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】				基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実																																				
<p>1 目的 町全体規模のスポーツ大会を通じて、健康づくり・体力向上と、町民の親睦融和を図る。「スポーツでまちを元気に、まちがひとつに」 また、各種スポーツ教室を実施することにより、町民の健康や親子のふれあい等の推進を図る。</p> <p>2 事業内容 町全体でのスポーツイベントを開催し、スポーツの振興を広く町民に呼びかける。</p> <p>① 男子ソフトボール大会(自治公民館対抗) ② 女子ソフトバレーボール大会(自治公民館対抗) ③ 健康パークゴルフ選手権大会(老人クラブ連合会会員) ④ ニュースポーツ体験・体力づくり教室・出前講座等</p>																																														
3 予算額			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>男子ソフトボール大会</th> <th>女子ソフトバレーボール大会</th> <th>健康パークゴルフ選手権大会</th> <th>ニュースポーツ体験・教室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>08.報償費</td> <td>謝礼及び謝金 286 千円</td> <td>審判講習会謝金 1名 大会役員謝金 60名 214千円 優勝・準優勝 賞品、参加賞 162千円</td> <td>大会役員謝金15名 52千円 優勝・準優勝 賞品、参加賞 101千円</td> <td>教室・出前講座謝金 20千円 参加賞 20千円</td> </tr> <tr> <td>09.旅費</td> <td>賞品代 321 千円</td> <td></td> <td>優勝・2位・3位 賞品、トビ賞 38千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>費用弁償 56 千円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>費用弁償 56千円</td> </tr> <tr> <td>11.需用費</td> <td>消耗品費 237 千円</td> <td>ソフトボール、メンバー表、ロジンバッグ、プロテクター、賞状、事務用品費等 115千円</td> <td>ソフトバレーボール、ネット、ラインテープ、アルコールシート(箇消毒用)、賞状、事務用品費等 107千円</td> <td>大会用具・事務用品 12千円 事務用品等 3千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医薬材料費 8 千円</td> <td colspan="3">冷却スプレー 消毒液(補充用) 8千円</td> </tr> <tr> <td>13.委託費</td> <td>46 千円</td> <td>-</td> <td>審判講習会・大会審判委託料 35千円</td> <td>大会審判委託料 11千円</td> </tr> <tr> <td>16.原材料</td> <td>原材料 33 千円</td> <td>石灰代、グラウンドポイント材料代 33千円</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>					男子ソフトボール大会	女子ソフトバレーボール大会	健康パークゴルフ選手権大会	ニュースポーツ体験・教室	08.報償費	謝礼及び謝金 286 千円	審判講習会謝金 1名 大会役員謝金 60名 214千円 優勝・準優勝 賞品、参加賞 162千円	大会役員謝金15名 52千円 優勝・準優勝 賞品、参加賞 101千円	教室・出前講座謝金 20千円 参加賞 20千円	09.旅費	賞品代 321 千円		優勝・2位・3位 賞品、トビ賞 38千円			費用弁償 56 千円	-	-	費用弁償 56千円	11.需用費	消耗品費 237 千円	ソフトボール、メンバー表、ロジンバッグ、プロテクター、賞状、事務用品費等 115千円	ソフトバレーボール、ネット、ラインテープ、アルコールシート(箇消毒用)、賞状、事務用品費等 107千円	大会用具・事務用品 12千円 事務用品等 3千円		医薬材料費 8 千円	冷却スプレー 消毒液(補充用) 8千円			13.委託費	46 千円	-	審判講習会・大会審判委託料 35千円	大会審判委託料 11千円	16.原材料	原材料 33 千円	石灰代、グラウンドポイント材料代 33千円	-	-
	男子ソフトボール大会	女子ソフトバレーボール大会	健康パークゴルフ選手権大会	ニュースポーツ体験・教室																																										
08.報償費	謝礼及び謝金 286 千円	審判講習会謝金 1名 大会役員謝金 60名 214千円 優勝・準優勝 賞品、参加賞 162千円	大会役員謝金15名 52千円 優勝・準優勝 賞品、参加賞 101千円	教室・出前講座謝金 20千円 参加賞 20千円																																										
09.旅費	賞品代 321 千円		優勝・2位・3位 賞品、トビ賞 38千円																																											
	費用弁償 56 千円	-	-	費用弁償 56千円																																										
11.需用費	消耗品費 237 千円	ソフトボール、メンバー表、ロジンバッグ、プロテクター、賞状、事務用品費等 115千円	ソフトバレーボール、ネット、ラインテープ、アルコールシート(箇消毒用)、賞状、事務用品費等 107千円	大会用具・事務用品 12千円 事務用品等 3千円																																										
	医薬材料費 8 千円	冷却スプレー 消毒液(補充用) 8千円																																												
13.委託費	46 千円	-	審判講習会・大会審判委託料 35千円	大会審判委託料 11千円																																										
16.原材料	原材料 33 千円	石灰代、グラウンドポイント材料代 33千円	-	-																																										
<p>4 事業の効果 町全体でのスポーツ大会やスポーツ教室を実施することにより、町民の健康増進と融和を図ることができる。</p>																																														

区分	平成30年度 当初			会計	一般会計		単位:千円				
款	10	項	6	目	1	細事業名	ロードレース大会費 (歌垣の郷ロードレース大会)			所属	生涯学習課 生涯スポーツ係
目 名 称	保健体育総務費					財 源 内 訳					
予 算 額	4,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	177
	前年度当初	4,000	前年度最終	4,000			3,000		1,000	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			基本計画 第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実		

1 目的

中・高校生の駅伝大会における全国的な活躍により、町民の駅伝に対する期待と関心が高まっているなか「駅伝の町しろいし」「歌垣の郷しろいし」を全国的に広めるため、歌垣の郷ロードレース大会を開催し、町民の健康増進と町の活性化を図る。

2 事業内容

大会開催日 :平成31年3月10日(毎年3月第2日曜日開催)

企画・運営 :実行委員会形式により、11月より3月まで5回の実行委員会を開催

競技種目 :日本陸連公認コース10kmの部・5kmの部・3kmの部・2kmの部・ファミリージョギングの部 合計5種目・15競技を開催

参加料 :第21回大会より、自動計測タグを使用する種目については、一律500円アップ。

2キロ・3キロ・5キロ・10キロ 小中学生以下1,000円 高校生・一般2,000円 1.7キロファミリージョギング 小中学生以下500円 高校生・一般1,500円

3 予算額

13.委託料 4,000 千円
 13.委託料 4,000 千円
 その他委託料 4,000 千円 歌垣の郷ロードレース大会委託料(大会運営費等)

4 事業の効果

競技申込者:第1回・769名 第2回・985名 第3回・1,115名 第4回・1,503名 第5回・2,104名 第6回・2,014名 第7回・2,185名 第8回・2,343名 第9回・2,324名

第10回・2,946名 第11回・2,522名 第12回・2,718名,第13回・2,776名,第14回・2,788名(平成20年度),第15回・2,701名(平成21年度)

第16回・2,814名(平成22年度) 第17回・2,720名(平成23年度) 第18回・2,784名(平成24年度) 第19回大会・2,746名(平成25年度) 第20回大会・3,154名(平成26年度)

第21回大会・2,575名(平成27年度) 第22回大会・2,272名(平成28年度)。

※ロードレース大会を実施することにより、町の活性化や町のPRができ、町民のスポーツに対する意識も高めることができる。

平成30年度 起債充当事業一覧

(単位:千円)

事業	事業費	財 源 内 訳				一般財源	備 考	所属課
		国庫	県費	起債	その他			
過疎対策事業債【ハード分】充当事業 合計	470,765	80,978	65,000	183,000	5,027	136,760		
道路新設改良費(道の駅関連)	14,000			13,000		1,000		産業創生課
し尿処理センター建設費負担金	133,726			13,000	27	120,699		生活環境課
漁港整備事業(住ノ江漁港)	102,809		65,000	30,000	5,000	2,809		農村整備課
道路改築・修繕事業	32,000	16,470		14,000		1,530		建設課
道路新設改良費	74,980			69,000		5,980		
通学路整備事業	113,250	64,508		44,000		4,742		
過疎対策事業債【ソフト分】充当事業 合計	137,126	0	20,281	97,000	1,523	18,322		
コミュニティタクシー運行事業	17,530			16,000		1,530		企画財政課
敬老の日記念事業	21,657			15,000		6,657		長寿社会課
地域医療体制事業	7,510			4,000	1,422	2,088		保健福祉課
子どもの医療事業費	79,799		20,281	54,000	101	5,417		
まちおこし事業補助金	6,630			5,000		1,630		産業創生課
ロードレース大会費	4,000			3,000		1,000		生涯学習課
合併特例債充当事業 合計	1,329,941	73,359	211,720	955,000	53,360	36,502		
道の駅施設整備事業	1,059,441		145,720	863,000	40,000	10,721		産業創生課
農業基盤整備促進事業	132,000		66,000	50,000	9,300	6,700		農村整備課
道路改築・修繕事業	72,000	36,828		26,000		9,172		建設課
橋りょう長寿命化事業	66,500	36,531		16,000	4,060	9,909		

平成30年度 ふるさと寄附金充当事業一覧

(単位:千円)

細事業名(個別事業名)	活用メニュー	基金充当額
がばいよかところ発信事業	道の駅しろいしを活かしたまちづくり(道の駅施設整備事業等)	5,000
しろいし農業塾	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業・観光振興、移住者支援)	12,500
地域づくり協議会設置支援事業	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業・観光振興、移住者支援)	3,000
空き家バンク事業	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業・観光振興、移住者支援)	2,000
新規農産物開発研究費	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業・観光振興、移住者支援)	2,000
6次産品新規開発事業費	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業・観光振興、移住者支援)	2,000
しろいしブランド確立対策事業	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業・観光振興、移住者支援)	3,000
観光費(看板設置、観光推進協議会)	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業・観光振興、移住者支援)	3,000
住民協働・道路等環境整備事業費	活気と魅力ある豊かなまちづくり(産業・観光振興、移住者支援)	6,000
町立保育園公設民営費	子どもたちが健やかに育つまちづくり(出産・子育て支援)	80,000
小6・中3給食費無償化分、無償化に伴う補助金	子どもたちが健やかに育つまちづくり(出産・子育て支援)	20,000
障害児通所支援給付費	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり(高齢者・障害者福祉)	11,000
日中一時支援事業費(地域生活支援事業)	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり(高齢者・障害者福祉)	1,000
相談支援事業費(地域生活支援事業)	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり(高齢者・障害者福祉)	5,000
食の自立支援事業費	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり(高齢者・障害者福祉)	5,000
緊急通報体制等整備事業費	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり(高齢者・障害者福祉)	1,000
学童保育事業費	町長におまかせ(子育て支援)	11,000
不妊治療支援事業費	町長におまかせ(子育て支援)	2,500
防災施設維持費	町長におまかせ(防災対策)	12,000
適応教室	町長におまかせ(子育て支援)	3,000
学校教育課費(小学校情報教育)(移動パソコン)	町長におまかせ(子育て支援)	20,000
スクールアシスタント	町長におまかせ(子育て支援)	40,000
合 計		250,000

平成30年度地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率(国・地方)が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収部分については、その用途を明確化し、社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

(歳入) 地方消費税交付金(社会保障財源化分) 177,500 千円
 (歳出) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 3,544,332 千円

(単位:千円)

事業名	経費 (予算額)	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	町債	その他	引上げ分の地方消費税(社会保障財源化分の市町村交付金)	その他
社会福祉事業	39,810	4,551	0	855	1,994	32,410
障害者福祉事業	783,225	553,113	0	21,439	39,224	169,449
老人福祉事業	144,637	1,662	15,000	75,485	7,243	45,247
児童福祉事業	1,269,736	476,524	0	236,511	63,588	493,113
子ども・子育て支援事業	58,514	32,872	0	18,008	2,930	4,704
国民健康保険事業	170,694	101,139	0	0	8,548	61,007
介護保険事業	382,694	0	0	0	19,165	363,529
後期高齢者医療事業	474,309	88,172	0	0	23,753	362,384
子ども・小中学生医療事業	80,999	20,281	54,000	102	4,056	2,560
保健衛生事業	46,882	1,944	4,000	6,032	2,348	32,558
疾病予防事業	92,832	1,761	0	4,240	4,649	82,182
合計	3,544,332	1,282,019	73,000	362,672	177,500	1,649,141

区分	平成30年度 当初		会計	国民健康保険特別会計						単位:千円			
款	1	項	1	目	1・2	【歳入】国民健康保険税					所属	住民課 保険係	
目 名 称	一般被保険者・退職被保険者国民健康保険税					細事業名						所属	住民課 保険係
予 算 額	795,427					財 源 内 訳					予算書頁		
	前年度当初 804,600 前年度最終 732,800					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	7・8		
										795,427	継 続		
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 4 節	社会保障の充実				

1 目的

国民健康保険税は、国民健康保険を運営する県・市町が、運営するために必要な費用(納付金)に充てるため、被保険者の属する世帯の世帯主に対して賦課する税金であり分類上は地方税、直接税、目的税に該当する。現在、被保険者相互扶助のための医療給付費分、後期高齢者の負担を軽減するための後期高齢者支援金分、介護保険制度運営のための介護納付金分の3区分で賦課されている。

2 事業内容

平成29年度現計(9月補正後)予算・30年度当初予算比較

区 分		A 29年度現計	B 30年度当初	B-A	B/A	
一般被保険者	現年	医療給付費分	473,300	547,515	74,215	115.68%
		後期支援金分	149,200	156,659	7,459	105.00%
		介護納付金分	67,700	67,953	253	100.37%
	滞繰	医療給付費分	18,600	12,020	△ 6,580	64.62%
		後期支援金分	5,300	3,500	△ 1,800	66.04%
		介護納付金分	3,200	1,950	△ 1,250	60.94%
計		717,300	789,597	72,297	110.08%	
退職被保険者	現年	医療給付費分	9,100	3,460	△ 5,640	38.02%
		後期支援金分	2,900	970	△ 1,930	33.45%
		介護納付金分	2,500	890	△ 1,610	35.60%
	滞繰	医療給付費分	600	330	△ 270	55.00%
		後期支援金分	200	90	△ 110	45.00%
		介護納付金分	200	90	△ 110	45.00%
計		15,500	5,830	△ 9,670	37.61%	
合 計		732,800	795,427	62,627	108.55%	

平成30年度国民健康保険税の算定

平成30年度国保税の算定に当たっては、平成30年度から佐賀県も保険者となることに伴い、県へ支出する納付金と税財源により実施する事業費等から国・県からの交付金等を差引いた額を賄う税率を設定し、その税率で得られる税収とした。税率を設定する際に使用した所得は、H27-29の一人当たり所得平均に平成30年度被保険者推計値を乗じて算出した。被保険者推計値は県システムの推計値を使用。収納率の現年度分については、直近5か年の最高率年度及び最低率年度を除く3か年の平均値(95.93%)を使用し、滞納繰越分を20%とした。

区分	平成30年度 当初			会計	国民健康保険特別会計		単位:千円					
款	2	項	1	目	1	細事業名	一般被保険者療養給付費			所属	住民課 保険係	
目 名 称	一般被保険者療養給付費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	1,980,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	17	
	前年度当初	1,980,288	前年度最終	1,980,288			1,980,000			0	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 4 節	社会保障の充実		

1 目的

国民健康保険に基づき、被保険者の疾病、負傷に関して必要な保険給付を行うことにより、地域住民の医療を保障し、住民の福祉増進に寄与する。

2 事業内容

一般被保険者が疾病、負傷のために自己の選定する保険医療機関または、保険薬局で現物給付として行う療養の給付等に要する経費から、一般被保険者の一部負担金に相当する額を控除した額を医療機関に支払う。

3 予算額

19負担金補助
及び交付金 1,980,000千円 28年度実績額を参考 1,980,000,000円 (県普通交付金がH28年度実績並みで示されているため)

22年度	1,790,785,048円
23年度	1,878,117,182円
24年度	1,878,606,067円
25年度	1,854,427,548円
26年度	1,887,803,520円
27年度	1,925,625,271円
28年度	1,969,980,281円
29年度(見込)	2,124,000,000円

4 事業の効果

被保険者の福祉増進に寄与する。

区分	平成30年度 当初			会計	国民健康保険特別会計		単位:千円					
款	3	項	1	目	1	細事業名	一般被保険者医療給付費分			所属	住民課 保険係	
目 名 称	一般被保険者医療給付費分					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	705,583					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	21	
	前年度当初	0			前年度最終	0		75,669		114,043	515,871	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 4 節	社会保障の充実		

1 目的

県は市町に医療給付費等の必要額全額を交付金として交付する。市町は県が決定した納付金額全額を拠出する仕組みとなっている。

2 事業内容

県は保険給付費の推計をもとに、保険税収納必要総額を算出し、当該総額を医療費水準及び所得水準に応じて県内の各市町に納付金として割り当てる。

3 予算額

19負担金補助 及び交付金 705,583千円 国民健康保険事業費納付金(一般被保険者医療給付費分) 705,582,614円

4 事業の効果

県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営が図られる。

区分	平成30年度 当初		会計	国民健康保険特別会計		単位:千円					
款	10	項	2	目	1	細事業名	特定健康診査			所属	住民課 保険係
目 名 称	特定健康診査等事業費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	17,444					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	27
	前年度当初	17,478	前年度最終	14,076			6,000			11,444	継 続
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本計画 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				基本計画 第 4 節	社会保障の充実		

1 目的

高齢者の医療の確保に関する法律により、平成20年4月から医療保険者に対し、40歳～74歳の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定健康診査の実施が義務付けられたため、健診を実施し、生活習慣病予防を図る。

2 事業内容

対象者	40歳～74歳の国民健康保険被保険者		
健診項目	基本的な健診項目	既往歴調査、自覚・他覚症状の有無検査、身長、体重、腹囲、BMI測定、血圧、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、尿検査	
	詳細な健診項目	貧血検査、心電図検査、眼底検査（医師の判断による）	
健診費用	基本的な健診項目	集団健診:5,840円	個別健診:7,020円 左記金額から自己負担額1,000円を差引いた額を公費負担
	詳細な健診項目	集団健診・個別健診	貧血:238円 心電図:1,404円 眼底:1,210円
自己負担額	集団健診:1,000円	個別健診:1,000円	(平成28年度まで個別健診は1,500円)

3 予算額

節	予算額	細 節	内 訳
07賃金	159千円	日々雇用職員賃金	健診通知発送事務 6,400円 × 3人 × 5日 = 96,000円 健診時事務補助 825円 × 1人 × 4時間 × 19日 = 62,700円
11需用費	257千円	消耗品費	未受診者勧奨はがき、宛名シール、トナー、事務用品 56,360円 未受診者採尿キット等医師会支分 200,000円
	263千円	印刷製本費	受診勧奨用窓あき封筒(水色) 15円 × 4,700通 × 1.08 = 76,140円 個人通知用パンフレット 16円 × 4,700通 × 1.08 = 81,216円 各戸配布用パンフレット 16円 × 8,000通 × 1.08 ÷ 2 = 69,120円 受診券 5円 × 5,500枚 × 1.08 返信用封筒 20円 × 300通 × 1.08 36,180円
12役務費	1,038千円	通信運搬費	受診票・受診券送付通知 4,700通 × 120円 = 564,000円 未受診者勧奨通知 4,000通 × 62円 = 248,000円 結果通知 1,800通 × 92円 = 165,600円 料金後納・受取人払い郵便 5,000円 × 12月 = 60,000円
	740千円	手数料	審査支払手数料 740,000円
13委託料	14,889千円	その他委託料	集団健診 4,840円 × 1,800人 = 8,712,000円 ドック、個別健診 6,020円 × 650人 = 3,913,000円 詳細な健診、二次健診、医師会手数料 2,263,120円
14使用料及び賃借料	98千円	その他使用料	健診施設使用料(ふれあい郷) 22,000円 × 6日 ÷ 2 = 66,000円 国保データベースシステム端末機リース料 4,120円 × 7月 ÷ 1.08 = 31,147円

4 事業の効果

糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の発症、あるいは重症化や合併症の進行を予防し、医療費の適正化が図られる。

単位:千円

区分	平成30年度 当初			会計	後期高齢者医療特別会計						
款	2	項	1	目	1	細事業名	後期高齢者医療広域連合納付金		所属	住民課 保険係	
目 名 称	後期高齢者医療広域連合納付金					財 源 内 訳			予算書頁		
予 算 額	324,818					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	12
	前年度当初	315,708	前年度最終	309,199				324,818	0	継 続	

白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	基本構想 第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	基本計画 第 4 節	社会保障の充実
-------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	---------

1 目的 後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律により、国民の共同連帯の理念に基づき高齢者の適切な医療の給付等を行い、国民保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。

2 事業内容 町は、後期高齢者医療制度の事務を処理する特別会計の設置、広域連合の経費負担、保険基盤安定制度の負担、保険料の徴収と広域連合への納付、被保険者の資格・給付等に関する申請・届出の受付など処理している。

3 予算額

項 目	事業費	説 明
保 険 料	186,748	・保険料 = 均等割額 51,800円 + 所得割額(所得額×9.88%)
		・白石町分賦課総額 304,210千円 - 保険基盤安定負担対象額 117,562千円 = 186,648千円(保険料賦課額)
		特別徴収分 130,654 賦課額 186,648千円×特別徴収割合0.7×徴収率100%
		普通徴収分 55,614 賦課額 186,648千円×普通徴収割合0.3×徴収率99.32%
	計 186,268	
	過年度分 480	滞納額640千円×徴収率75%
保険基盤安定負担金	117,563	町負担(1/4) 29,391
		県負担(3/4) 88,172
		計 117,563
・低所得者軽減額 109,817千円 + 被扶養者軽減額 7,746千円 = 117,563千円 (負担金対象額)		
・県負担分は一般会計で歳入後、町負担分と合わせて後期特別会計へ繰出し、広域連合へ納付		
広域連合共通経費 (一般会計分)	6,589	広域連合運営経費(職員人件費、議会費他) 均等割(10%)961千円 + 人口割(45%)2,473千円 + 高齢者人口割(45%)3,155千円 = 6,589千円 (佐賀県広域連合合計192,216千円の約3.43%)
広域連合共通経費 (特別会計分)	13,918	運営経費(電算システム運営費、レセプト点検等) 均等割(10%)2,030千円 + 人口割(45%)5,224千円 + 高齢者人口割(45%)6,664千円 = 13,918千円 (佐賀県広域連合合計412,403千円の約3.37%)
計	324,818	

4 事業の効果 医療制度の円滑な運営に寄与する。

区分	平成30年度 当初			会計	農業集落排水特別会計		単位:千円					
款	3	項	1	目	1	細事業名	農業集落排水機能強化事業費			所属	下水道課 下水管理係	
目 名 称	農業集落排水事業費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	71,545					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	15	
	前年度当初	67,500	前年度最終	38,844		33,000		38,400	145	0	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

供用開始後17年目を迎えた牛屋西分地区農業集落排水施設について、経年劣化による施設の摩耗及び腐食等の対策等の機能強化事業を実施し、施設の長寿命化による効率的な運営を図る。

2 事業内容

牛屋西分地区については、機能強化事業で詳細設計書作成及び水処理センター、真空ステーションの機器更新、真空弁ユニット通報装置等の更新を行う。

処理施設工事					真空ステーション工事					管路施設工事				
区 分	全体	~H29	H30	H31	区 分	全体	~H29	H30	H31	区 分	全体	~H29	H30	H31
機器更新・点検整備	28台	2台	8台	18台	ポンプ更新・点検整備	5台	3台	2台	-	真空弁点検整備	250台	186台	64台	-
電気設備更新・点検整備	22台	-	22台	-	電気設備更新・点検整備	1式	-	1式	-	無線通報装置	250基	186基	64基	-
水槽防食工事	1式	1式	-	-	発電機設置	1基	-	-	1基	硫化水素対策	2基	2基	-	-
周辺沈下対策	1式	-	-	1式										

◎ 牛屋西分地区機能強化事業の年度別事業費見込額

総事業費	H27(繰越)事業費	H28事業費	H29事業費	H30事業費	H31事業費
260,962	4,774	51,978	38,710	71,500	94,000

3 予算額

節	区 分	項 目	事業費	摘 要	財源内訳		
					国費	地方債	繰入金
9	旅費	特別旅費	45	工場検査(大阪)			45
13	委託料	農業集落排水機能強化事業	2,500	牛屋西分地区	1,000	1,500	0
15	工事請負費	農業集落排水機能強化事業	69,000	牛屋西分地区	32,000	36,900	100
	計		71,545		33,000	38,400	145

<財源内訳>

農山漁村地域整備交付金	33,000 千円
下水道事業債	38,400 千円
施設整備費繰入金	145 千円

4 事業の効果

施設の長寿命化により経費を節減し、事業の効率的な運営が図れる。

区分	平成30年度 当初			会計	特定環境保全公共下水道特別会計		単位:千円				
款	1	項	1	目	1	細事業名	地方公営企業化推進費			所属	下水道課 庶務係
目 名 称	総務管理費					財 源 内 訳					
予 算 額	19,700					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	12
	前年度当初	9,800	前年度最終	6,200			19,600	100	0	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

総務省より、平成31年度までに人口3万人以上の地方公共団体が地方公営企業法の適用を行い、公営企業会計を適用することが義務化されている。本町は、人口が3万人未満であるため適用する義務はないが、平成32年4月以降は公営企業会計適用の法制化も検討されているため、平成31年4月に地方公営企業法の適用を行い、経営状況、資産等の正確な把握による経営管理の向上を図る。

2 事業内容

平成31年4月を公営企業法適用開始とし、法適用を行うため下記の業務を委託する。
 ・法適用移行事務支援業務 …… 法適用に伴う条例改正、勘定科目の検討、システム導入、職員研修を行う。
 ・固定資産台帳整理業務 …… 下水道事業が有する資産を調査し、資産評価を行う。

3 予算額

※3カ年の債務負担行為を設定したが、2カ年に補正した。
 ○総事業費 36,000千円

平成29年度 当初 9,800千円 (支払予定額 6,156千円)	平成30年度 19,700千円
○主な業務 ・資産調査及び評価 ・計画準備・資料収集整理・資産評価 4,536千円 ・移行事務手続き支援 関係部局との調整・条例規則の制定変更支援 1,620千円 ・企業会計システム導入 システム設計協議	○主な業務 ・資産調査及び評価 資料収集整理・資産評価、減価償却費等の算出 3,003千円 ・移行事務手続き支援 条例規則の整備・予算調整、打ち切り決算等 16,697千円 ・企業会計システム導入 パッケージソフト・システム初期設定

財源内訳
 その他 繰入金 一般会計繰入金 総務管理費繰入金 100

4 事業の効果

公営企業の経営基盤の強化が図れる。

区分	平成30年度 当初			会計	特定環境保全公共下水道特別会計				単位:千円		
款	3	項	1	目	1	細事業名	公共下水道施設整備費			所属	下水道課 施設整備係
目 名 称	公共下水道施設整備費					財 源 内 訳					
予 算 額	463,328					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁
	前年度当初	513,271	前年度最終	513,340	200,000		245,400	17,928	0	16	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本計画 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実		

1 目的

公共用水路の水質汚濁については各家庭等から排出される生活排水が大きな原因の一つになっているため、下水道の整備を行うことにより生活環境の改善と公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上に寄与する。

第2期事業計画区域

○事業予定期間・・・H27～H34(8年間) ○総事業費・・・3,480,000千円 ○面積・・・48ha ○計画処理人口・・・1,720人 ○排除方式 分流式

2 事業内容

○本年度の主な事業

工事施工地区 中郷・網代地区の一部、太原地区の一部

(単位:千円)

節	工種等	補助	単独	計
委託料	詳細設計	40,000	10,000	50,000
工事請負費	管路工事等	357,500	37,500	395,000
補償補填及び賠償金	水道管移設等	2,500	2,500	5,000
	事業費計	400,000	50,000	450,000

3 予算額

(単位:千円)

区 分	事業費	事務費・人件費	計	左の財源内訳			
				交付金	起債	繰入金	負担金
国庫補助事業	400,000		400,000	200,000	192,600	883	14,917
単独事業	50,000	13,328	63,328		52,800	2,128	
計	450,000	13,328	463,328	200,000	245,400	3,011	14,917

4 事業の効果

潤いのある水環境を守ることにより、安全かつ安心な食料の提供と生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が図られ、より快適で豊かなまちづくりに貢献できる。

区分	平成30年度 当初			会計	水道事業会計				単位:千円		
款	21収益的支出	項	03特別損失	目	05その他特別損失	細事業名	旧水道施設解体事業			所属	水道課
目 名 称	その他特別損失					財 源 内 訳					
予 算 額	50,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	33
	前年度当初	0			前年度最終	0				50,000	新規
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				基本計画 第 1 節	生活基盤の充実	

1 目的

水源転換後に不要となった旧簡易水道施設は、老朽化がかなり進み、風水害による近隣住宅などへの影響が懸念されている。また、広域統合後の新企業団では、旧施設が引き継がれず、処分については各事業体が行うことになっているため、統合計画年度までに旧施設の解体工事等を実施する。

2 事業内容

○解体工事 4箇所

対象施設	所在地	敷地面積	内 容
須古水源池	大字今泉	899㎡	配水池、ろ過池、滅菌室、電気室、圧力タンク、取水ポンプ室 他
北明浄水場	大字築切	1,247㎡	配水池、滅菌室、薬品混和池、電器室、ポンプ室、薬品注入室、圧力タンク室、ろ過器等鉄製機器 他
福吉水源池	大字福吉	472㎡	滅菌室、電気室、取水施設 他
東地区水源池	大字牛屋	926㎡	配水池、浄水池、取水ポンプ室、薬注室、急速ろ過機、配水ポンプ室、管理人住居 他

3 予算額 50,000千円

4 事業の効果

旧水道施設の解体等による整備推進により、今後は維持管理費の軽減が期待できる。

区分	平成30年度 当初		会計	水道事業会計		単位:千円					
款	41資本的支出	項	01建設改良費	目	01設備工事費	細事業名	水道管管網整備事業			所属	水道課
目 名 称	設備工事費					財 源 内 訳					
予 算 額	95,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	35
	前年度当初	94,500	前年度最終	94,500					95,000	継 続	
白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			基本構想 第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			基本計画 第 1 節	生活基盤の充実			

1 目的

長期使用の老朽管を更新することにより、漏水・赤水等の防止を図る。

2 事業内容

【設備工事費】

1 県道武雄福富線(大渡地区)配水管布設工事	L=250m	φ 75	RRVP-L
2 町道六角小学校東線配水管布設替工事	L=295m	φ 75	RRVP-L
3 県道武雄福富線(福田北)配水管布設替工事	L=170m	φ 50	RRVP-L
4 町道大戸片町線配水管布設替工事	L=40m	φ 75	RRVP-L
5 国道207号(大井)配水管布設替工事	L=120m	φ 75	PE
6 町道廻里津大和線配水管布設替工事	L=140m	φ 50	RRVP-L
7 町道高町百貫線道路改良工事に伴う水管橋架替工事	L=60m	φ 250	DCIP-NS
8 稲佐地区配水管布設替工事	L=132m	φ 50	GNGWDA
9 町道干拓線連絡配水管布設工事	L=530m	φ 100	PE
10 町道大戸片町線消火栓移設工事	1箇所	φ 75	RRVP-L
	L=1737m		

【主な管種／表示記号】

- DCIP-GX
水道用ダクタイル鋳鉄管(GX形)
- DCIP-NS
水道用ダクタイル鋳鉄管(NS形)
- DCIP-K
水道用ダクタイル鋳鉄管(K形)
- PE
水道配水用ポリエチレン管
- RRVP-L
水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管
- SGP-VD
水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管
- GNGWDA
水道用アラミドがい装ポリエチレン管

(注)事業個所、延長については現時点での予定工事量であり、国県道、町道改良工事、下水道工事等により、変更を伴う。

3 予算額 95,000千円

4 事業の効果

老朽管更新等により、安全で安定した水の供給を持続させることができる。

